

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査

要介護高齢者・家族等介護者実態調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定に係る調査)

報告書

令和2年3月

武蔵野市

■ □ 目 次 □ ■

はじめに	1
1. 調査の実施概要	2
2. 報告書の記載に関する注意点	2
第1章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート	3
第1節 調査結果（概要版）	4
第2節 調査結果（本編）	12
1. 回答者（1,055人）の属性	12
2. 家族や生活状況	14
3. からだを動かすことについて	21
4. 食べることについて	27
5. 毎日の生活について	29
6. 地域での活動やたすけあいについて	31
7. 健康について	41
8. 今後の暮らしについて	51
第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査）	59
第1節 調査結果（概要版）	60
第2節 調査・分析手法の概要	69
第3節 調査結果（本編）	71
1. 本人の属性	71
2. 支援・サービスの利用状況・利用意向	75
3. 在宅生活の状況	90
4. 傷病の利用状況など	94
5. 施設等への入所・入居の検討状況	96
6. 主な介護者の状況	104
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護	124
8. サービス水準と保険料の関係に係る希望	127
9. 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について	128
資料：使用した調査票	131
高齢者の介護予防・日常生活アンケート 調査票	132
要介護高齢者・家族等介護者実態調査（在宅介護実態調査） 調査票	144

はじめに

1. 調査の実施概要

武蔵野市では、「武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定（令和2年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の介護予防・日常生活アンケート、要介護高齢者・家族等介護者実態調査を実施した。調査の実施概要は以下のとおりである。

（1）高齢者の介護予防・日常生活アンケート

市内在住の要介護1から5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。令和元年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出。）を対象に、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和元年12月6日～12月23日、有効回答数は1,055件（有効回収率70.3%）であった。

（2）要介護高齢者・家族等介護者実態調査

要介護1から要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方を対象に、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するための調査を実施した。（厚生労働省の指針に基づく実態調査）

調査期間は令和元年9月1日～令和2年1月31日、有効回答数は617件であった。（ただし、認定調査の結果、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」の認定結果であった調査対象者については、集計から除外している。）

2. 報告書の記載に関する注意点

- （1）図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- （2）調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示している。そのため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- （3）複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合がある。
- （4）図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。

第 1 章 高齢者の介護予防・日常生活アンケート

第1節 調査結果（概要版）

1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定（令和2年度）するにあたりその基礎資料を得るため、高齢者の生活実態、地域活動への参加意向、介護保険事業の利用意向、その他高齢者施策全般に係る意見・要望等を把握する。
- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護1～要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。厚生労働省の指針に基づく実態調査。）
※令和元年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 令和元年12月6日～12月23日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配付数：1,500件 回収数：1,055件（回収率70.3%）

<参考：平成28年度「武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート」の実施概要>

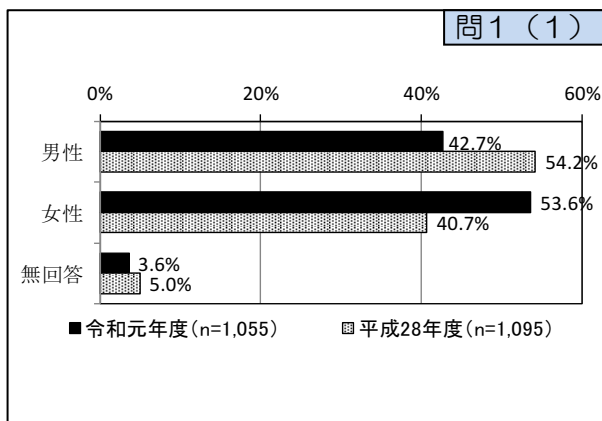
ここでは、本調査（以下「令和元年度調査」という。）の結果と比較するため、平成28年12月に実施された「武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート」（以下「平成28年度調査」という。）の結果も表示している。

- ◇ 調査対象者： 市内在住の要介護1～要介護5の要介護認定を受けていない65歳以上市民1,500名（要支援1、要支援2、総合事業対象者を含む。厚生労働省の指針に基づく実態調査。） ※平成28年10月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
- ◇ 調査期間： 平成28年12月1日～12月16日
- ◇ 調査方法： 郵送配付・郵送回収（督促を兼ねたお礼状を1回発送）
- ◇ 回収状況： 配付数：1,500件 回収数：1,095件（回収率73.0%）

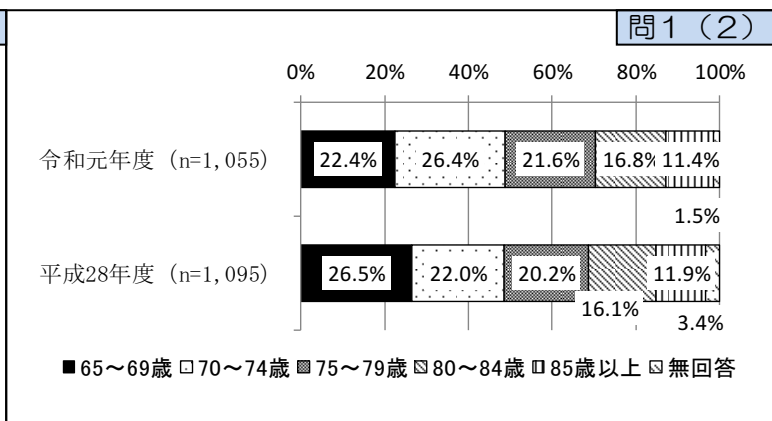
2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性や生活状況について

《図1 性別》（単数回答）

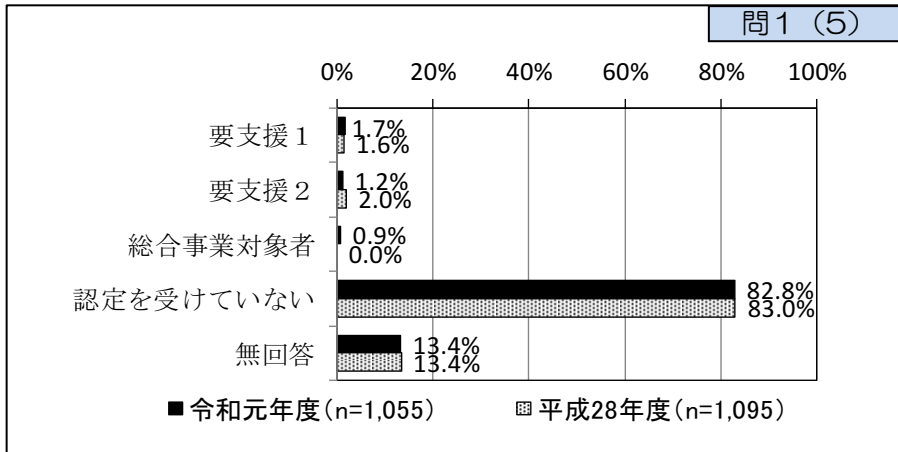


《図2 年齢》（単数回答）



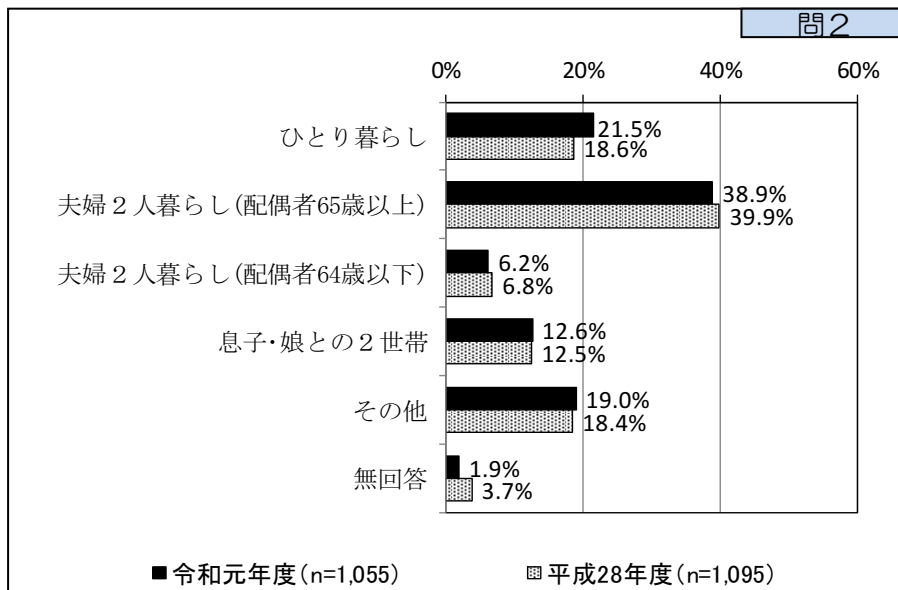
- ・性別は「男性」が42.7%、「女性」が53.6%だった。
- ・年齢は「65～69歳」が22.4%、「70～74歳」が26.4%だった。

《図3 要支援（介護）認定》（単数回答）



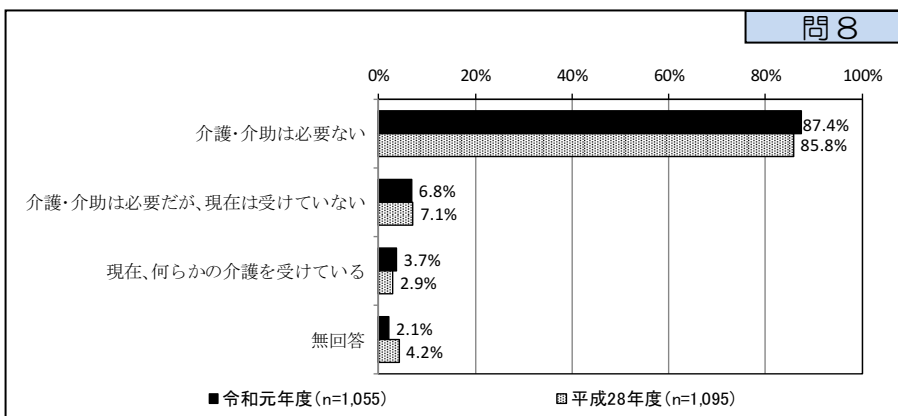
・要支援（介護）認定の状況は、「要支援1」が1.7%、「要支援2」が1.2%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が82.8%だった。

《図4 家族構成》（単数回答）



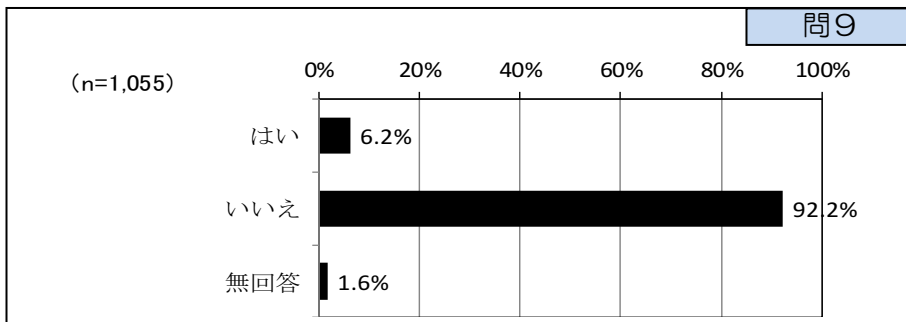
・家族構成は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が38.9%、「ひとり暮らし」が21.5%となっている。

《図5 介護・介助の必要性》（単数回答）



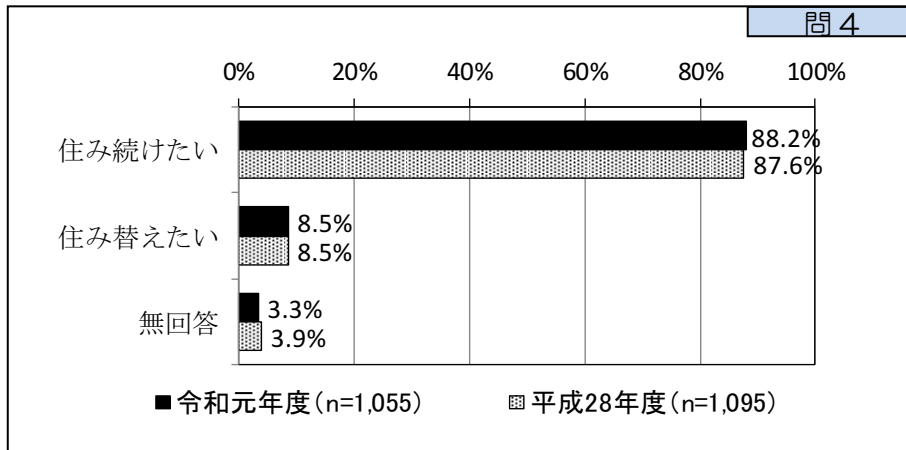
・介護・介助については、「介護・介助は必要ない」の割合が高く、87.4%となっている。
・「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は6.8%となっている。

《図6 認知症の症状の有無》（単数回答）



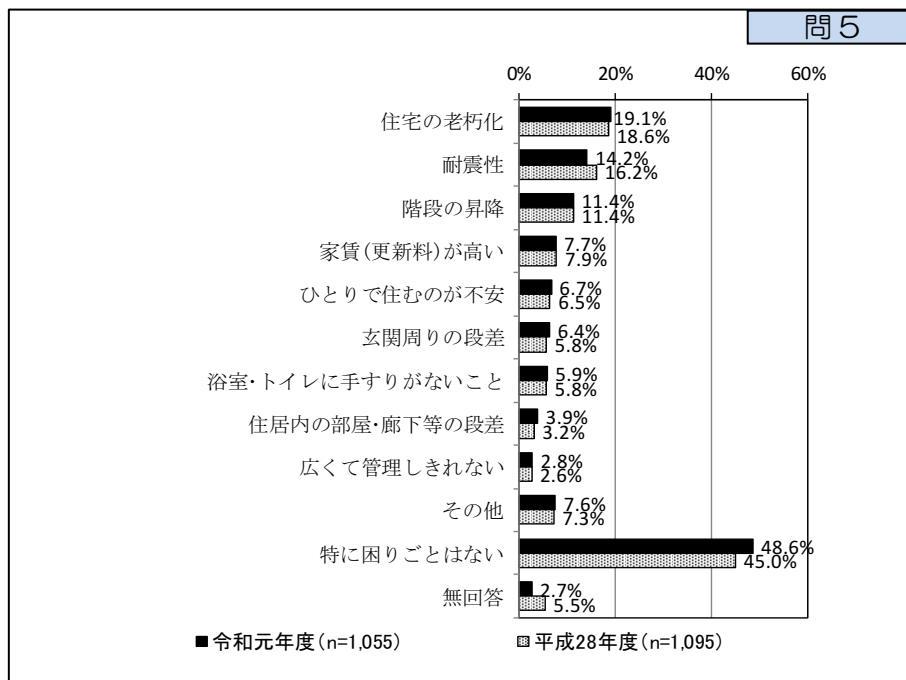
・認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人は、全体の6.2%（65人）だった。

《図7 現在の住まいの居住意向》(単数回答)



・現在の住まいの居住意向は高く、「住み続けたい」が88.2%にのぼる。

《図8 現在の住まいに住み続ける上での困りごと》(複数回答)

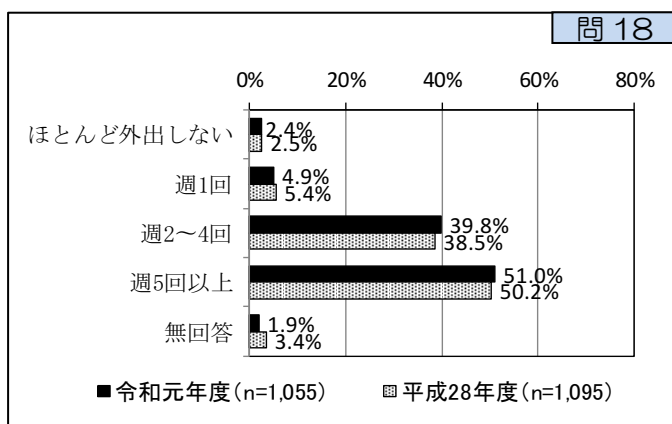


・現在の住まいに住み続ける上での困りごとは、「特に困りごとはない」が最も多く、48.6%となっている。

・次いで、「住宅の老朽化」が19.1%、「耐震性」が14.2%、「階段の昇降」が11.4%となっている。

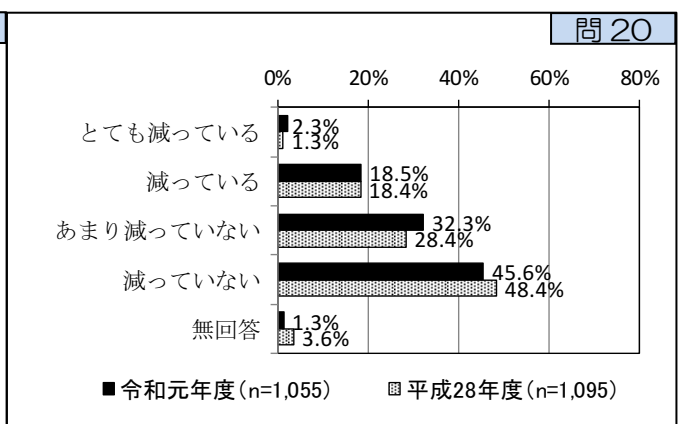
《図9 週1回以上外出しているか》

(単数回答)



《図10 昨年と比べて外出回数は減っているか》

(単数回答)

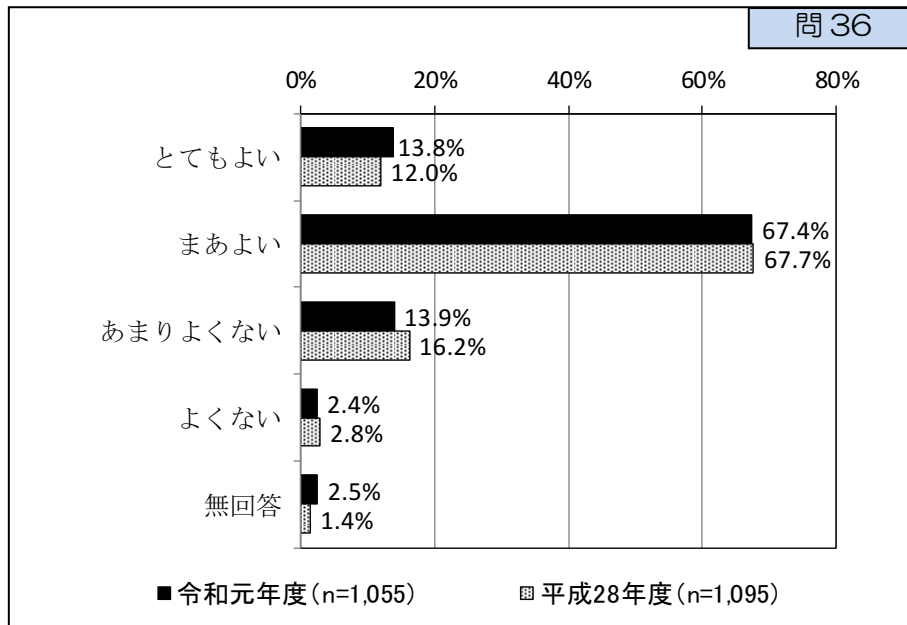


・外出の状況については、「週5回以上」が51.0%と半数を超え、次いで「週2~4回」が39.8%だった。「ほとんど外出しない」は2.4%にとどまっている。

・外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が45.6%、「あまり減っていない」が32.3%であった。他方、「とても減っている」(2.3%)、「減っている」(18.5%)の回答もみられた。

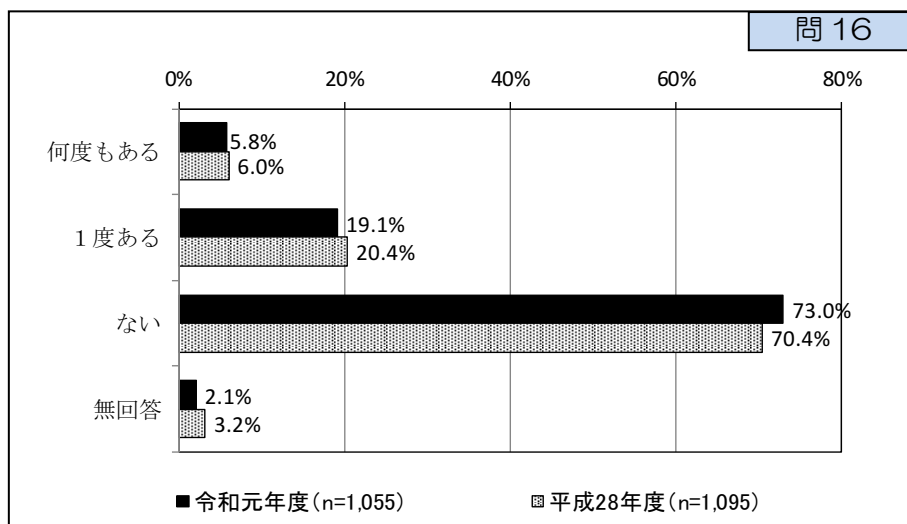
(2) 健康やからだを動かすことについて

《図 11 健康状態》(単数回答)



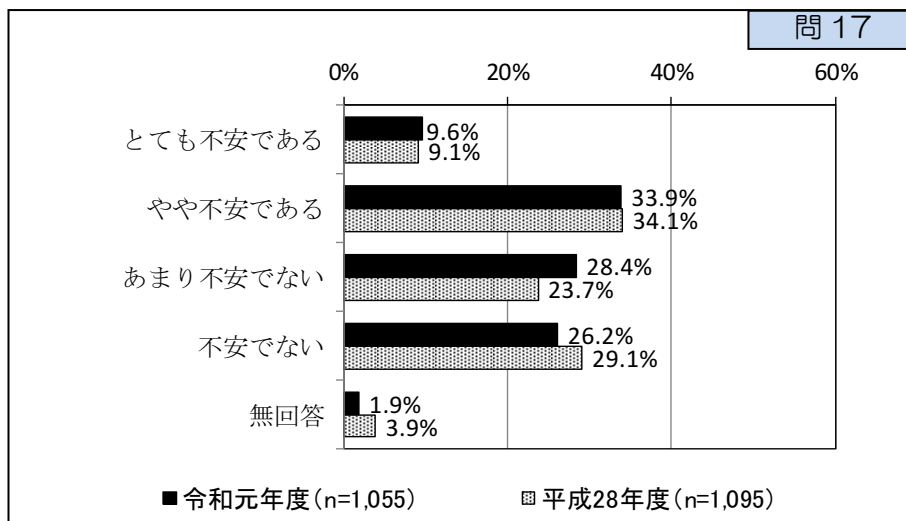
- ・健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が81.2%を占めている。
- ・他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、16.3%であった。

《図 12 過去1年間の転倒の経験》(単数回答)



- ・過去1年間に転んだ経験は「ない」が73.0%となっている。

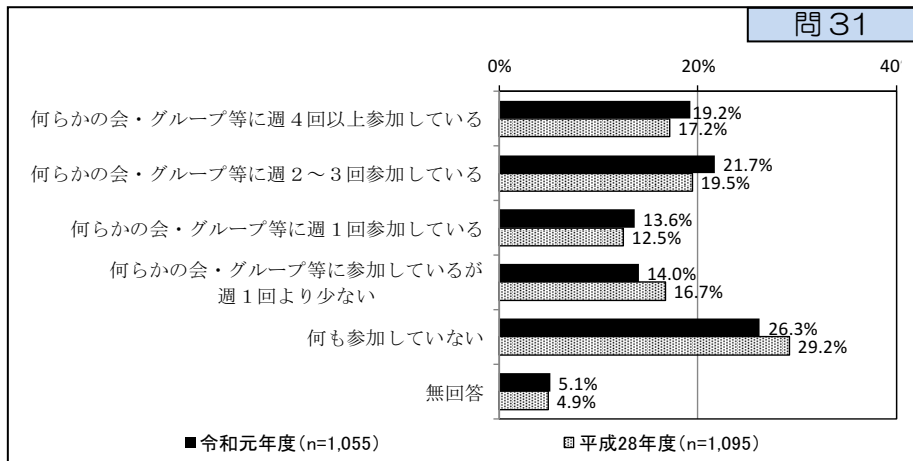
《図 13 転倒に対する不安》(単数回答)



- ・転倒に対する不安は、「とても不安である」と「やや不安である」の合計が43.5%となっている。

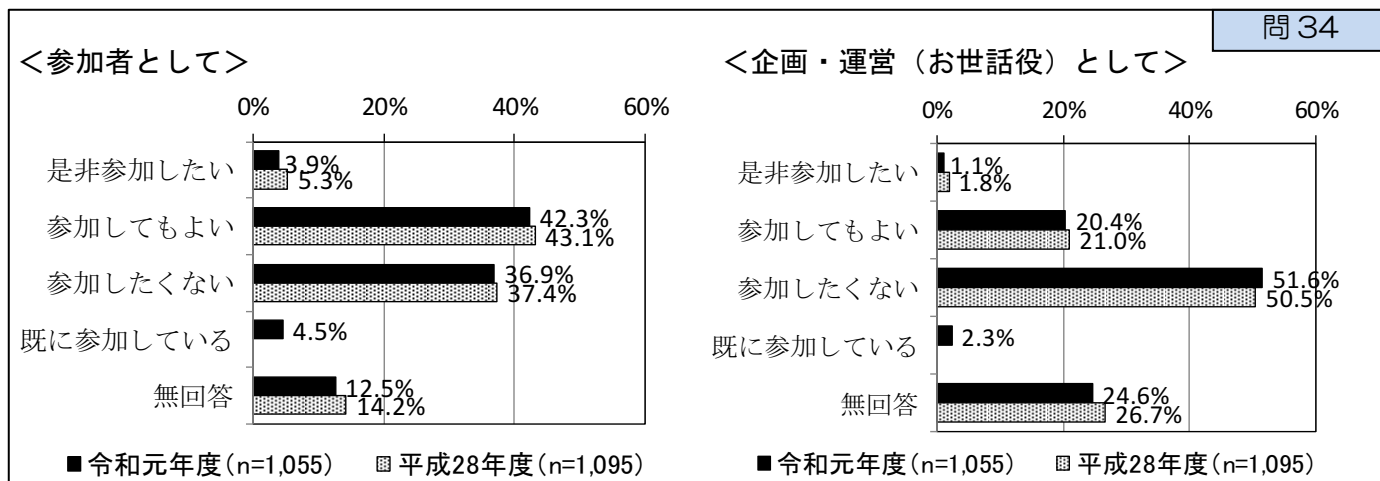
(3) 地域での活動やたすけあいについて

《図 14 地域で行われている会・グループ等への参加頻度》(単数回答)



- ・何らかの会・グループ等に週 1 回以上参加している割合は増加傾向がみられる。
- ・何も参加していない人の割合は 26.3%と、減少傾向がみられる。

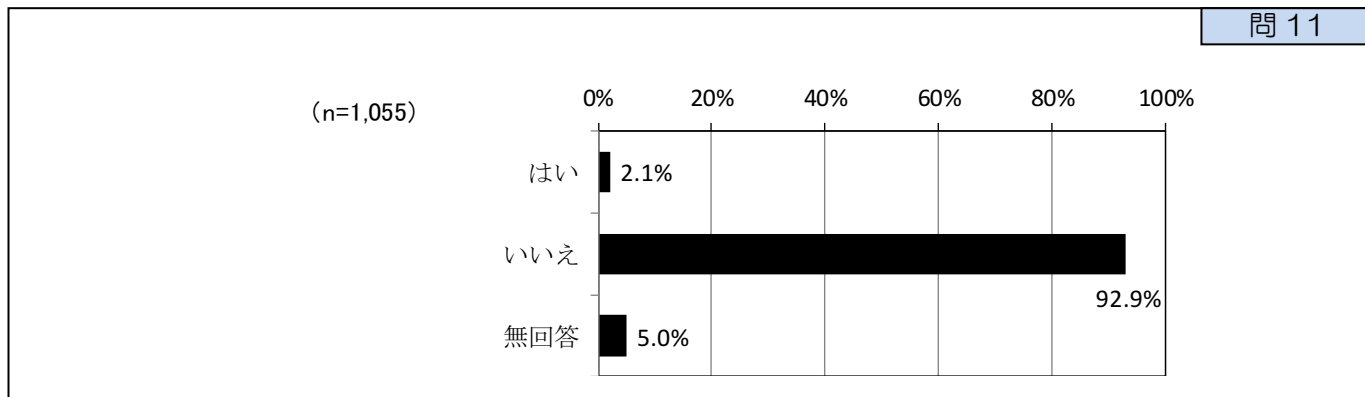
《図 15 地域住民の有志による地域づくりへの参加意向》(単数回答)



- ・地域住民の有志による、健康づくり活動を趣味等のグループを通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計は、参加者としては 46.2%、企画・運営（お世話役）としては 21.5%となっている。

(4) 家族の引きこもりについて

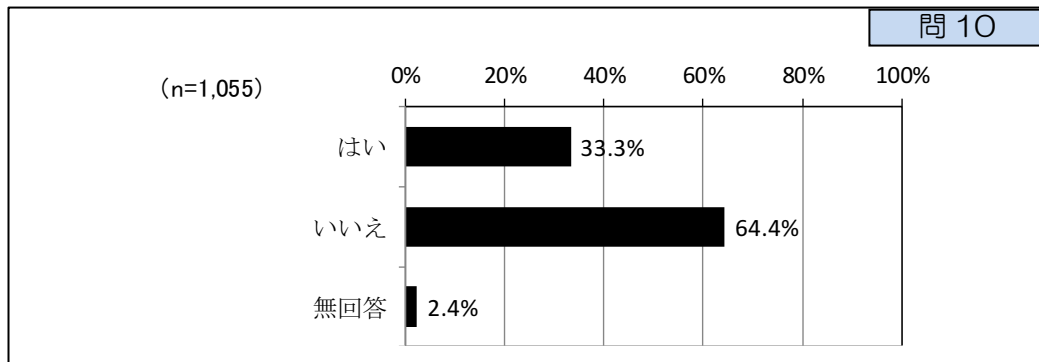
《図 16 65 歳未満の家族の中における引きこもり状態の人の有無》(単数回答)



- ・65 歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6 か月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の人がいるのは 2.1%だった。

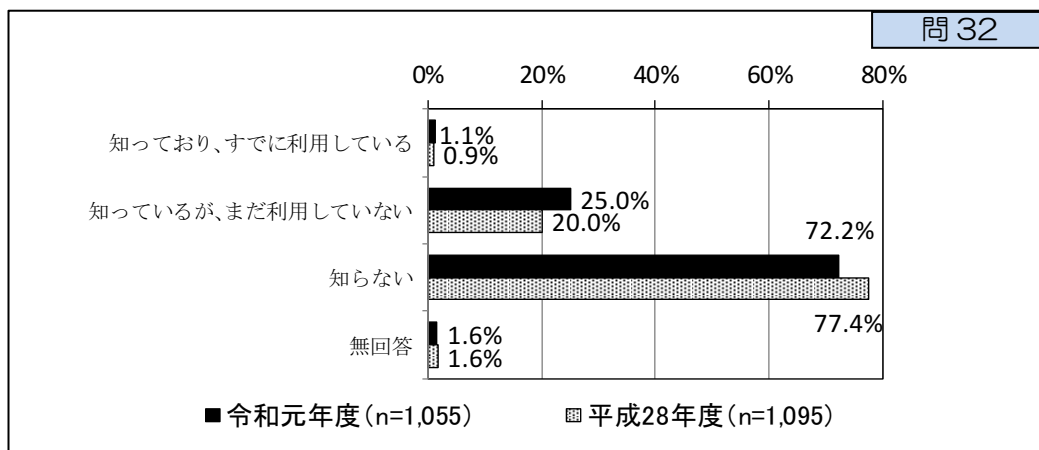
(5) サービスの認知・利用意向について

《図 17 認知症に関する相談窓口の認知》(単数回答)



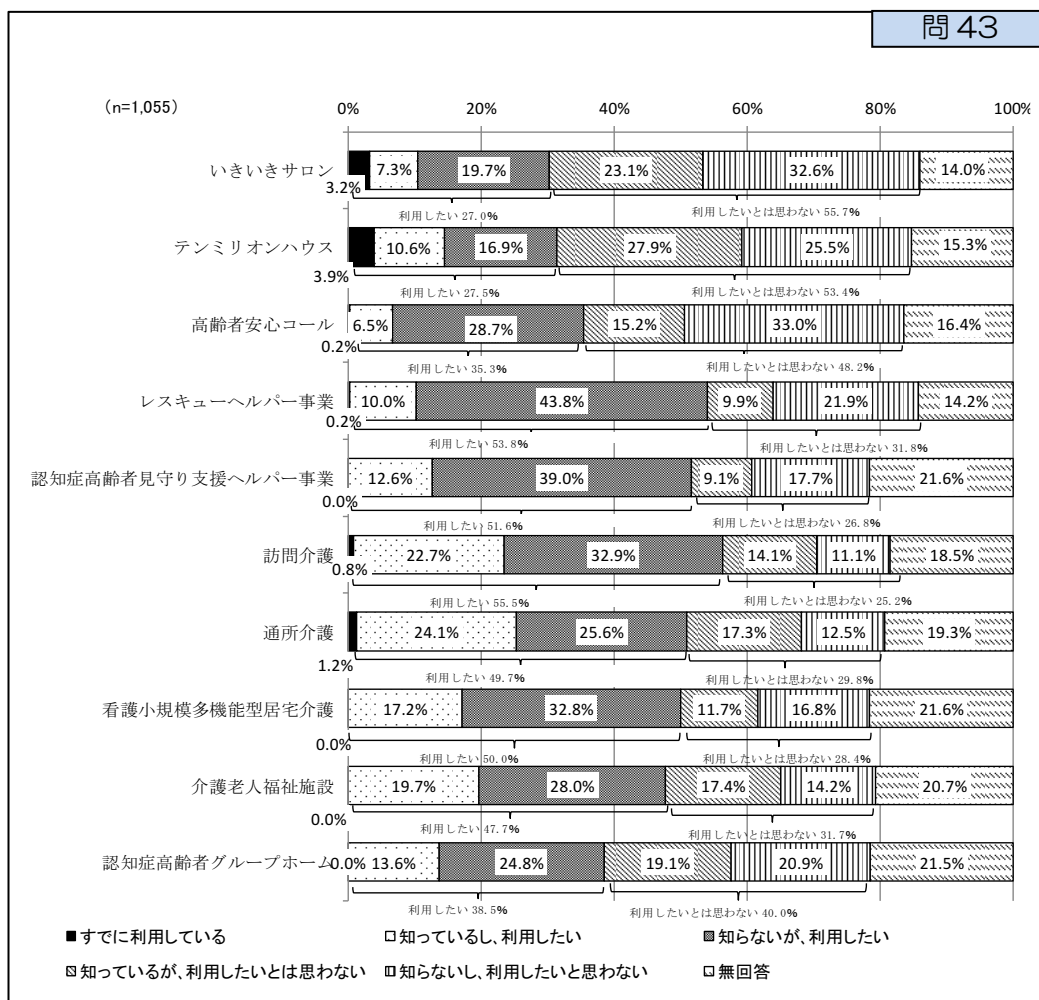
・認知症に関する相談窓口を知っている人は33.3%、知らない人は64.4%だった。

《図 18 「シニア支え合いポイント制度」の認知・利用動向》(単数回答)



・「知っており、すでに利用している」と「知っているが、まだ利用していない」の合計が26.1%と、平成28年度調査より5.2ポイント上昇しており、徐々に認知度が高まっている。

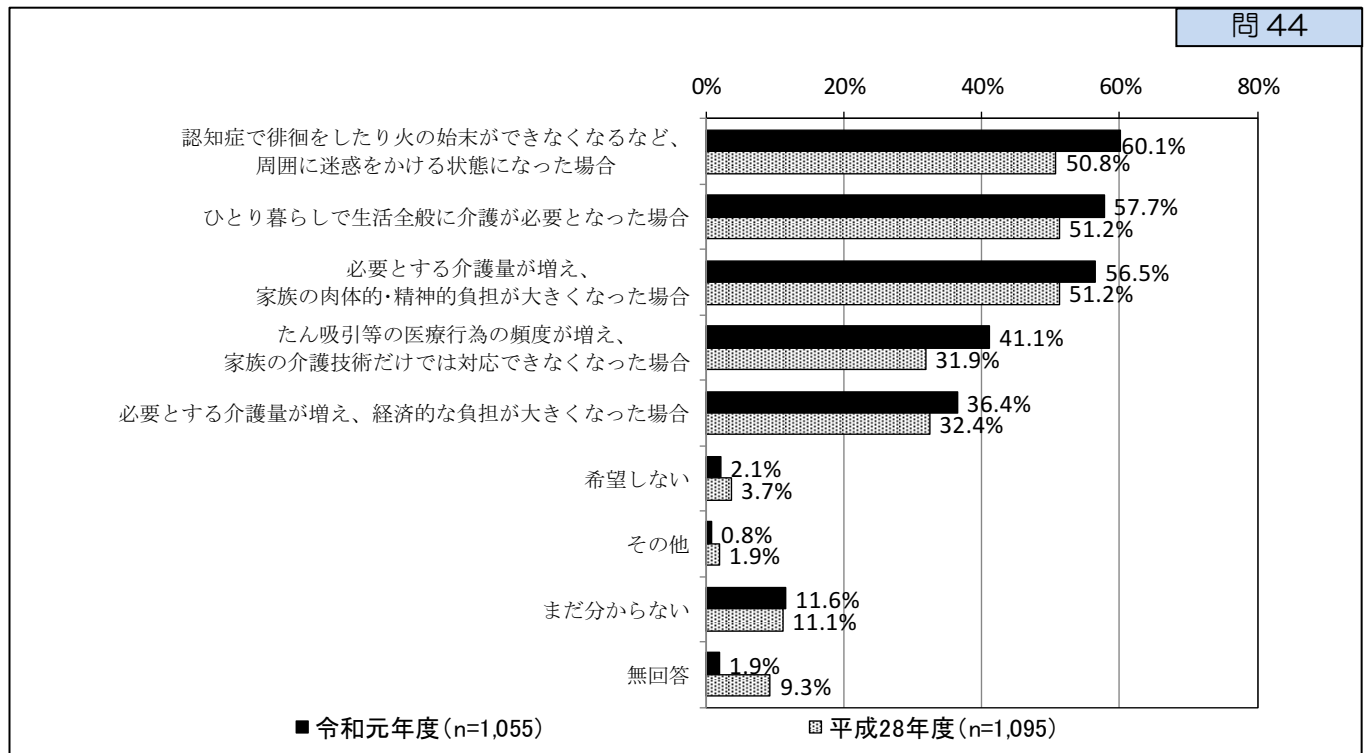
《図 19 サービスの認知・利用意向》(単数回答)



・「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計をみると、訪問介護が55.5%、レスキューヘルパーが53.8%、認知症高齢者見守りヘルパー事業が51.6%となっている。

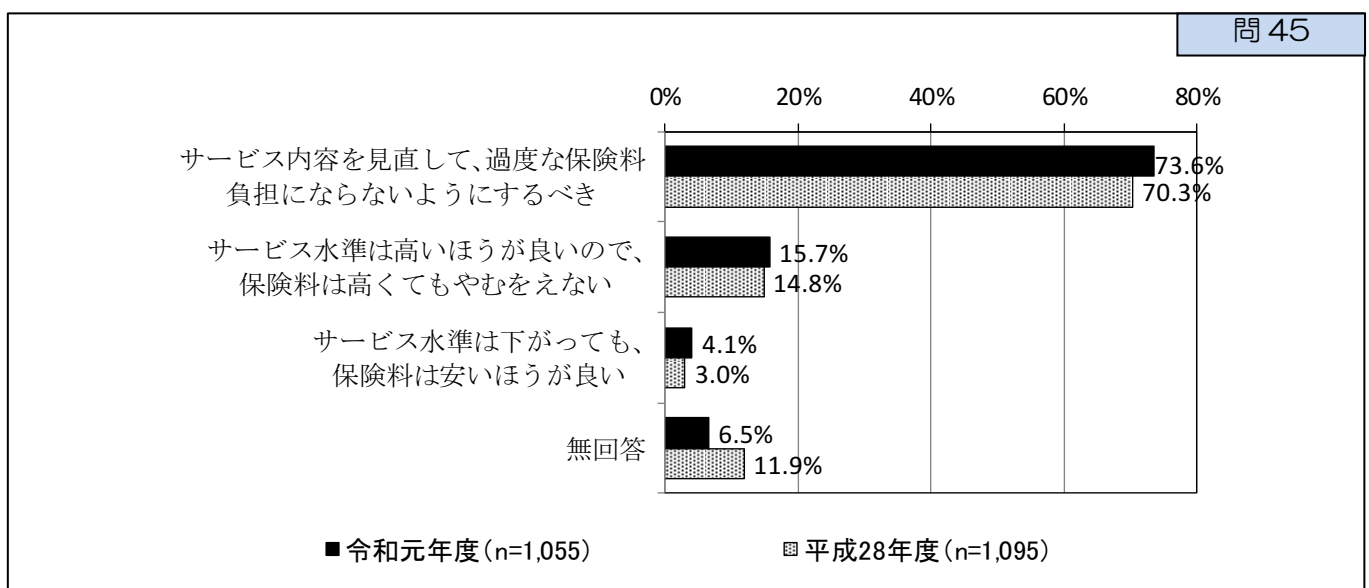
(6) 今後の暮らしについて

《図 20 自分がどのような状態になったら施設入所を希望するか》(複数回答)



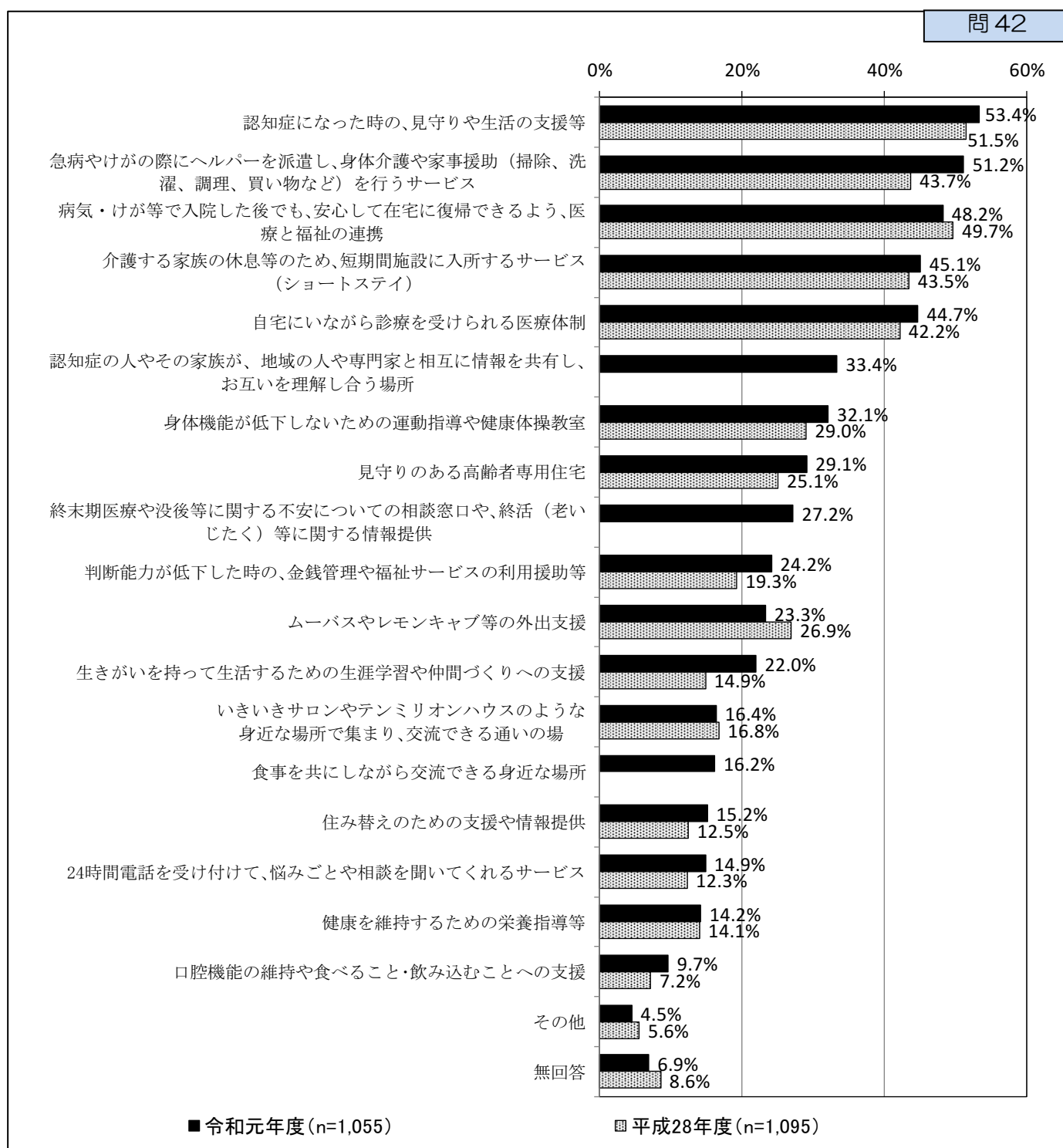
- ・「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」(60.1%)、「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」(57.7%)、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」(56.5%)、に施設入所を希望するという回答がいずれも5割を超えている。また、平成28年度調査に比べて、「希望しない」、「その他」を除くいずれの選択肢も回答の割合が高い。

《図 21 サービス水準と保険料の関係について》(単数回答)



- ・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が最も高く、73.6%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は15.7%である。

《図 22 今後住み慣れた地域で暮らし続けるために充実してほしい施策や支援》（複数回答）



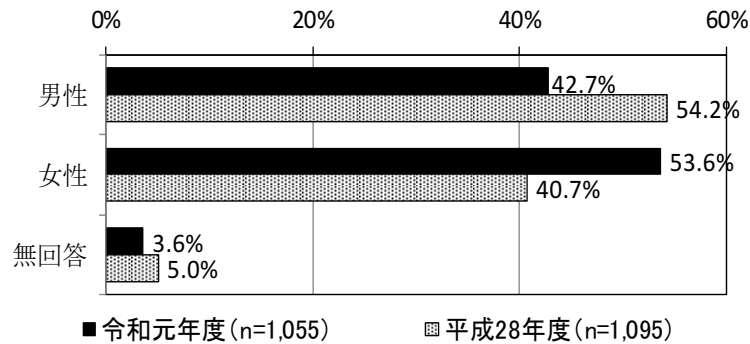
- ・「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」の割合が最も高い（53.4%）。次いで、「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助を行うサービス」（51.2%）、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」（48.2%）が続く。これらは平成28年度調査でも上位3項目を占めており、平成28年度調査と比べて「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」は1.9ポイント、「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助を行うサービス」は7.5ポイント割合が高くなっている。
- ・「生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりの支援」は、平成28年度調査と比べて7.1ポイント割合が高くなっている。（令和元年度調査22.0%、平成28年度調査14.9%）
- ・また、令和元年度調査から選択肢を追加した「認知症の人やその家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所」は33.4%、「終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活（老いじたく）等に関する情報提供」は27.2%、「食事を共にしながら交流できる身近な場所」は16.2%だった。

第2節 調査結果（本編）

1. 回答者（1,055人）の属性

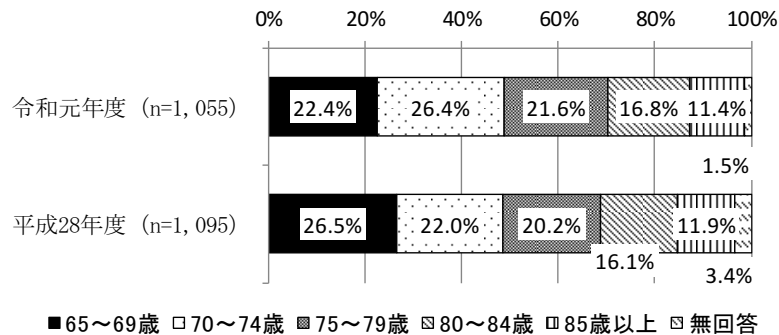
問1 あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。（令和元年12月1日時点。それぞれ○は1つ）。

<性別>



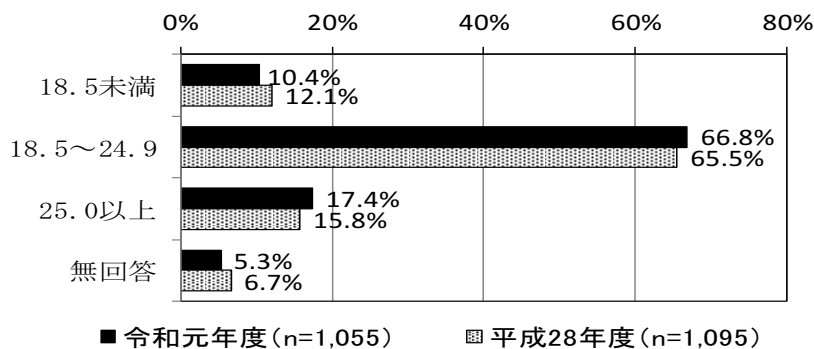
性別は「男性」が42.7%、「女性」が53.6%だった。

<年齢>



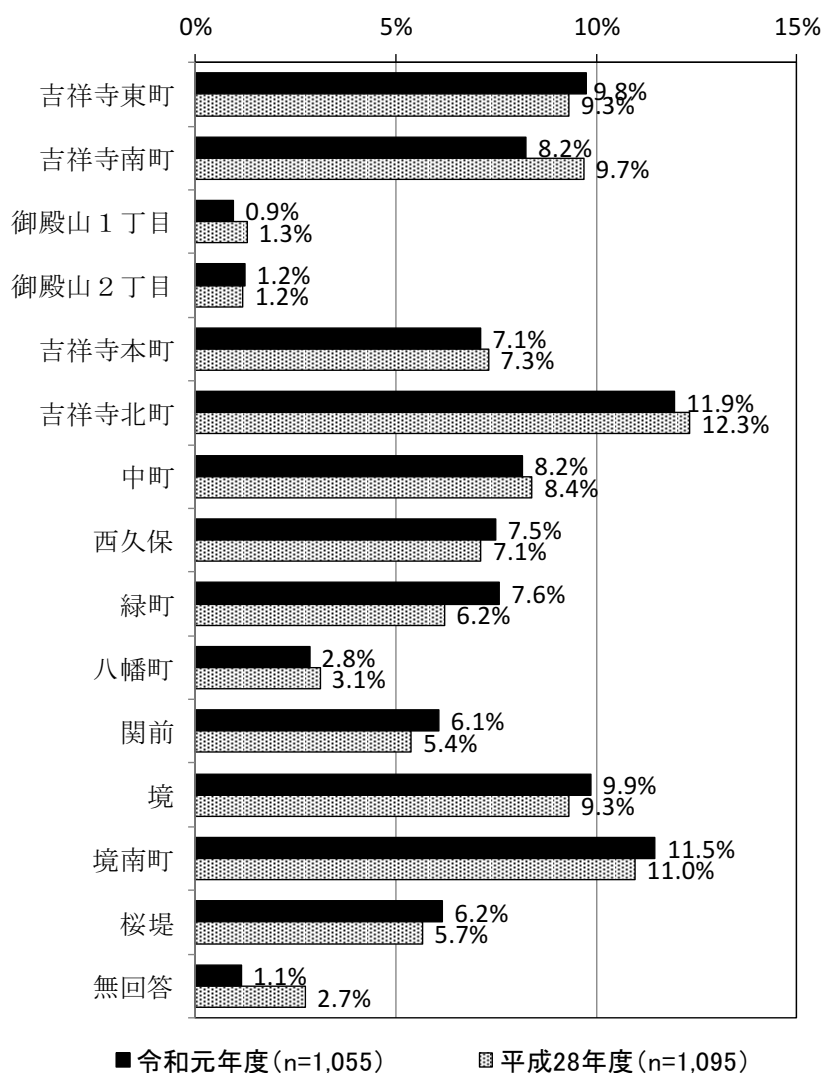
年齢は「65～69歳」が22.4%、「70～74歳」が26.4%だった。平成28年度調査の結果と比べると「65～69歳」の割合がやや低く、「70～74歳」の割合がやや高い。

<BMI（身長・体重から算出）>



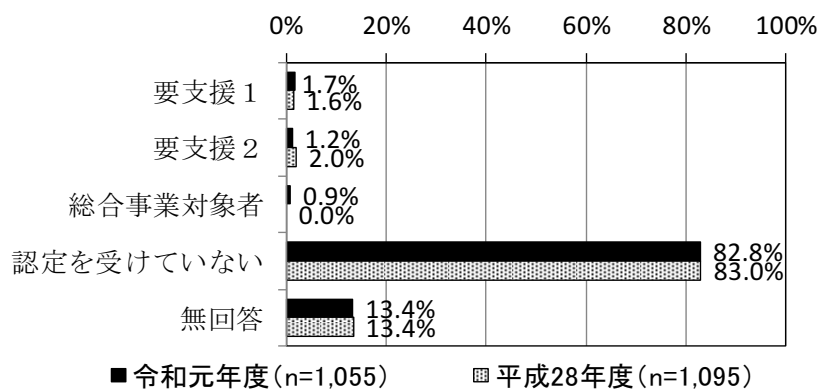
身長・体重からBMIを算出したところ、「18.5未満（やせ）」が10.4%、「25.0以上（肥満）」が17.4%となっている。（ $BMI = \text{体重(kg)} \div \{\text{身長(m)} \times \text{身長(m)}\}$ ）

< 居住地域 >



居住地域は「吉祥寺北町」が11.9%、「境南町」が11.5%となっている。

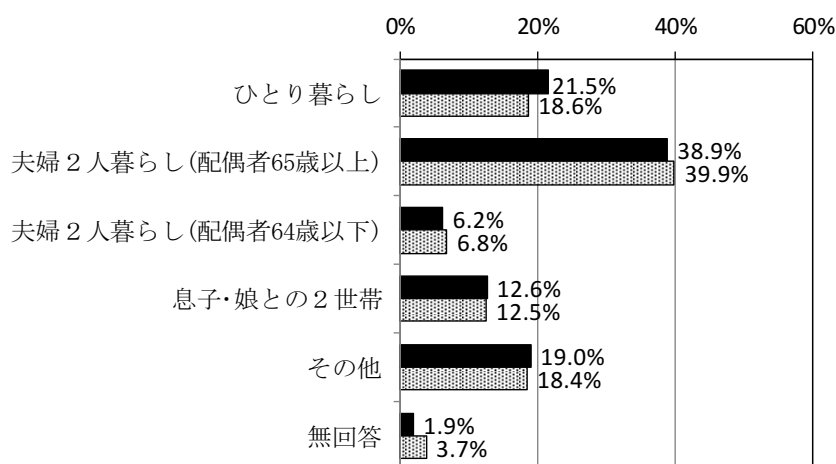
< 要支援（介護）認定の状況 >



要支援（介護）認定の状況は、「要支援1」が1.7%、「要支援2」が1.2%と要支援認定を受けている人は少なく、「認定を受けていない」人が82.8%となっている。

2. 家族や生活状況

問2 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

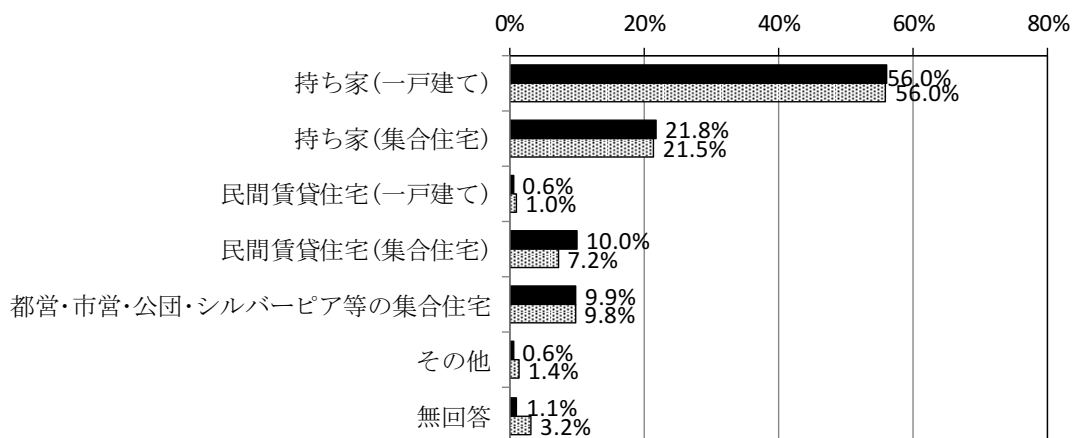


■ 令和元年度 (n=1,055)

▨ 平成28年度 (n=1,095)

家族構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が38.9%、「ひとり暮らし」が21.5%となっている。

問3 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(〇は1つ)

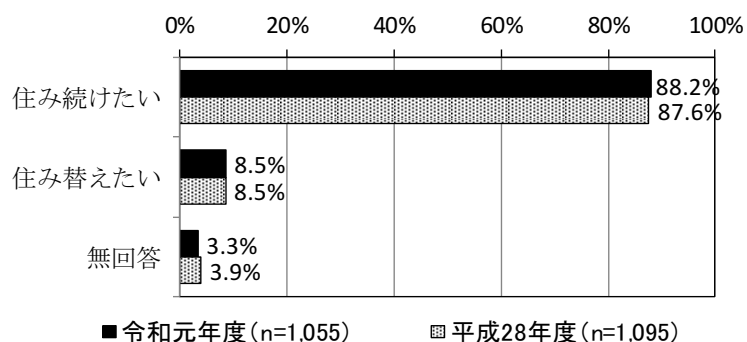


■ 令和元年度 (n=1,055)

▨ 平成28年度 (n=1,095)

現在の住まいは「持ち家(一戸建て)」の割合が高く、56.0%である。

問4 現在のお住まいに住み続けたいですか。(〇は1つ)



(単位：件)

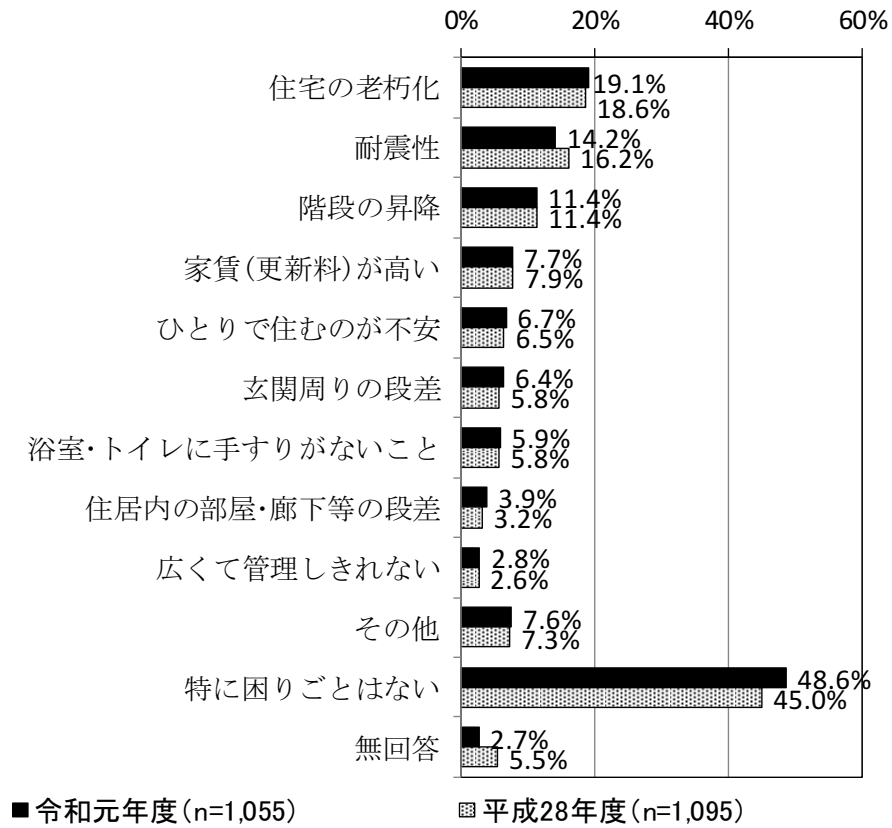
	合計	問4 現在の住まいでの居住継続意向		
		住み続けたい	住み替えたい	無回答
全体	1,055	930	90	35
	100.0%	88.2%	8.5%	3.3%
問3 現在の住まい				
持ち家（一戸建て）	591	546	30	15
	100.0%	92.4%	5.1%	2.5%
持ち家（集合住宅）	230	219	8	3
	100.0%	95.2%	3.5%	1.3%
民間賃貸住宅（一戸建て）	6	4	2	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
民間賃貸住宅（集合住宅）	106	59	42	5
	100.0%	55.7%	39.6%	4.7%
都営・市営・公団・シルバーピア等の集合住宅	104	94	8	2
	100.0%	90.4%	7.7%	1.9%
その他	6	6	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

現在の住まいの居住意向は高く、「住み続けたい」が88.2%にのぼる。

現在の住まいの形態別にみると、持ち家（一戸建て）、持ち家（集合住宅）では「住み続けたい」の割合が高く、それぞれ92.4%、95.2%となっている。

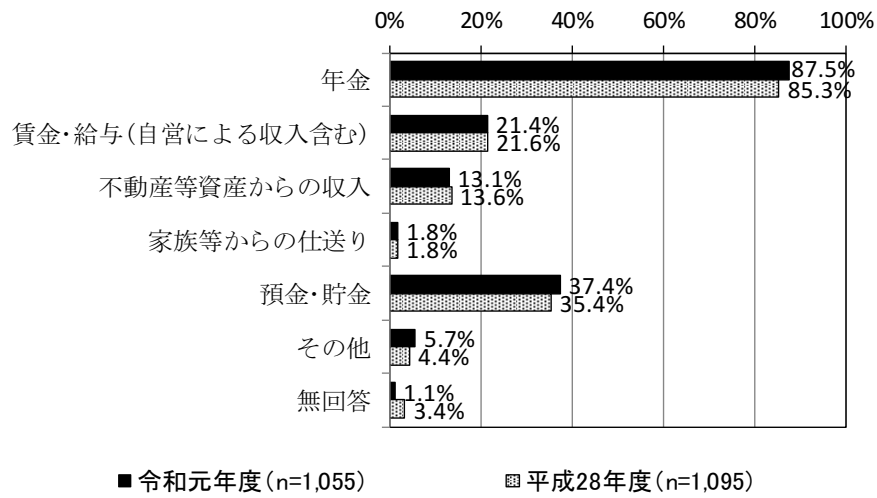
民間賃貸住宅（集合住宅）では、「住み続けたい」が55.7%、「住み替えたい」が39.6%となっている。

問5 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



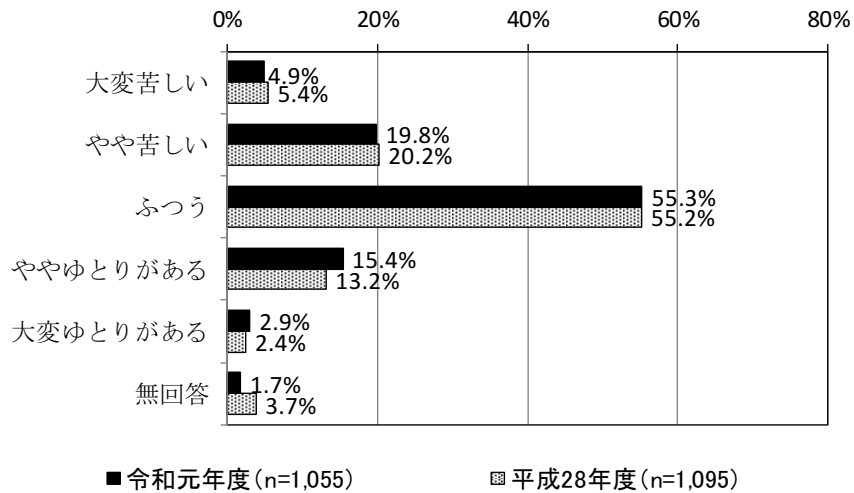
現在の住まいに住み続ける上での困りごとについては、「特に困りごとはない」の割合が最も高く、48.6%となっている。次いで、「住宅の老朽化」が19.1%、「耐震性」が14.2%、「階段の昇降」が11.4%となっている。

問6 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)



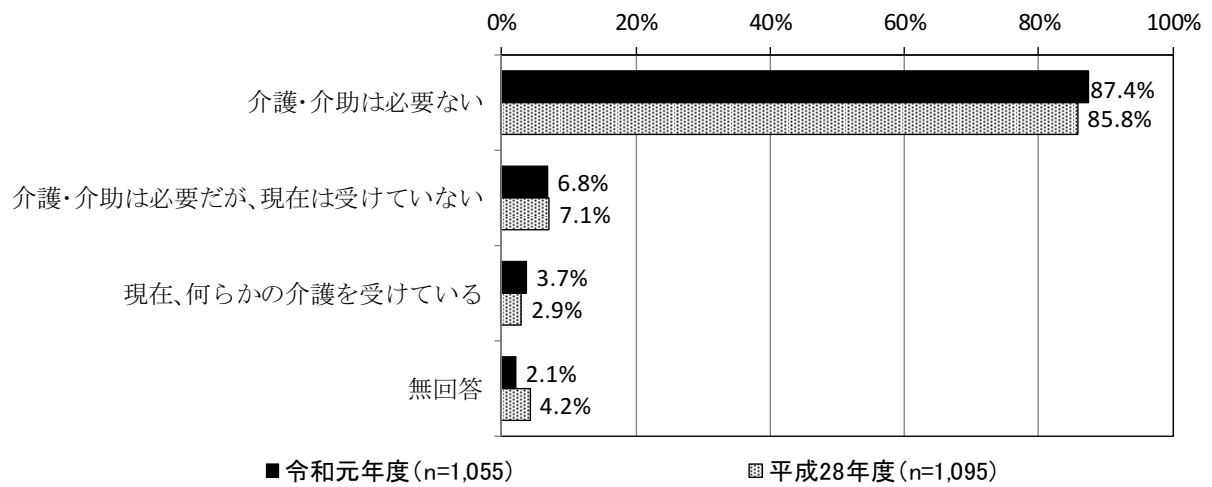
生活費等は「年金」から支出している人の割合が最も高く 87.5%、次いで、「預金・貯金」が 37.4%となっている。

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)



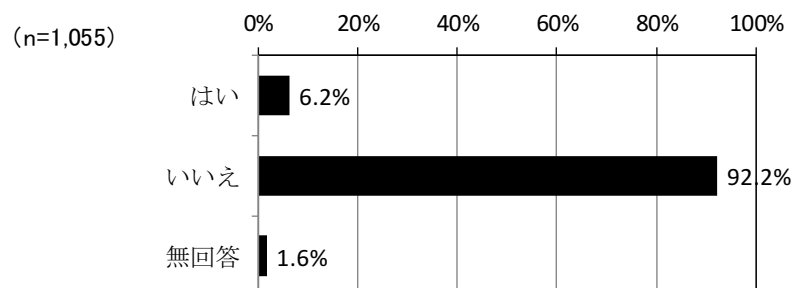
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」の割合が高く、55.3%となっている。「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計は 24.7%となっている。

問8 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



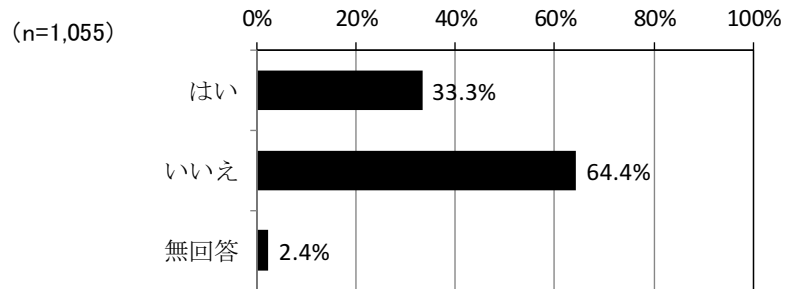
普段の生活においては「介護・介助は必要ない」が87.4%となっている。

問9 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある方がいますか。(○は1つ)



認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人は、全体の6.2% (65人) だった。

問 10 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)



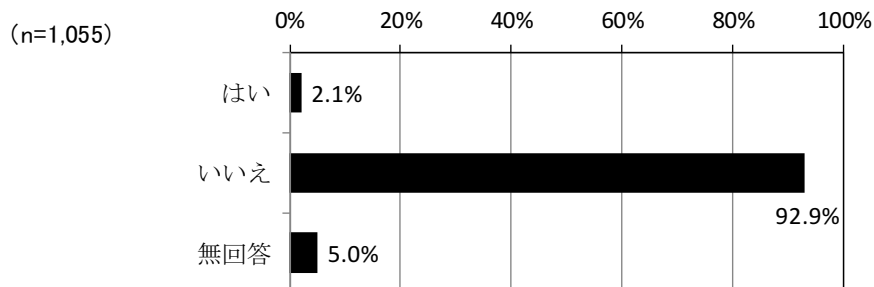
認知症に関する相談窓口を知っている人は33.3%、知らない人は64.4%だった。

(単位：件)

		問10 認知症に関する相談窓口の認知			
		合計	はい (知っている)	いいえ (知らない)	無回答
全体		1,055 100.0%	351 33.3%	679 64.4%	25 2.4%
問9 認知症の有無 (本人又は家族)	はい (いる)	65 100.0%	35 53.8%	28 43.1%	2 3.1%
	いいえ (いない)	973 100.0%	312 32.1%	649 66.7%	12 1.2%

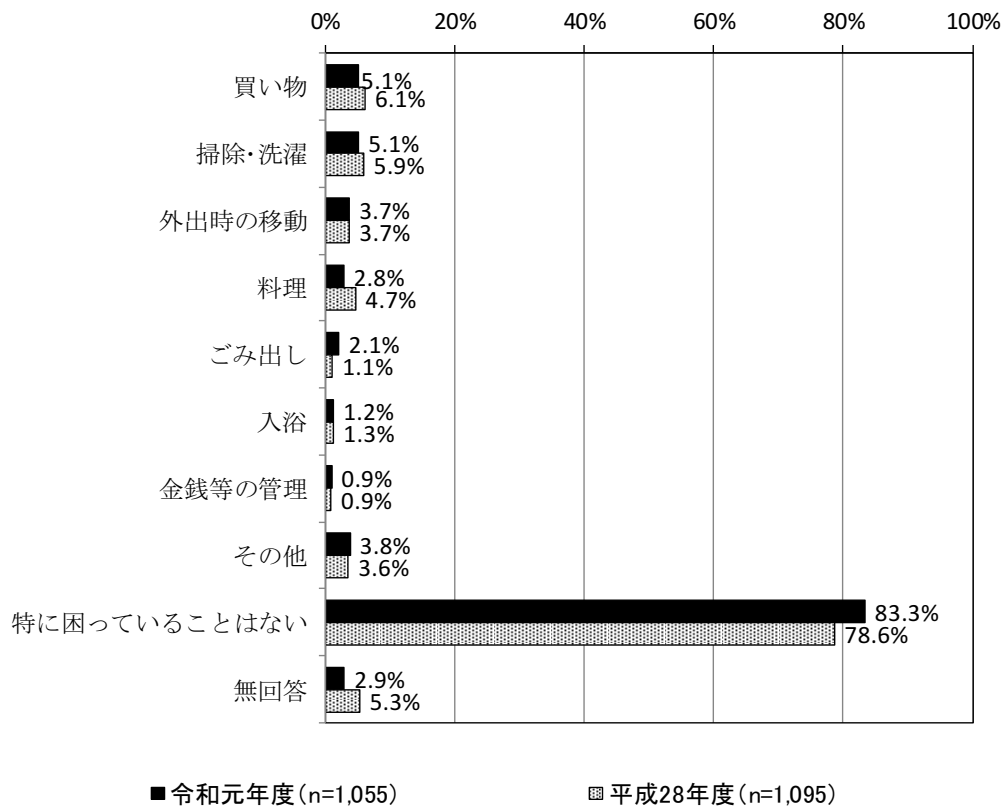
認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状があると回答した65人のうち、認知症に関する相談窓口を知らないのは43.1% (28人) だった。

問 11 65歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の人がいますか。(○は1つ)



65歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の人がいるのは2.1% (22人) だった。

問 12 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。
 （あてはまるものすべてに○）

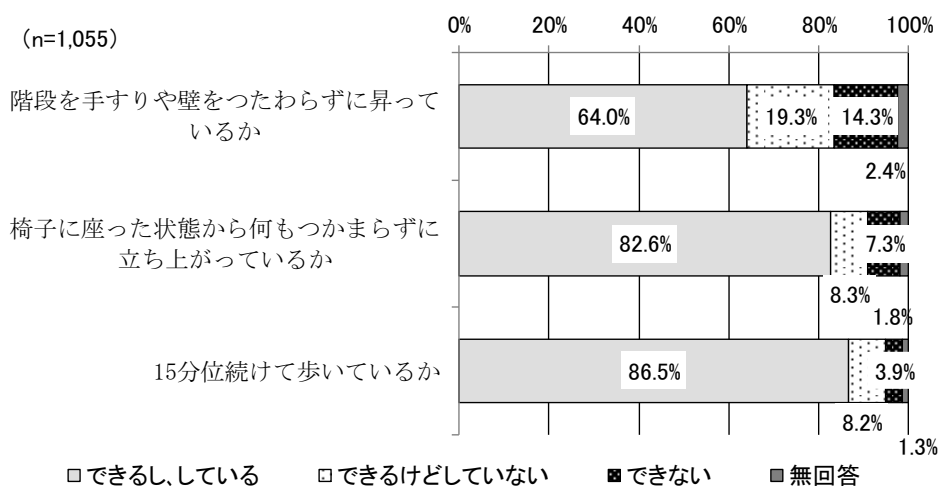


日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）については、「特に困っていることはない」の割合が最も高く、83.3%となっている。

3. からだを動かすことについて

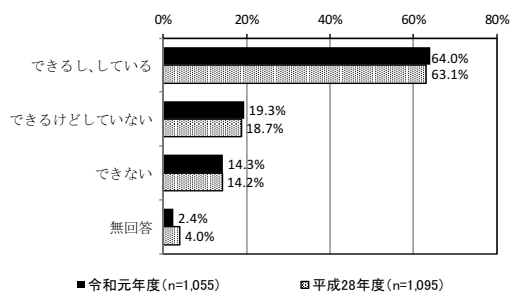
(1) 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

問 13 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
 問 14 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
 問 15 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

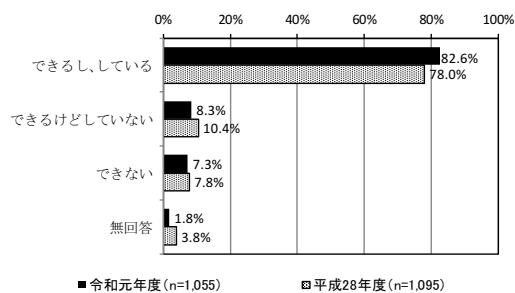


階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか、15分位続けて歩いているかのいずれの設問においても、「できるし、している」の割合が高く、それぞれ64.0%、82.6%、86.5%となっている。

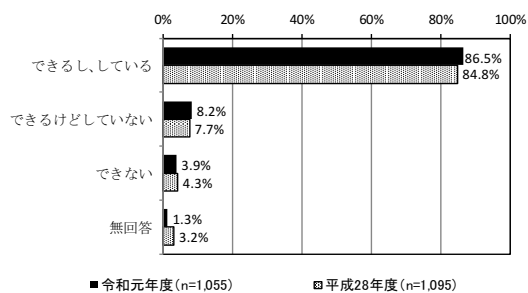
(問 13 階段を昇ること)



(問 14 椅子からの立ち上がり)

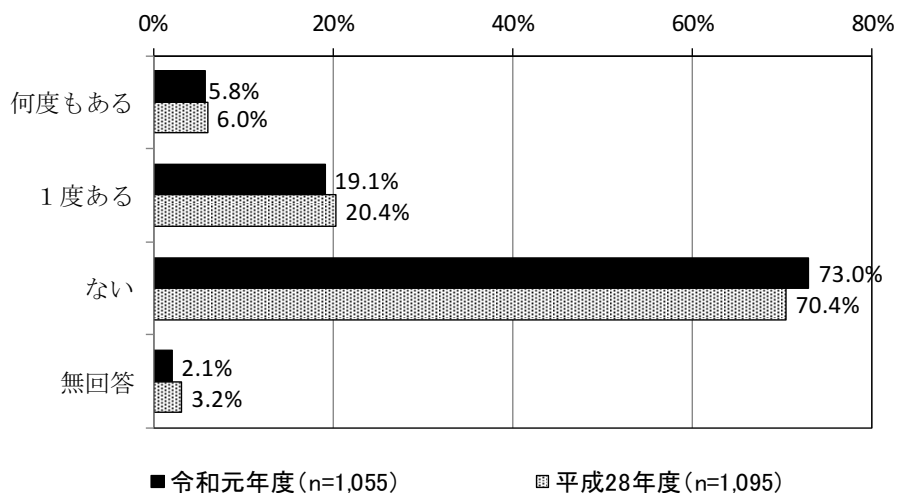


(問 15 15分続けての歩行)



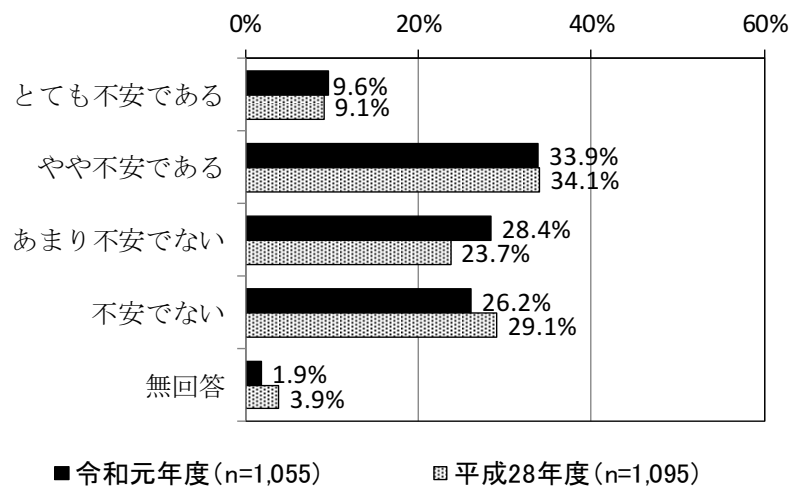
(2) 転倒について

問 16 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)



過去1年間に転んだ経験は「ない」が73.0%となっている。

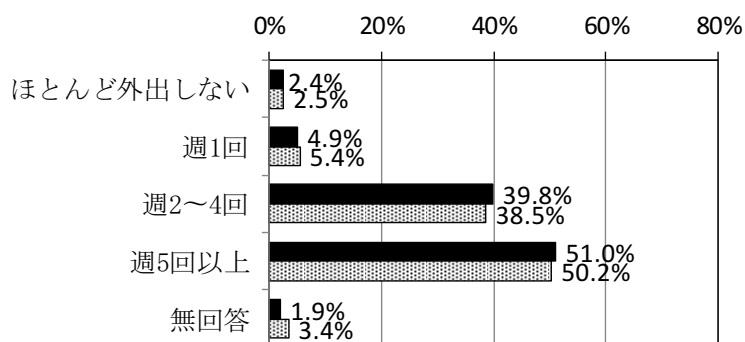
問 17 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)



転倒に対する不安については、「とても不安である」(9.6%)と「やや不安である」(33.9%)の合計が43.5%となっている。他方、「あまり不安でない」(28.4%)と「不安でない」(26.2%)の合計は54.6%である。

(3) 外出の状況

問 18 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)



■ 令和元年度 (n=1,055) ▣ 平成28年度 (n=1,095)

(単位: 件)

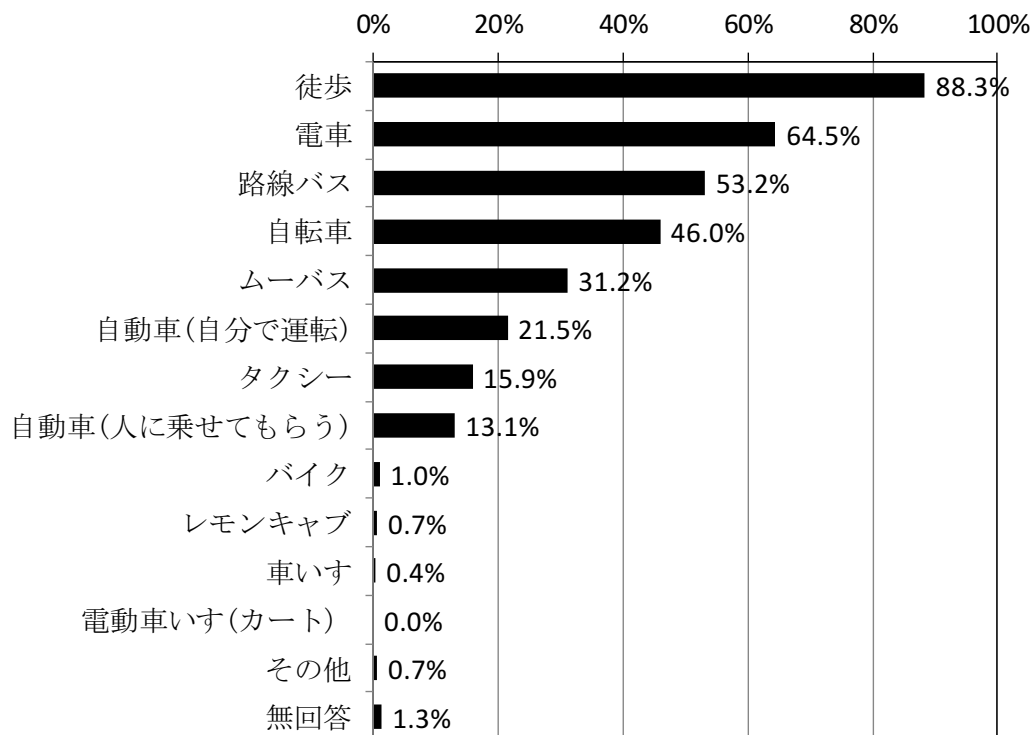
		合計	問18 週に1回以上は外出しているか				
			ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,055 100.0%	25 2.4%	52 4.9%	420 39.8%	538 51.0%	20 1.9%
問1(2) 年齢	65～69歳	236 100.0%	3 1.3%	8 3.4%	75 31.8%	145 61.4%	5 2.1%
	70～74歳	278 100.0%	7 2.5%	10 3.6%	105 37.8%	152 54.7%	4 1.4%
	75～79歳	228 100.0%	1 0.4%	8 3.5%	87 38.2%	126 55.3%	6 2.6%
	80～84歳	177 100.0%	8 4.5%	13 7.3%	81 45.8%	72 40.7%	3 1.7%
	85歳以上	120 100.0%	6 5.0%	13 10.8%	67 55.8%	32 26.7%	2 1.7%

外出の状況については、「週5回以上」が51.0%と半数を超え、次いで「週2～4回」が39.8%となっている。「ほとんど外出しない」は2.4%にとどまっている。

年齢別にみると、65～69歳、70～74歳、75～79歳では「週5回以上」の割合が最も高く、それぞれ61.4%、54.7%、55.3%となっている。80～84歳、85歳以上では「週2～4回」の割合が最も高く、それぞれ45.8%、55.8%となっている。

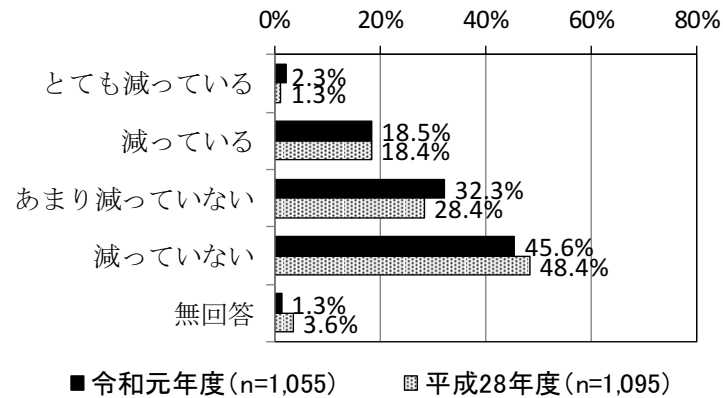
問 19 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(n=1,055)



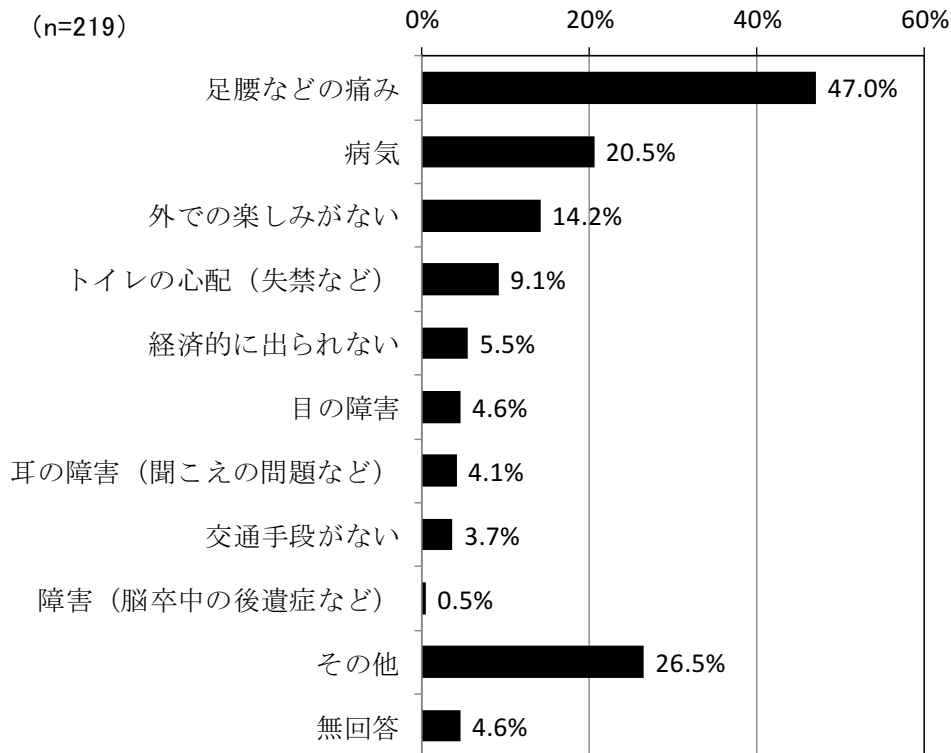
外出する際の移動手段は、「徒歩」が88.3%、「電車」が64.5%だった。

問 20 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)



外出回数を昨年と比べると、「減っていない」が45.6%、「あまり減っていない」が32.3%である。他方、「とても減っている」(2.3%)、「減っている」(18.5%)の回答もみられる。

問 20-1 問 20 で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。外出が減っているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)



昨年と比べて外出が「とても減っている」あるいは「減っている」と回答した219人に外出が減っている理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」が47.0%、「病気」が20.5%だった。

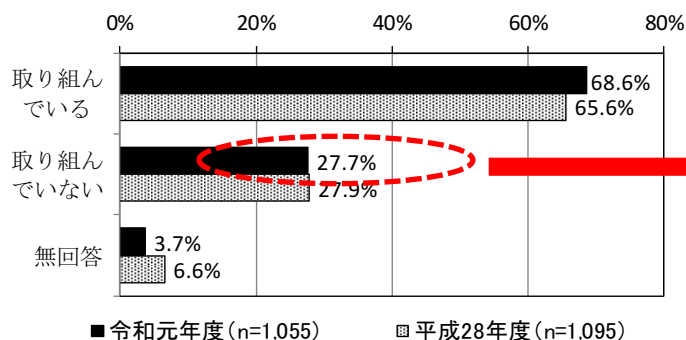
「その他」には、「気力がない」、「特に用事がない」などの回答がみられた。

(4) 健康維持や介護予防の取組み

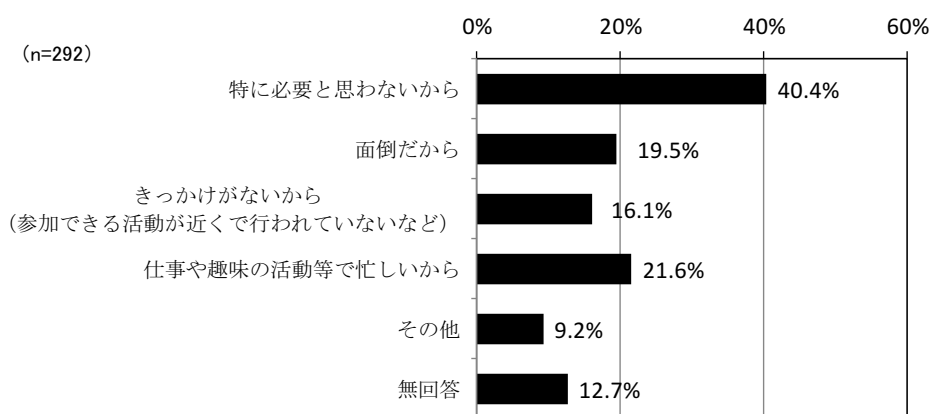
問 21 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

問 21-1 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

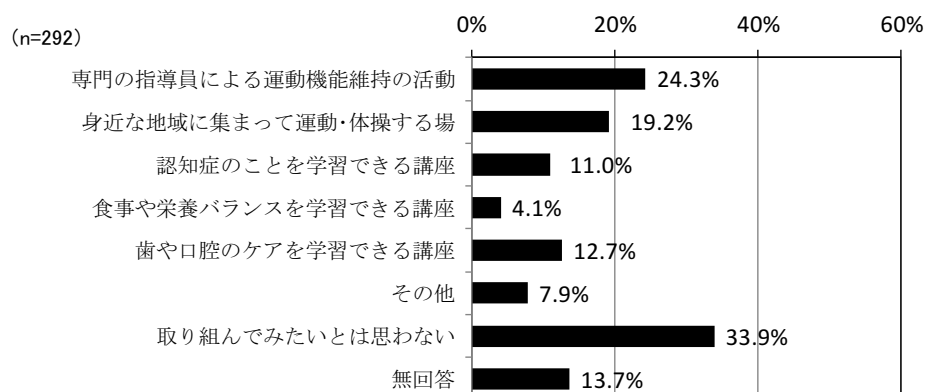
問 21-2 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



<取り組んでいない理由>



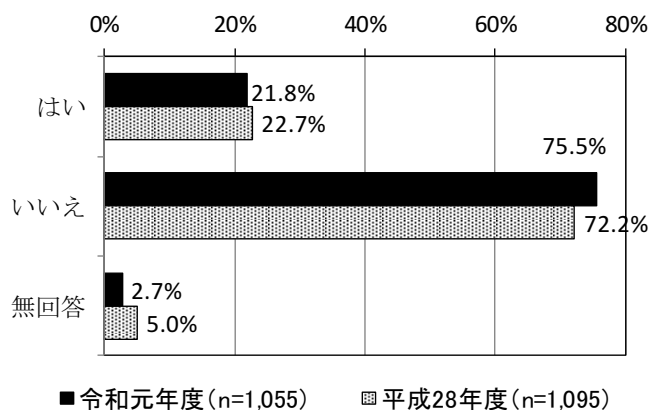
<どのようなものであれば取り組んでみたいか>



健康維持や介護予防に「取り組んでいる」割合は68.6%だった。取り組んでいないと回答した人(27.7%、292人)に、その理由を尋ねたところ、「特に必要と思わないから」が40.4%となっている。また、どのような内容のものがあれば取り組んでみたいか尋ねたところ、「専門の指導員による運動機能維持の活動」が24.3%だった。

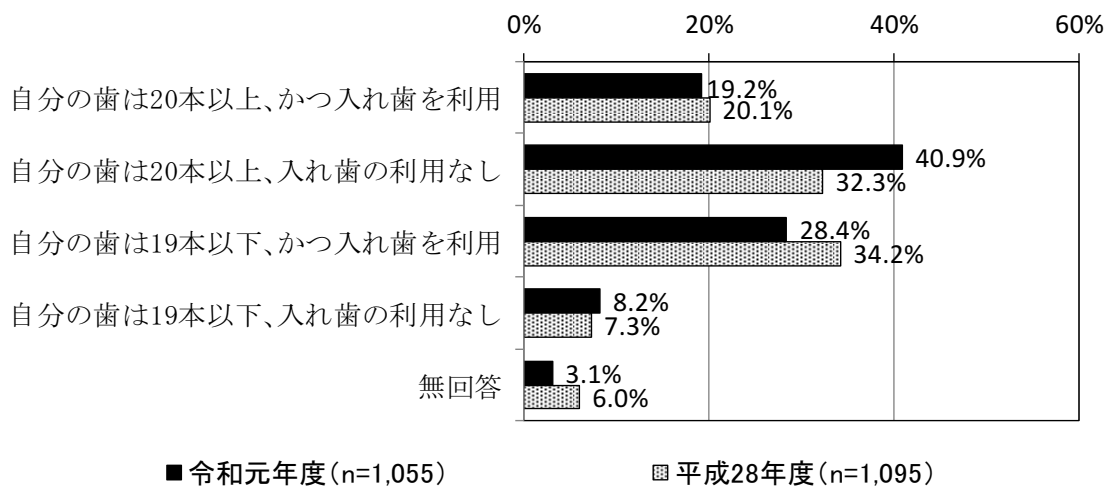
4. 食べることについて

問 22 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)



半年前に比べて固いものが食べにくくなったかを尋ねたところ、「はい」が 21.8%、「いいえ」が 75.5%となっている。

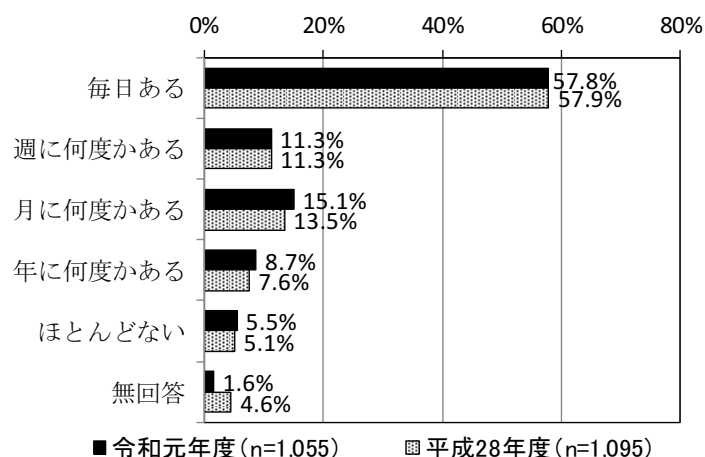
問 23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は1つ)



歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.9%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 28.4%だった。

平成 28 年度調査の結果と比べると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 8.6 ポイント増えている。

問24 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)



< 家族構成別 >

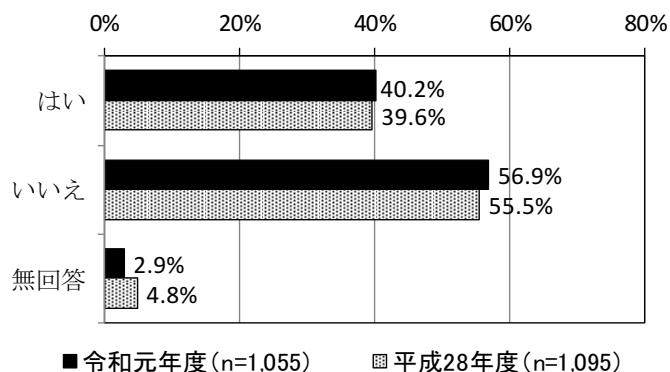
(単位：件)

		合計	問24 他の人と食事をとにもする機会					
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,055	610	119	159	92	58	17
		100.0%	57.8%	11.3%	15.1%	8.7%	5.5%	1.6%
問2 家族構成	ひとり暮らし	227	17	55	85	32	32	6
		100.0%	7.5%	24.2%	37.4%	14.1%	14.1%	2.6%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410	297	25	39	36	9	4
		100.0%	72.4%	6.1%	9.5%	8.8%	2.2%	1.0%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65	48	5	8	4	0	0
	100.0%	73.8%	7.7%	12.3%	6.2%	0.0%	0.0%	
息子・娘との2世帯	133	98	13	12	5	5	0	
	100.0%	73.7%	9.8%	9.0%	3.8%	3.8%	0.0%	
その他	200	138	21	13	13	10	5	
	100.0%	69.0%	10.5%	6.5%	6.5%	5.0%	2.5%	

誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」の割合が高く、57.8%となっている。家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「毎日ある」の割合が7.5%と低く、「年に何度かある」、「ほとんどない」がそれぞれ14.1%となっている。

5. 毎日の生活について

問 25 もの忘れが多いと感じますか。(○は1つ)



もの忘れが多いと感じるかについては、「はい」が 40.2%、「いいえ」が 56.9%となっている。

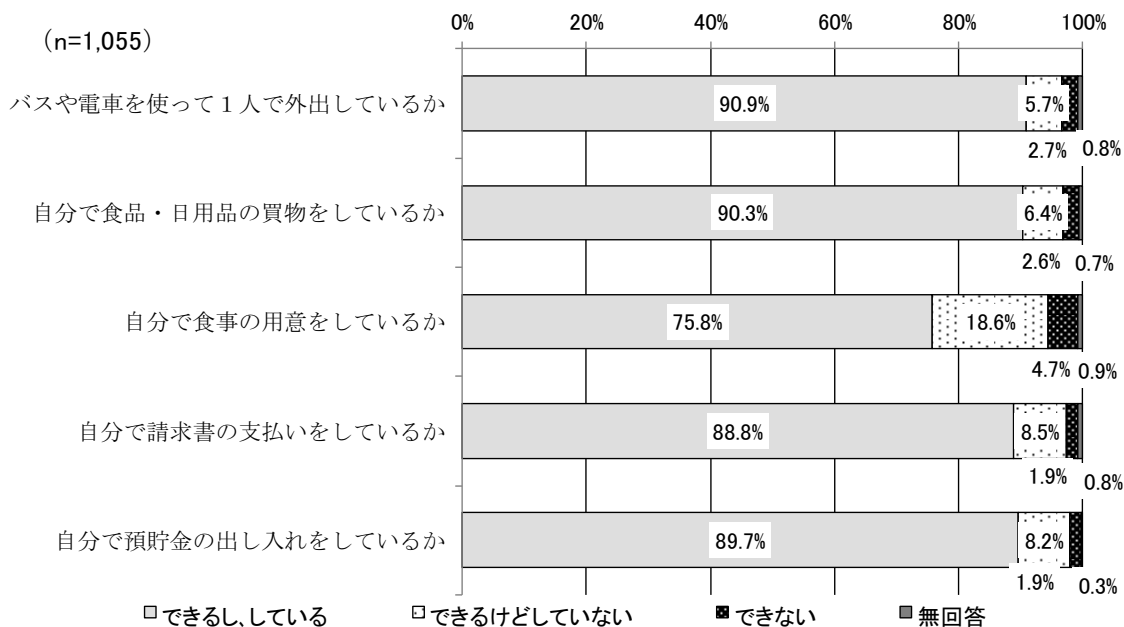
問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

問 27 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

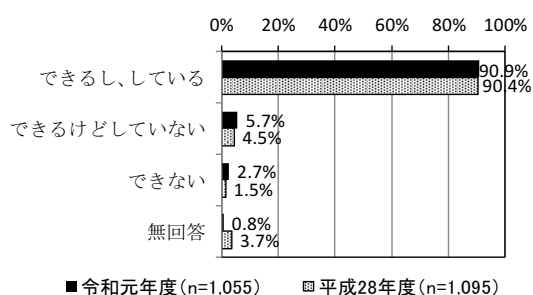
問 28 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

問 29 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

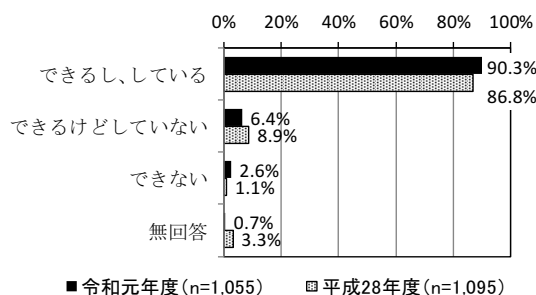
問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



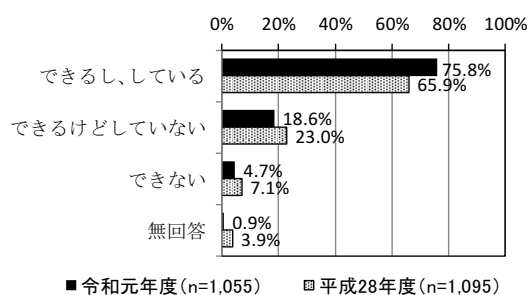
(バスや電車を使って1人で外出)



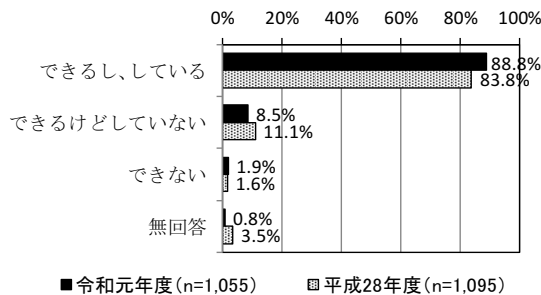
(食品・日用品の買物)



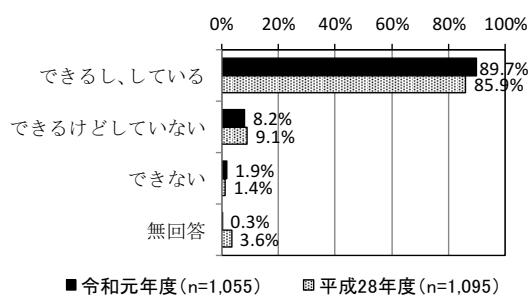
(食事の用意)



(請求書の支払い)



(預貯金の出し入れ)

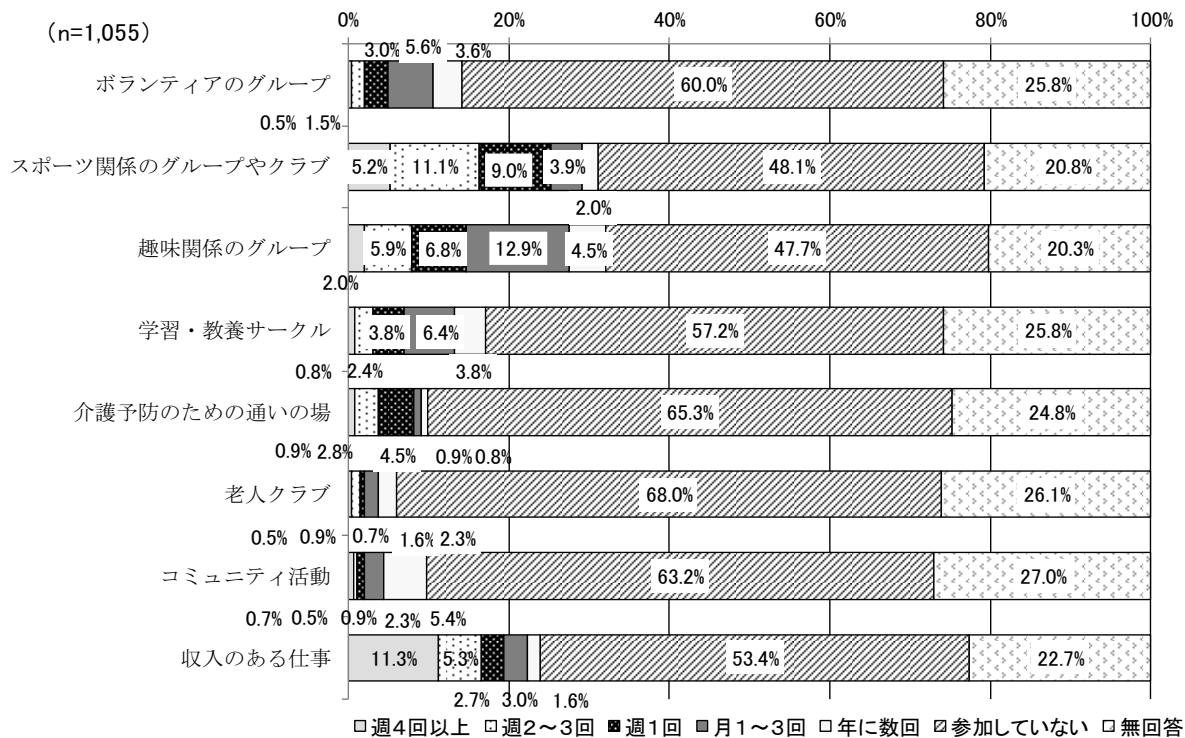


バスや電車を使って1人で外出、食品・日用品の買物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れのいずれも「できるし、している」の割合が高く、それぞれ90.9%、90.3%、75.8%、88.8%、89.7%である。食事の用意については、「できるし、している」に次いで、「できるけどしていない」が18.6%となっている。

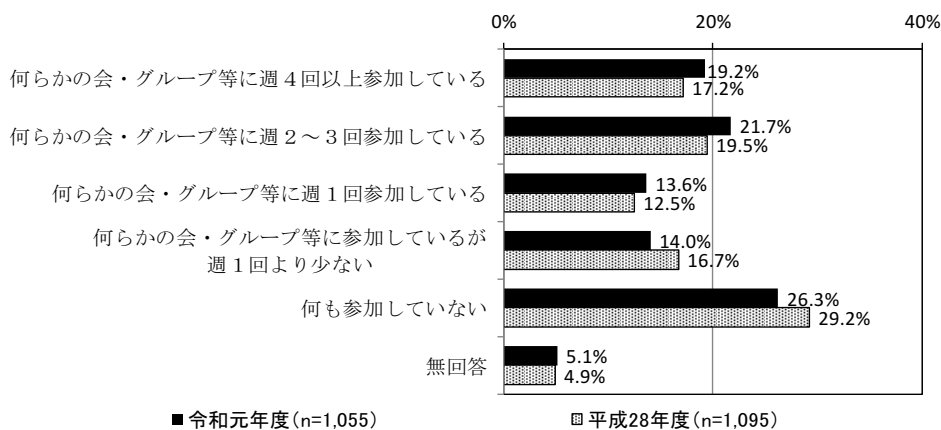
平成28年度調査の結果と比べると、食事の用意の「できるし、している」の割合が9.9ポイント上昇している。

6. 地域での活動やたすけあいについて

問 31 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれについて○は1つ)



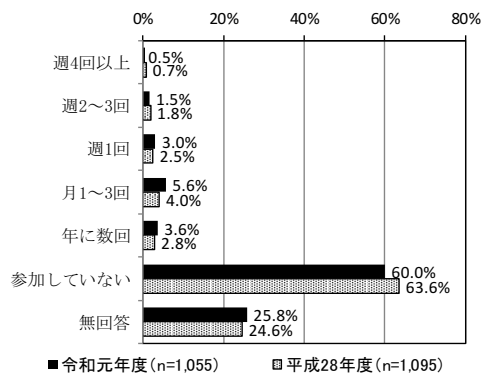
(注) 「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」、「月1~3回」、「年に数回」の和を「参加している」とした。



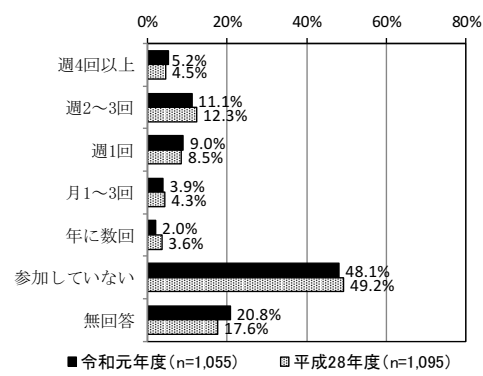
会・グループ等に、年に数回以上参加している割合は、「趣味関係のグループ」32.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」31.2%、「収入のある仕事」24.0%の順に割合が高くなっている。他方、「介護予防のための通いの場」は9.9%、「コミュニティ活動」は9.8%、「老人クラブ」は6.0%にとどまっている。

平成28年度調査の結果と比べると、何らかの会・グループ等に週1回以上参加している割合は増加傾向がみられる。また、どの会・グループにも参加していない（何も参加していない）人の割合は26.3%と、減少傾向がみられる。

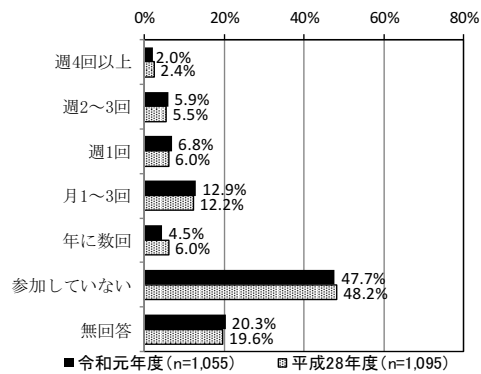
(ボランティア)



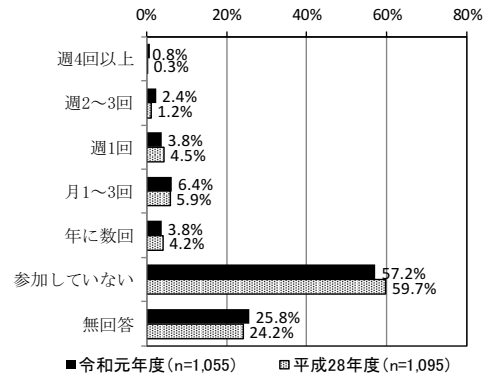
(スポーツ関係)



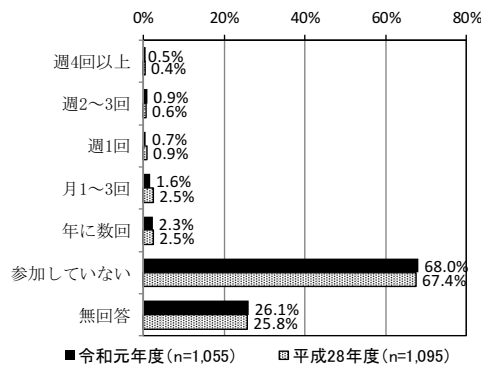
(趣味関係)



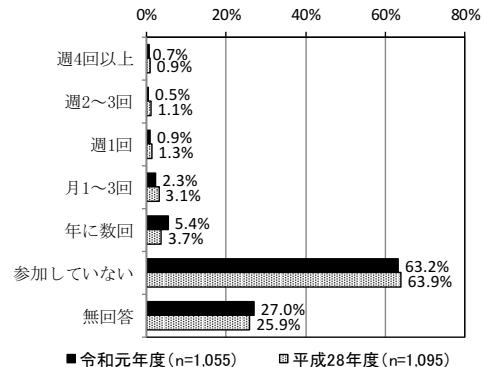
(学習・教養サークル)



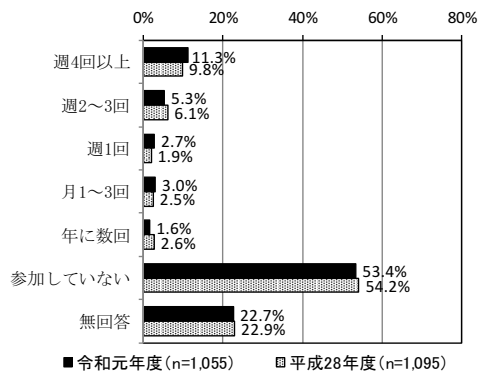
(老人クラブ)



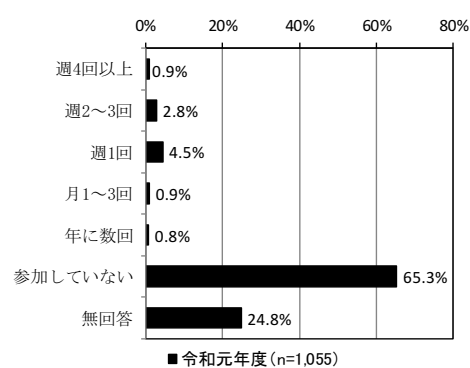
(コミュニティ活動)



(収入のある仕事)

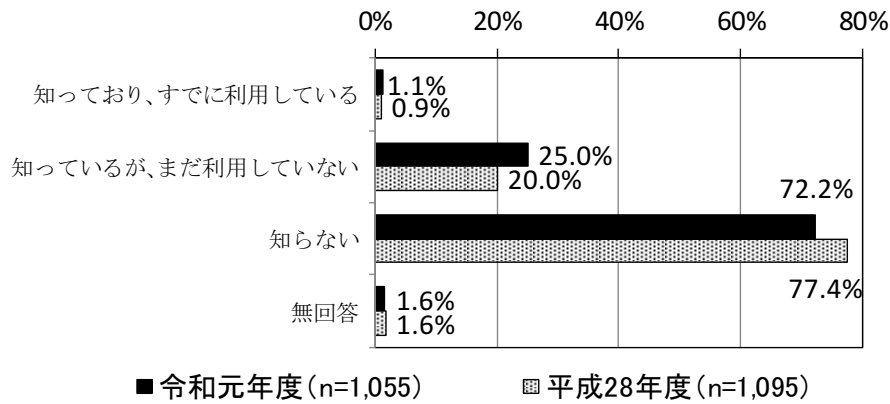


(介護予防のための通いの場)



(注)「介護予防のための通いの場」の設問は、令和元年度調査で追加した。

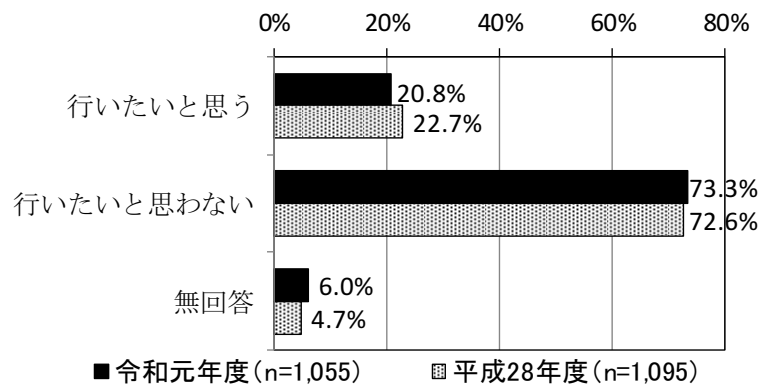
問 32 市では平成 28 年度から「シニア支え合いポイント制度」を始めましたが、この制度について知っていますか。(○は1つ)

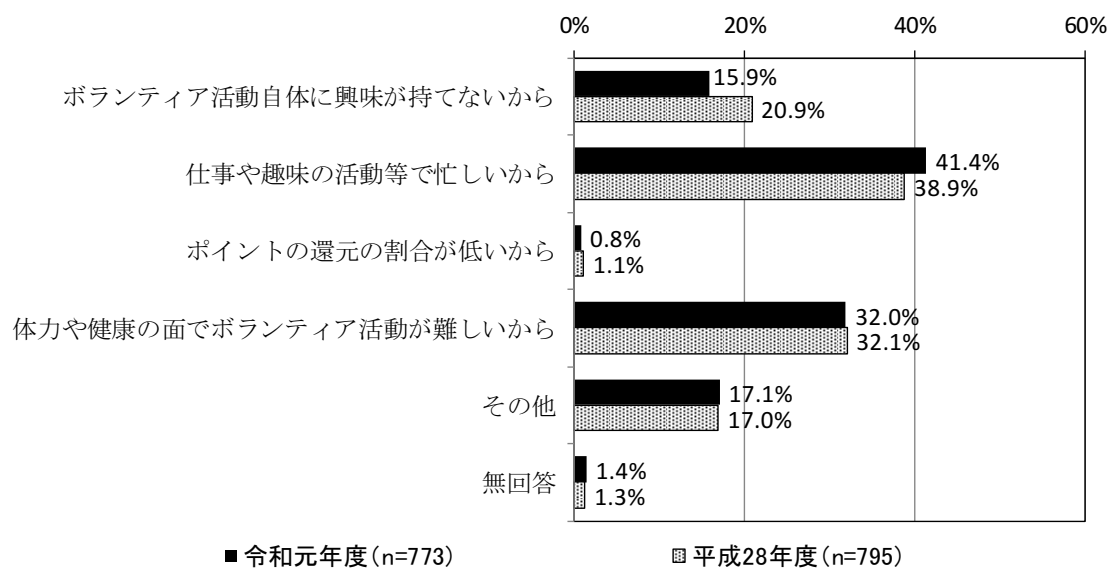


「シニア支え合いポイント制度」については、「知らない」の割合が高く、72.2%となっている。他方、「知っており、すでに利用している」と「知っているが、まだ利用していない」の割合の和は26.1%と、平成28年度調査より5.2ポイント上昇しており、徐々に認知度が高まっている。

問 33 今後、「シニア支え合いポイント制度」を利用してボランティア活動を行いたいと思いますか。(○は1つ)

問 33-1 問 33 で「2. 行いたいと思わない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

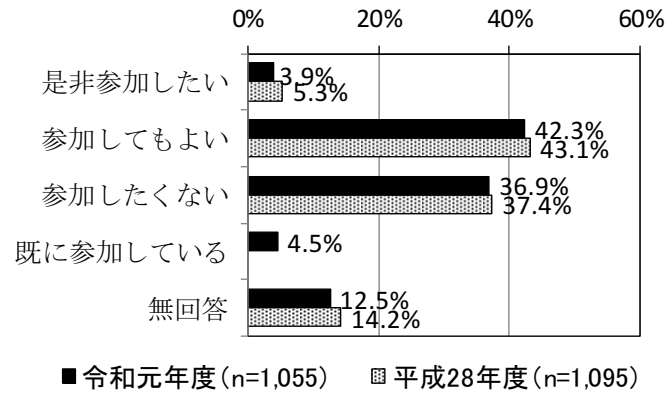




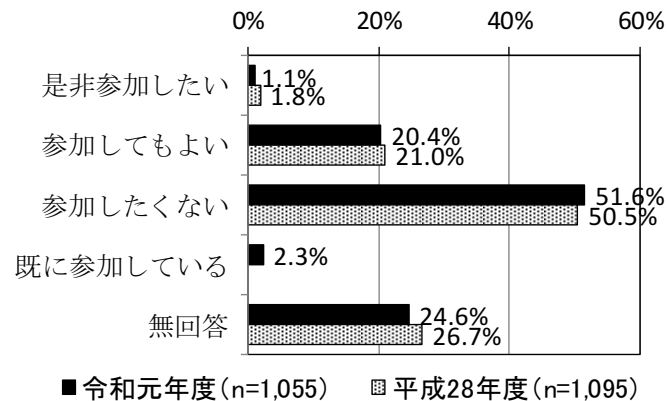
「シニア支え合いポイント制度」を利用したボランティア活動については、「行いたいと思わない」が73.3%となっている。「行いたいと思わない」と回答した人（73.3%、773人）にその理由を尋ねたところ、「仕事や趣味の活動等で忙しいから」が41.4%、「体力や健康の面でボランティア活動が難しいから」が32.0%となっている。

問 34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（それぞれについて〇は1つ）

（参加者）



（企画・運営（お世話役））



（注）「既に参加している」の選択肢は、令和元年度調査で追加した。

地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じた、いきいきとした地域づくりについて、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計をみると、参加者としては46.2%、企画・運営（お世話役）としては21.5%となっている。

(年齢別)

(単位：件)

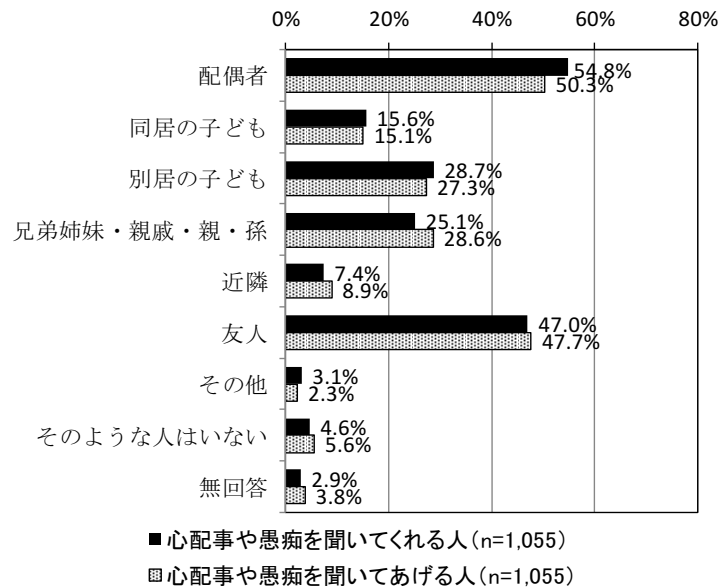
		合計	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体		1,055 100.0%	41 3.9%	446 42.3%	389 36.9%	47 4.5%	132 12.5%
参加者として	65～69歳	236 100.0%	9 3.8%	122 51.7%	79 33.5%	7 3.0%	19 8.1%
	70～74歳	278 100.0%	9 3.2%	121 43.5%	108 38.8%	8 2.9%	32 11.5%
	75～79歳	228 100.0%	10 4.4%	95 41.7%	74 32.5%	14 6.1%	35 15.4%
	80～84歳	177 100.0%	8 4.5%	76 42.9%	59 33.3%	12 6.8%	22 12.4%
	85歳以上	120 100.0%	4 3.3%	28 23.3%	61 50.8%	6 5.0%	21 17.5%
全体		1,055 100.0%	12 1.1%	215 20.4%	544 51.6%	24 2.3%	260 24.6%
企画・運営として	65～69歳	236 100.0%	0 0.0%	76 32.2%	129 54.7%	5 2.1%	26 11.0%
	70～74歳	278 100.0%	8 2.9%	63 22.7%	146 52.5%	8 2.9%	53 19.1%
	75～79歳	228 100.0%	2 0.9%	48 21.1%	105 46.1%	4 1.8%	69 30.3%
	80～84歳	177 100.0%	0 0.0%	18 10.2%	91 51.4%	4 2.3%	64 36.2%
	85歳以上	120 100.0%	2 1.7%	6 5.0%	65 54.2%	3 2.5%	44 36.7%

年齢別にみると、「65～69歳」では、参加者として、企画・運営（お世話係）としてのいずれにおいても、「参加してもよい」の割合が比較的高い（それぞれ51.7%、32.2%）。また、「85歳以上」では、参加者として「参加したくない」の割合が比較的高い（50.8%）。

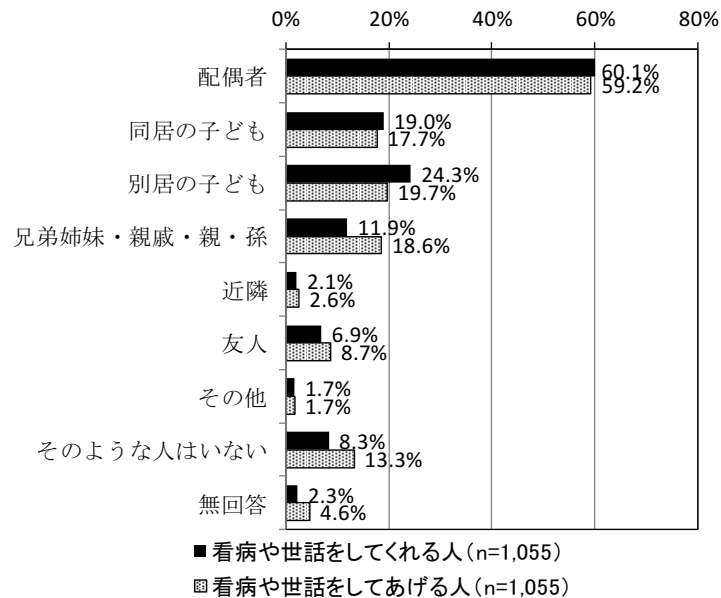
問 35 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。(①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

- ①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
- ②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
- ③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
- ④反対に、看病や世話をしてあげる人

(心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人)

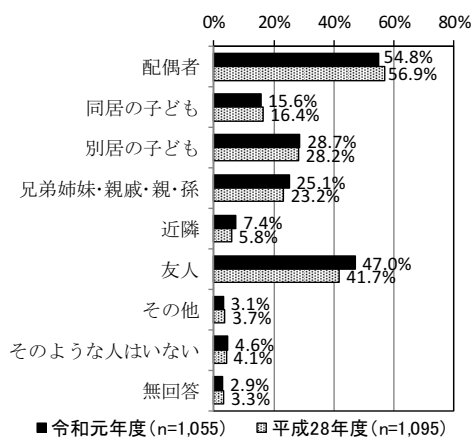


(病気で数日間寝込んだときの看病や世話をしてくれる人・してあげる人)

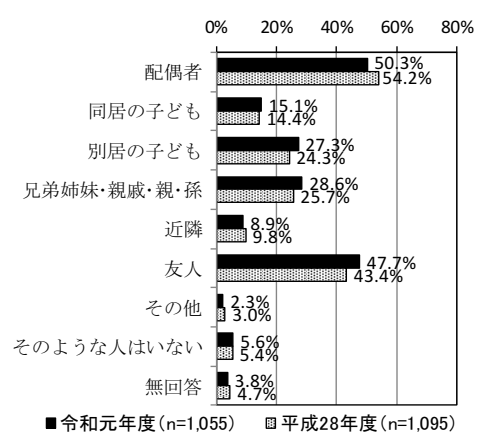


心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人のいずれも「配偶者」の割合が高く、それぞれ54.8%、50.3%だった。病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、してあげる人も同様に「配偶者」の割合が高く、それぞれ60.1%、59.2%だった。

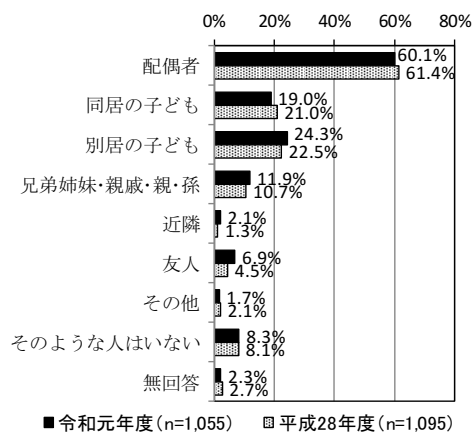
(心配事や愚痴を聞いてくれる人)



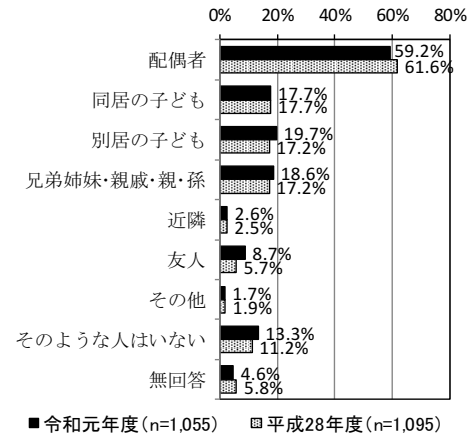
(心配事や愚痴を聞いてあげる人)



(看病や世話をしてくれる人)



(看病や世話をしてあげる人)



平成 28 年度調査の結果と比較すると、「友人」の割合が、心配事や愚痴を聞いてくれる人で 5.3 ポイント、心配事や愚痴を聞いてあげる人で 4.3 ポイント上昇している。

(家族構成別 心配事や愚痴を聞いてくれる人)

(単位：件)

		合計	問35(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,055 100.0%	578 54.8%	165 15.6%	303 28.7%	265 25.1%	78 7.4%	496 47.0%	33 3.1%	49 4.6%	31 2.9%
問2 家族構成	ひとり暮らし	227 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	79 34.8%	74 32.6%	34 15.0%	129 56.8%	12 5.3%	18 7.9%	12 5.3%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410 100.0%	345 84.1%	9 2.2%	146 35.6%	89 21.7%	22 5.4%	182 44.4%	4 1.0%	9 2.2%	8 2.0%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65 100.0%	58 89.2%	1 1.5%	14 21.5%	10 15.4%	4 6.2%	27 41.5%	5 7.7%	1 1.5%	2 3.1%
	息子・娘との2世帯	133 100.0%	67 50.4%	81 60.9%	32 24.1%	37 27.8%	6 4.5%	58 43.6%	2 1.5%	9 6.8%	1 0.8%
	その他	200 100.0%	96 48.0%	64 32.0%	31 15.5%	51 25.5%	11 5.5%	94 47.0%	10 5.0%	11 5.5%	5 2.5%

(家族構成別 心配事や愚痴を聞いてあげる人)

(単位：件)

		合計	問35(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,055 100.0%	531 50.3%	159 15.1%	288 27.3%	302 28.6%	94 8.9%	503 47.7%	24 2.3%	59 5.6%	40 3.8%
問2 家族構成	ひとり暮らし	227 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	58 25.6%	83 36.6%	29 12.8%	136 59.9%	6 2.6%	28 12.3%	13 5.7%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410 100.0%	312 76.1%	12 2.9%	152 37.1%	102 24.9%	34 8.3%	181 44.1%	6 1.5%	14 3.4%	7 1.7%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65 100.0%	58 89.2%	0 0.0%	22 33.8%	13 20.0%	4 6.2%	25 38.5%	3 4.6%	0 0.0%	5 7.7%
	息子・娘との2世帯	133 100.0%	58 43.6%	71 53.4%	27 20.3%	39 29.3%	11 8.3%	63 47.4%	2 1.5%	8 6.0%	3 2.3%
	その他	200 100.0%	93 46.5%	67 33.5%	28 14.0%	61 30.5%	15 7.5%	92 46.0%	7 3.5%	9 4.5%	7 3.5%

心配事や愚痴を聞いてくれる人について家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「友人」(56.8%)、夫婦2人暮らしでは「配偶者」(配偶者65歳以上84.1%、配偶者64歳以下89.2%)、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」(60.9%)の割合が高い。

心配事や愚痴を聞いてあげる人についても、同様の傾向がみられる。

(家族構成別 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人)

(単位：件)

		合計	問35(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,055 100.0%	634 60.1%	200 19.0%	256 24.3%	126 11.9%	22 2.1%	73 6.9%	18 1.7%	88 8.3%	24 2.3%
問2 家族構成	ひとり暮らし	227 100.0%	1 0.4%	3 1.3%	82 36.1%	52 22.9%	13 5.7%	45 19.8%	10 4.4%	61 26.9%	6 2.6%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410 100.0%	377 92.0%	11 2.7%	124 30.2%	21 5.1%	6 1.5%	14 3.4%	2 0.5%	11 2.7%	6 1.5%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65 100.0%	60 92.3%	1 1.5%	12 18.5%	5 7.7%	0 0.0%	2 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.6%
	息子・娘との2世帯	133 100.0%	73 54.9%	86 64.7%	19 14.3%	11 8.3%	0 0.0%	3 2.3%	0 0.0%	6 4.5%	1 0.8%
	その他	200 100.0%	110 55.0%	91 45.5%	17 8.5%	36 18.0%	1 0.5%	9 4.5%	6 3.0%	9 4.5%	5 2.5%

(家族構成別 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしあける人)

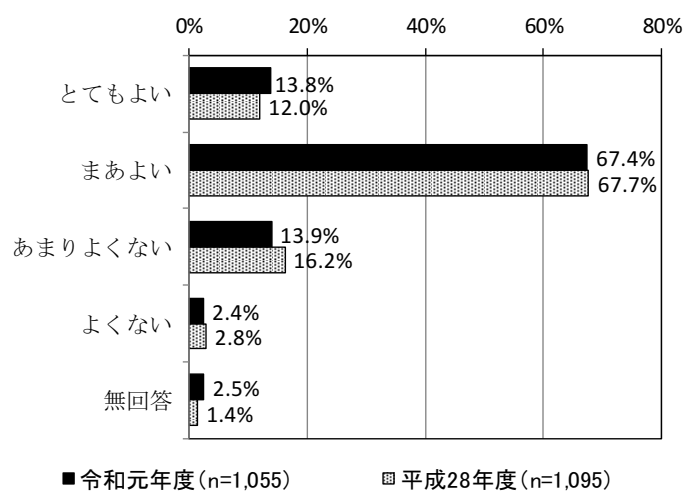
(単位：件)

		合計	問35(4) 看病や世話をしあける人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,055 100.0%	625 59.2%	187 17.7%	208 19.7%	196 18.6%	27 2.6%	92 8.7%	18 1.7%	140 13.3%	49 4.6%
問2 家族構成	ひとり暮らし	227 100.0%	2 0.9%	2 0.9%	45 19.8%	62 27.3%	10 4.4%	42 18.5%	5 2.2%	88 38.8%	15 6.6%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410 100.0%	374 91.2%	13 3.2%	108 26.3%	52 12.7%	9 2.2%	24 5.9%	4 1.0%	13 3.2%	12 2.9%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65 100.0%	59 90.8%	1 1.5%	11 16.9%	13 20.0%	0 0.0%	6 9.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.2%
	息子・娘との2世帯	133 100.0%	69 51.9%	73 54.9%	19 14.3%	20 15.0%	2 1.5%	4 3.0%	3 2.3%	19 14.3%	7 5.3%
	その他	200 100.0%	110 55.0%	91 45.5%	23 11.5%	48 24.0%	4 2.0%	16 8.0%	5 2.5%	19 9.5%	6 3.0%

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について家族構成別にみると、ひとり暮らしで「そのような人はいない」の割合が高く、26.9%となっている。看病や世話をしあける人についても同様の傾向がみられ、ひとり暮らしで「そのような人はいない」は38.8%となっている。

7. 健康について

問 36 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



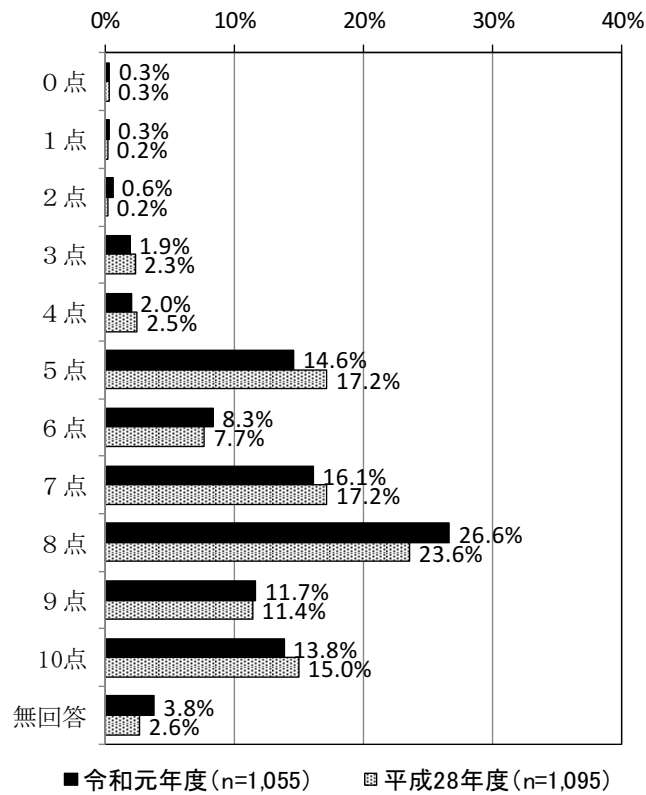
(単位：件)

		合計	問36 現在の健康状態				
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		1,055	146	711	147	25	26
		100.0%	13.8%	67.4%	13.9%	2.4%	2.5%
問41 治療中、または後遺症のある病気の有無	ある	791	79	536	138	25	13
		100.0%	10.0%	67.8%	17.4%	3.2%	1.6%
	ない	235	65	160	8	0	2
		100.0%	27.7%	68.1%	3.4%	0.0%	0.9%

健康状態は、「とてもよい」と「まあよい」の合計が81.2%を占めている。他方、「あまりよくない」と「よくない」の合計は、16.3%となっている。

現在治療中、または後遺症のある病気の有無別にみると、病気のある人で「とてもよい」と「まあよい」の和が77.8%となっている。

問 37 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）（いずれかの数字を1つ選んで○）



(単位：点)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
令和元年度調査	1,015	7.4	1.9	8.0	10.0	0.0
平成28年度調査	1,066	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せかを尋ねたところ、「8点」の割合が最も高く、26.6%となっている。平均は7.4点である。

(家族構成別)

(単位：件)

	合計	問37 現在の程度幸せか											無回答	
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問2 家族構成	ひとり暮らし	227	0	2	2	8	6	47	16	32	52	23	28	11
		100.0%	0.0%	0.9%	0.9%	3.5%	2.6%	20.7%	7.0%	14.1%	22.9%	10.1%	12.3%	4.8%
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	410	0	1	0	5	5	50	29	66	123	55	62	14
		100.0%	0.0%	0.2%	0.0%	1.2%	1.2%	12.2%	7.1%	16.1%	30.0%	13.4%	15.1%	3.4%
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	65	1	0	2	1	2	5	5	15	16	5	10	3
		100.0%	1.5%	0.0%	3.1%	1.5%	3.1%	7.7%	7.7%	23.1%	24.6%	7.7%	15.4%	4.6%
息子・娘との2世帯	133	1	0	0	1	2	16	10	23	32	21	22	5	
	100.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.8%	1.5%	12.0%	7.5%	17.3%	24.1%	15.8%	16.5%	3.8%	
その他	200	1	0	1	4	6	34	24	30	53	19	22	6	
	100.0%	0.5%	0.0%	0.5%	2.0%	3.0%	17.0%	12.0%	15.0%	26.5%	9.5%	11.0%	3.0%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問2 家族構成	ひとり暮らし	216	7.0	2.1	7.0	10.0	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	396	7.6	1.7	8.0	10.0	1.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	62	7.2	2.1	7.5	10.0	0.0
	息子・娘との2世帯	128	7.6	1.8	8.0	10.0	0.0
	その他	194	7.1	1.9	7.0	10.0	0.0

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」の点数が低い傾向がみられる（平均7.0点）。

(外出の頻度別)

(単位：件)

	合計	問37 現在の程度幸せか											無回答	
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問18 週に1回以上は外出しているか	ほとんど外出しない	25	1	1	0	0	2	8	1	3	4	0	2	3
		100.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	32.0%	4.0%	12.0%	16.0%	0.0%	8.0%	12.0%
	週1回	52	0	0	1	2	2	8	6	9	10	3	10	1
		100.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.8%	3.8%	15.4%	11.5%	17.3%	19.2%	5.8%	19.2%	1.9%
	週2～4回	420	1	1	2	10	8	62	37	73	120	42	38	26
	100.0%	0.2%	0.2%	0.5%	2.4%	1.9%	14.8%	8.8%	17.4%	28.6%	10.0%	9.0%	6.2%	
週5回以上	538	1	1	3	8	8	74	43	81	144	76	92	7	
	100.0%	0.2%	0.2%	0.6%	1.5%	1.5%	13.8%	8.0%	15.1%	26.8%	14.1%	17.1%	1.3%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問18 週に1回以上は外出しているか	ほとんど外出しない	22	5.8	2.5	5.0	10.0	0.0
	週1回	51	7.1	2.1	7.0	10.0	2.0
	週2～4回	394	7.2	1.8	8.0	10.0	0.0
	週5回以上	531	7.6	1.8	8.0	10.0	0.0

外出の頻度別にみると、外出が多いほうが点数が高い傾向がみられる。

(いずれかの地域の会・グループ等への参加頻度別)

(単位：件)

	合計	問37 現在どの程度幸せか											無回答	
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問31 いずれかの会・グループへの参加頻度	週4回以上	203	0	1	0	5	3	26	18	24	70	23	26	7
		100.0%	0.0%	0.5%	0.0%	2.5%	1.5%	12.8%	8.9%	11.8%	34.5%	11.3%	12.8%	3.4%
	週2～3回	229	0	0	0	3	2	25	15	41	63	42	32	6
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.9%	10.9%	6.6%	17.9%	27.5%	18.3%	14.0%	2.6%
	週1回	144	0	1	0	3	3	11	10	30	38	21	22	5
		100.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.1%	2.1%	7.6%	6.9%	20.8%	26.4%	14.6%	15.3%	3.5%
週1回より少ない	148	0	0	2	5	2	22	11	28	35	16	24	3	
	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	3.4%	1.4%	14.9%	7.4%	18.9%	23.6%	10.8%	16.2%	2.0%	
何も参加していない	277	3	1	4	3	9	55	27	43	65	16	37	14	
	100.0%	1.1%	0.4%	1.4%	1.1%	3.2%	19.9%	9.7%	15.5%	23.5%	5.8%	13.4%	5.1%	

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
問31 いずれかの会・グループへの参加頻度	週4回以上	196	7.5	1.8	8.0	10.0	1.0
	週2～3回	223	7.7	1.6	8.0	10.0	3.0
	週1回	139	7.6	1.8	8.0	10.0	1.0
	週1回より少ない	145	7.3	1.9	8.0	10.0	2.0
	何も参加していない	263	6.9	2.1	7.0	10.0	0.0

地域の会・グループ等への参加頻度別にみると、「何も参加していない」人の点数が低い傾向がみられる。

(収入のある仕事をしている頻度別)

(単位：件)

	合計	問37 現在どの程度幸せか											無回答	
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問31 収入のある仕事をしている頻度	週に4回以上	119	0	1	0	5	3	15	10	18	36	14	14	3
		100.0%	0.0%	0.8%	0.0%	4.2%	2.5%	12.6%	8.4%	15.1%	30.3%	11.8%	11.8%	2.5%
	週2～3回	56	0	0	0	1	0	9	4	11	16	7	8	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	16.1%	7.1%	19.6%	28.6%	12.5%	14.3%	0.0%
	週1回	29	0	1	0	1	0	1	0	4	11	3	6	2
		100.0%	0.0%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	13.8%	37.9%	10.3%	20.7%	6.9%
	月1～3回	32	0	0	1	1	0	4	2	4	9	3	7	1
	100.0%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	12.5%	6.3%	12.5%	28.1%	9.4%	21.9%	3.1%	
年に数回	17	0	0	0	0	0	1	0	3	5	3	4	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	17.6%	29.4%	17.6%	23.5%	5.9%	
参加していない	563	3	1	5	9	14	87	45	98	148	57	76	20	
	100.0%	0.5%	0.2%	0.9%	1.6%	2.5%	15.5%	8.0%	17.4%	26.3%	10.1%	13.5%	3.6%	

収入のある仕事をしていない人の点数がやや低い傾向がみられる。

(個別の地域の会・グループ等への参加頻度別)

(単位：点)

		件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体		1,015	7.4	1.9	8.0	10.0	0.0
問31① ボランティア のグループ	週4回以上	4	6.5	1.7	6.0	9.0	5.0
	週2～3回	16	7.9	1.1	8.0	10.0	5.0
	週1回	31	7.6	1.6	8.0	10.0	4.0
	月1～3回	56	7.8	2.0	8.0	10.0	2.0
	年に数回	37	7.4	1.8	8.0	10.0	4.0
	参加していない	614	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問31② スポーツ関 係のグル ープやクラブ	週4回以上	54	7.7	1.4	8.0	10.0	5.0
	週2～3回	112	7.7	1.6	8.0	10.0	3.0
	週1回	92	7.8	1.6	8.0	10.0	3.0
	月1～3回	40	7.9	1.6	8.0	10.0	5.0
	年に数回	20	7.6	1.9	8.0	10.0	2.0
	参加していない	491	7.1	2.0	7.0	10.0	0.0
問31③ 趣味関係 のグループ	週4回以上	20	7.6	1.6	8.0	10.0	5.0
	週2～3回	60	7.8	1.7	8.0	10.0	4.0
	週1回	72	7.8	1.5	8.0	10.0	3.0
	月1～3回	132	7.8	1.6	8.0	10.0	2.0
	年に数回	46	7.5	1.7	8.0	10.0	3.0
	参加していない	485	7.2	2.0	8.0	10.0	0.0
問31④ 学習・教 養サークル	週4回以上	7	8.7	1.9	10.0	10.0	5.0
	週2～3回	23	8.0	1.5	8.0	10.0	5.0
	週1回	39	7.7	1.6	8.0	10.0	4.0
	月1～3回	65	7.8	1.7	8.0	10.0	3.0
	年に数回	39	7.8	1.7	8.0	10.0	3.0
	参加していない	582	7.2	1.9	8.0	10.0	0.0
問31⑤ 介護予防 のための 通いの場	週4回以上	8	7.6	1.6	8.0	10.0	5.0
	週2～3回	29	7.2	1.8	7.0	10.0	4.0
	週1回	45	7.2	1.8	7.0	10.0	3.0
	月1～3回	10	7.8	1.3	7.5	10.0	6.0
	年に数回	8	7.9	1.2	8.0	10.0	6.0
	参加していない	669	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問31⑥ 老人クラブ	週4回以上	5	8.4	1.7	8.0	10.0	6.0
	週2～3回	9	7.8	2.0	7.0	10.0	4.0
	週1回	6	6.2	2.3	5.5	9.0	4.0
	月1～3回	15	7.0	1.5	7.0	9.0	5.0
	年に数回	23	6.8	1.6	7.0	9.0	3.0
	参加していない	698	7.4	1.9	8.0	10.0	0.0
問31⑦ コミュニティ活 動	週4回以上	7	8.1	1.8	9.0	10.0	6.0
	週2～3回	5	8.0	2.1	8.0	10.0	5.0
	週1回	9	8.0	1.2	8.0	10.0	7.0
	月1～3回	24	7.7	1.6	8.0	10.0	4.0
	年に数回	54	7.6	1.9	8.0	10.0	3.0
	参加していない	648	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0
問31⑧ 収入のあ る仕事	週4回以上	116	7.3	1.9	8.0	10.0	1.0
	週2～3回	56	7.5	1.7	8.0	10.0	3.0
	週1回	27	7.9	2.1	8.0	10.0	1.0
	月1～3回	31	7.5	2.1	8.0	10.0	2.0
	年に数回	16	8.3	1.4	8.0	10.0	5.0
	参加していない	543	7.3	1.9	8.0	10.0	0.0

(心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無別)

(単位：件)

	合計	問37 現在の程度幸せか												
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問35① 心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無	いる	975	1	2	6	17	16	133	76	160	278	121	141	24
	100.0%	0.1%	0.2%	0.6%	1.7%	1.6%	13.6%	7.8%	16.4%	28.5%	12.4%	14.5%	2.5%	
	いない	49	2	1	0	2	4	18	8	7	2	1	2	2
	100.0%	4.1%	2.0%	0.0%	4.1%	8.2%	36.7%	16.3%	14.3%	4.1%	2.0%	4.1%	4.1%	

(看病や世話をしてくれる人の有無別)

(単位：件)

	合計	問37 現在の程度幸せか												
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問35③ 看病や世話をしてくれる人の有無	いる	943	2	0	4	12	16	126	78	162	266	115	139	23
	100.0%	0.2%	0.0%	0.4%	1.3%	1.7%	13.4%	8.3%	17.2%	28.2%	12.2%	14.7%	2.4%	
	いない	88	1	3	2	7	5	26	9	8	11	8	4	4
	100.0%	1.1%	3.4%	2.3%	8.0%	5.7%	29.5%	10.2%	9.1%	12.5%	9.1%	4.5%	4.5%	

まわりの人との「助け合い」との関係についてみると、心配事や愚痴を聞いてくれる人、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいない人の点数が低い。

(現在の健康状態別)

(単位：件)

	合計	問37 現在の程度幸せか												
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問36 現在の健康状態	とてもよい	146	0	0	2	0	1	15	6	16	34	24	48	0
	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.7%	10.3%	4.1%	11.0%	23.3%	16.4%	32.9%	0.0%	
	まあよい	711	1	1	3	9	7	94	61	129	220	94	80	12
	100.0%	0.1%	0.1%	0.4%	1.3%	1.0%	13.2%	8.6%	18.1%	30.9%	13.2%	11.3%	1.7%	
	あまりよくない	147	1	2	1	9	11	36	17	24	24	5	11	6
	100.0%	0.7%	1.4%	0.7%	6.1%	7.5%	24.5%	11.6%	16.3%	16.3%	3.4%	7.5%	4.1%	
	よくない	25	1	0	0	2	2	8	4	1	3	0	4	0
	100.0%	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	8.0%	32.0%	16.0%	4.0%	12.0%	0.0%	16.0%	0.0%	

現在の健康状態別にみると、健康状態のよい人ほど点数が高い傾向がみられる。

(現在治療中、または後遺症のある病気の有無別)

(単位：件)

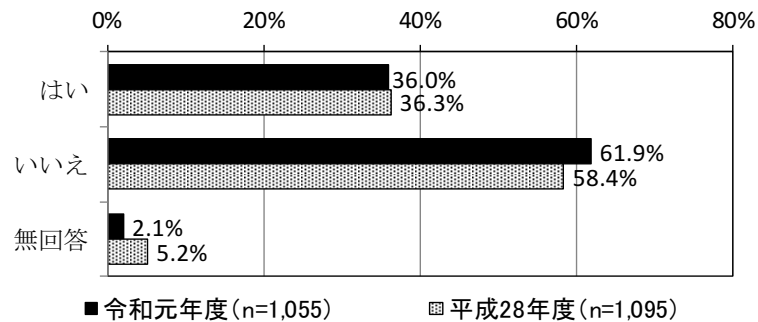
	合計	問37 現在の程度幸せか												
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体	1,055	3	3	6	20	21	154	88	170	281	123	146	40	
	100.0%	0.3%	0.3%	0.6%	1.9%	2.0%	14.6%	8.3%	16.1%	26.6%	11.7%	13.8%	3.8%	
問41 治療中、または後遺症のある病気の有無	ある	791	3	2	5	16	16	114	68	138	202	92	110	25
	100.0%	0.4%	0.3%	0.6%	2.0%	2.0%	14.4%	8.6%	17.4%	25.5%	11.6%	13.9%	3.2%	
	ない	235	0	1	1	4	4	35	17	32	74	29	35	3
	100.0%	0.0%	0.4%	0.4%	1.7%	1.7%	14.9%	7.2%	13.6%	31.5%	12.3%	14.9%	1.3%	

現在治療中、または後遺症のある病気の有無別にみると、病気がない人のほうが点数が高い傾向がみられる。

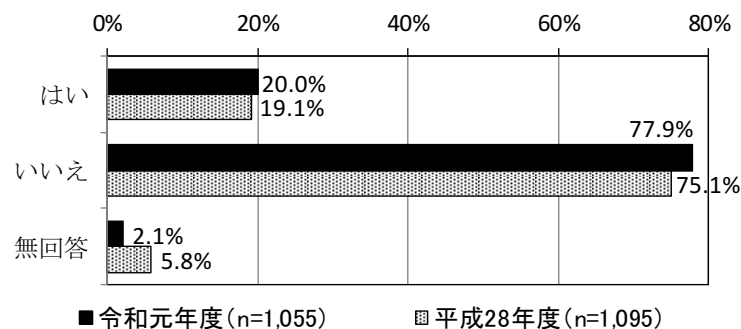
問 38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

問 39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

<気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること>



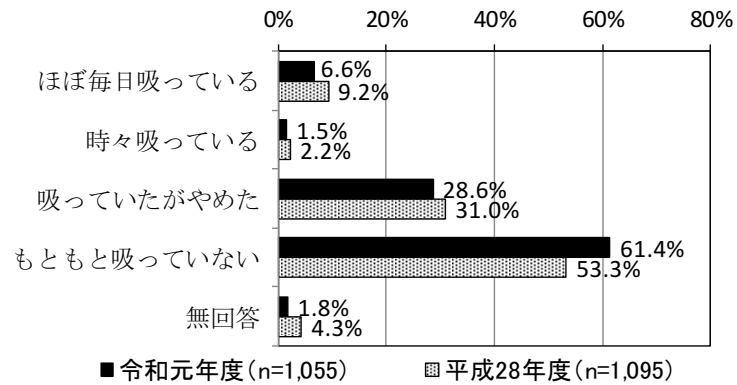
<どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じ>



この1か月間で、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が36.0%、「いいえ」が61.9%となっている。

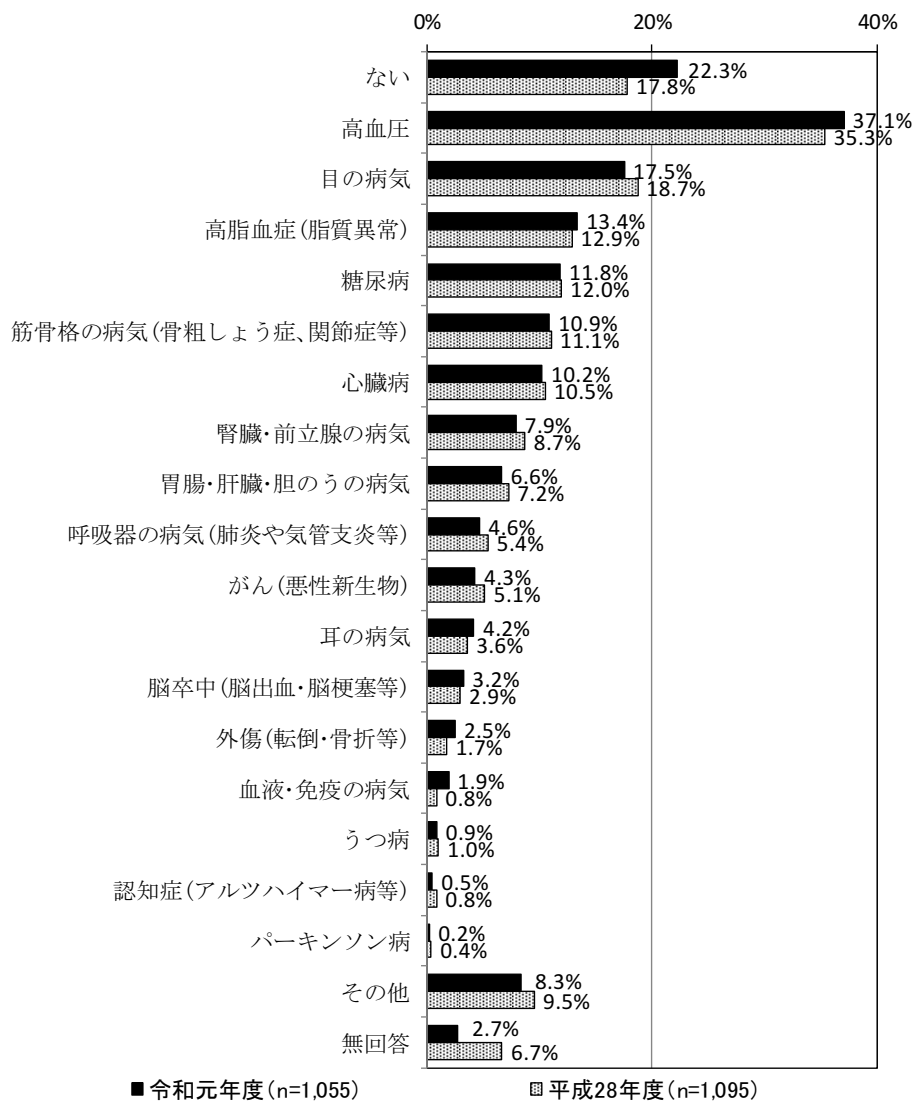
また、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が20.0%、「いいえ」が77.9%となっている。

問 40 タバコは吸っていますか。(○は1つ)



喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が61.4%と、平成28年度調査より8.1ポイント上昇している。「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」、「吸っていたがやめた」の割合はいずれも、平成28年度調査より低くなっている（それぞれ6.6%、1.5%、28.6%）。

問 41 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

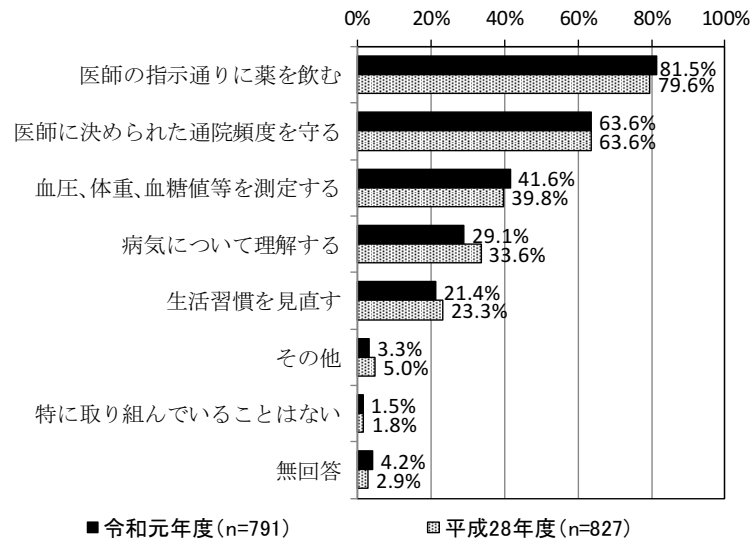


現在治療中、または後遺症のある病気については「高血圧」が37.1%、次いで「目の病気」が17.5%、「高脂血症(脂質異常)」が13.4%となっている。

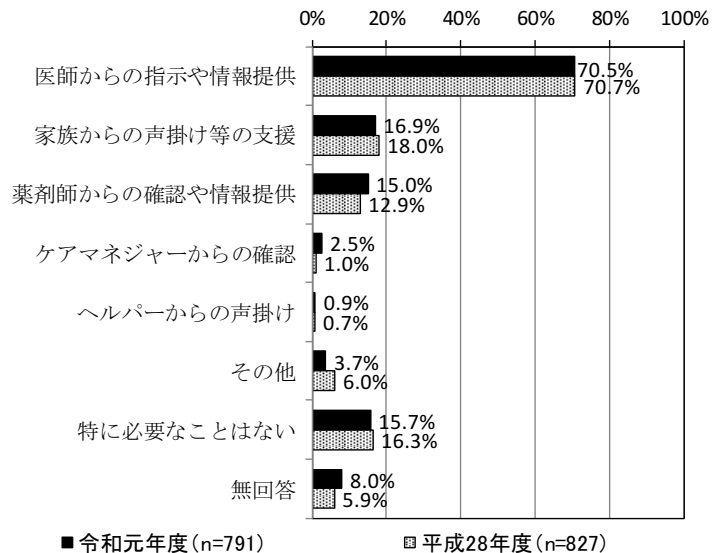
問 41-1 問 41 で1つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

問 41-2 問 41 で1つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

<病気の悪化・再発予防のために取り組んでいること>



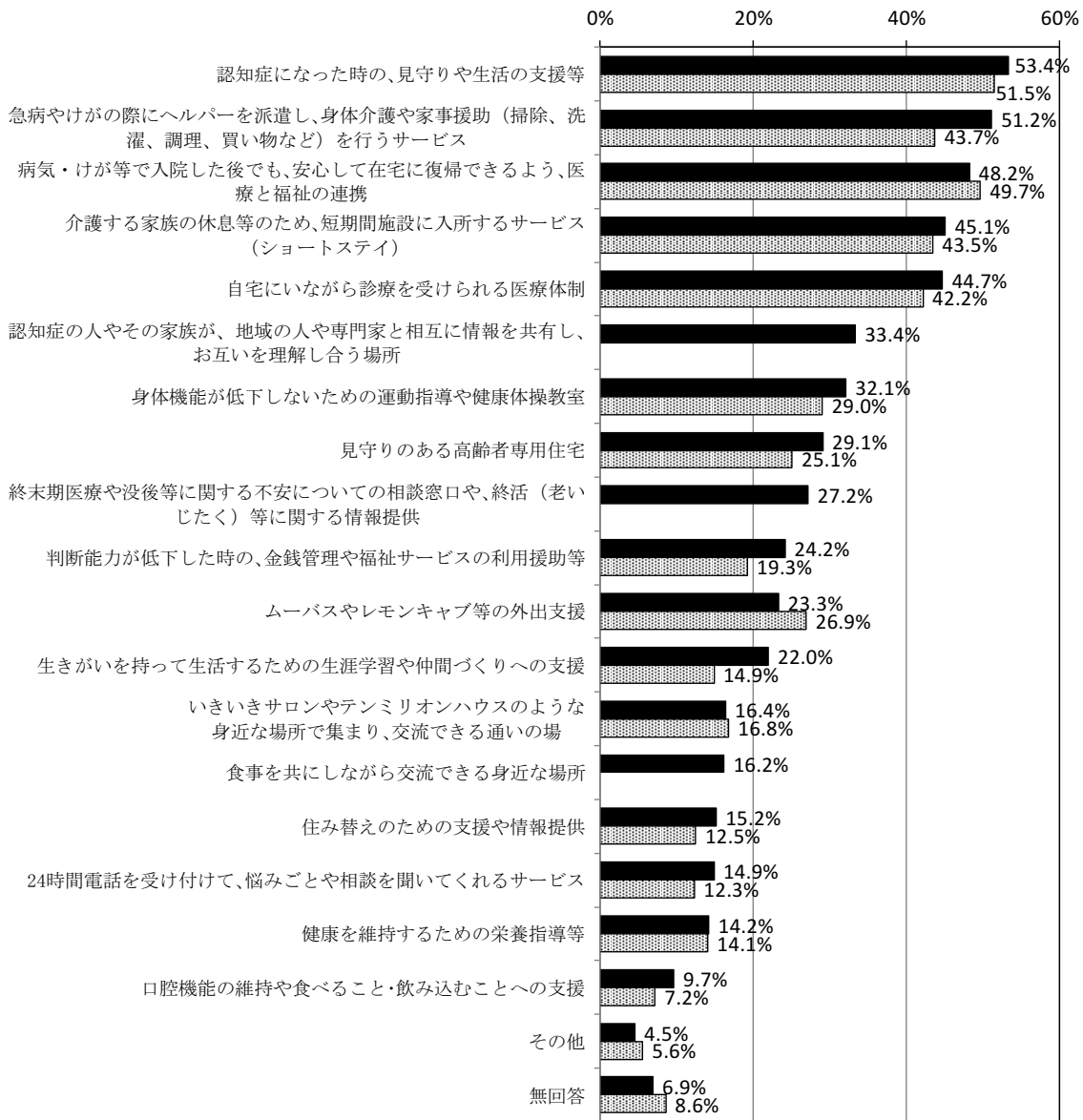
<取り組んでいることを継続するために必要なこと>



現在治療中、または後遺症のある病気が1つ以上あると回答した人(791人)に、悪化・再発予防のための取組みについて尋ねたところ、「医師の指示通りに薬を飲む」が81.5%、取組みを継続するために必要なことは「医師からの指示や情報提供」が70.5%と、医師の指示によるものの割合が高い。

8. 今後の暮らしについて

問 42 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



■ 令和元年度 (n=1,055)

■ 平成28年度 (n=1,095)

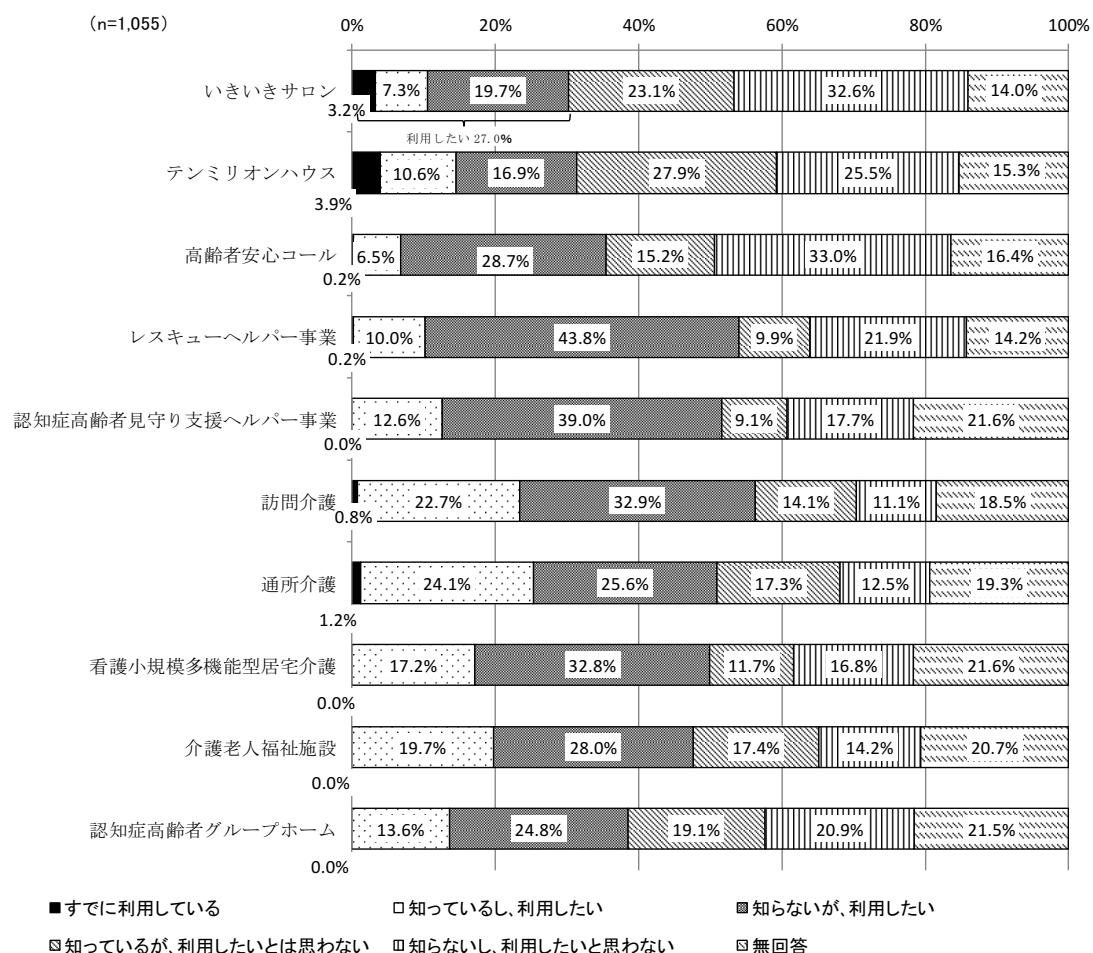
(注) 「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物など）を行うサービス」の選択肢は、平成28年度調査では「夜間や休日でも、病院のようにコールボタンを押すとステーションに繋がって相談や必要であればヘルパーが駆けつけるサービス」だった。

(注) 「認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所」、「終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活（老いじたく）等に関する情報提供」、「食事を共にしながら交流できる身近な場所」の選択肢は、令和元年度調査で追加した。

「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」の割合が最も高い (53.4%)。次いで、「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助 (掃除、洗濯、調理、買い物など) を行うサービス」 (51.2%)、「病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携」 (48.2%)、「介護する家族の休息等のため、短時間施設に入所するサービス (ショートステイ)」 (45.1%) が続く。

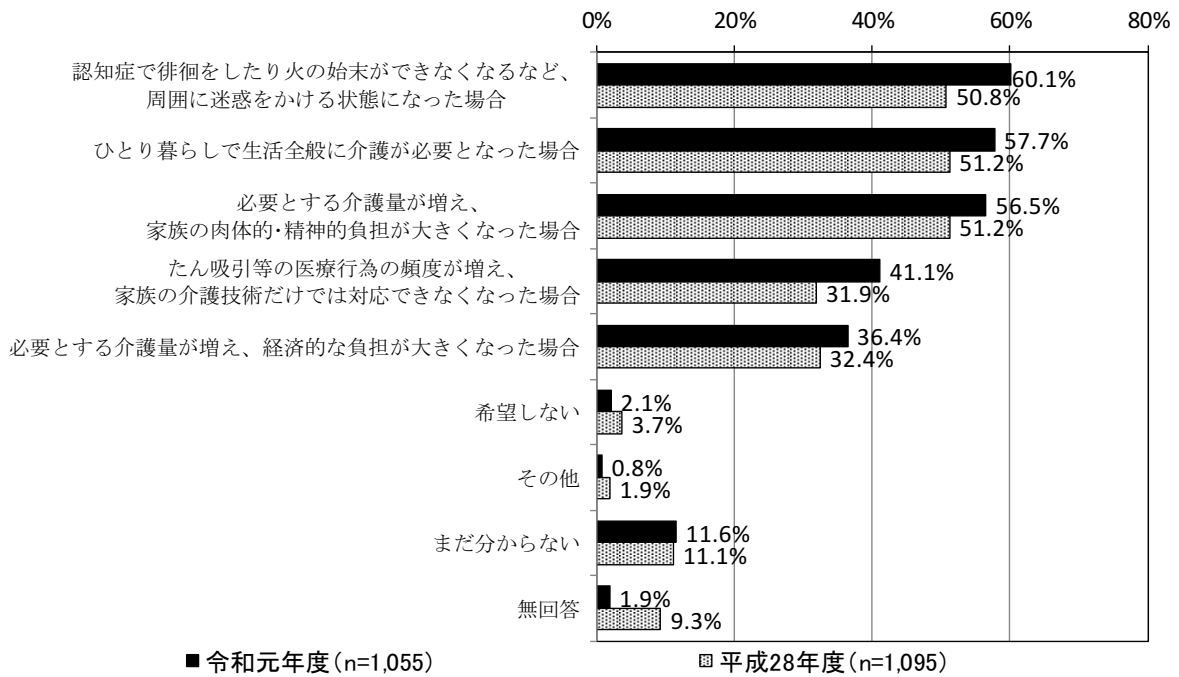
平成 28 年度調査と比較すると、「認知症になった時の、見守りや生活の支援等」は 1.9 ポイント、「急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助 (掃除、洗濯、調理、買い物など) を行うサービス」は、平成 28 年度調査より 7.5 ポイント上昇しており、要望の高さがうかがえる。また、「生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりの支援」は、平成 28 年度調査と比べて 7.1 ポイント割合が高くなっている。(令和元年度調査 22.0%、平成 28 年度調査 14.9%)

問 43 次のサービスについて知っていますか、また利用したいと思いますか。(それぞれについて○は1つ)



「知っているし、利用したい」と「知らないが、利用したい」の合計 (「利用したい」の割合) をみると、訪問介護が 55.5%、レスキューヘルパーが 53.8%、認知症高齢者見守りヘルパー事業が 51.6%となっている。

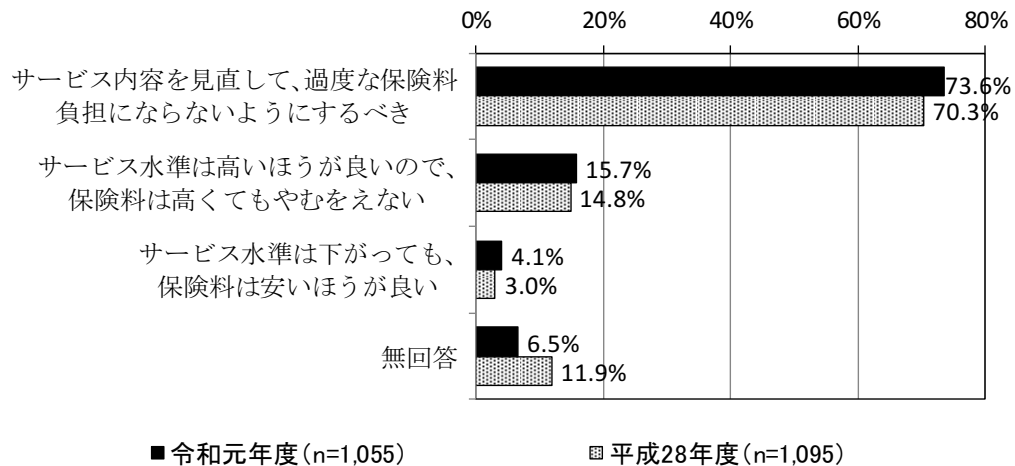
問 44 あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)



介護が必要となった場合において施設入所を希望する状態については、「認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合」が60.1%と最も割合が高くなっている。次いで、「ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合」が57.7%、「必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合」が56.5%となっており、いずれも5割を超えている。

また、平成28年度調査と比べると、「希望しない」、「その他」を除くいずれの選択肢も回答の割合が高くなっている。

問 45 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)



介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が最も高く、73.6%となっている。「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」は15.7%である。

問 46 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以下では、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業についての主なご意見・ご要望を記載した。

【問 46 (自由記述)】

<高齢者福祉施策や介護保険事業に対する満足度>

- ・ テンミリオン・在宅支援センターで、月 2 回ずつボランティアで編物等を教えておりますが、皆さん楽しみにして下さっていて私自身もいつも元気をもらってます。また、テンミリオンの他の行事もなるべく多く参加して、この様な場所がある事に感謝してます。今後ともこの様な場所は続けて下さい。
- ・ 日頃高齢者センターで歌の講座や趣味の活動をさせていただき、高齢になってもこのような時間が持てる事有難いと思っております。
- ・ 主人が認知症で亡くなって 1 年を迎えます。武蔵野市役所には本当にお世話になりました。皆様に良くしていただき私は一人ぼっちじゃないんだと強く思うことができました。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。
- ・ 施策が充実しているので、武蔵野市に永住したいと思います。

<市の施策の広報・PR の必要性>

- ・ 高齢者向けの事業が、こんなにたくさんあることを知りませんでした。全てを知らせて頂けたら、老後の不安が少し落ち着くと思います。
- ・ 高齢者が出来るだけ介護を受けることなく健康状態を長く続けるための予防方法、そのための活動方法などの情報を楽しそうに発信していただきたいと思います。
- ・ 武蔵野市の福祉施策や介護事業はご担当の努力もあって充実していると思います。未だ利用していない人でも将来の事を考え常に理解を深めるために、インターネットによる情報発信を充実させると効果的と考えます。高齢者も大半が毎日パソコンを開きスマホを操作している状況ですから、ニュース・ブログなどの配信は施策を身近に感じとるために有効です。
- ・ 高齢者向けの市のサービスとして何があるのかわからないので、もっと市民に周知してほしい。ホームページとかではパソコンが使えないので、載っていても確認できない。

<今後の暮らしについての不安>

- ・ 80 才に近い年齢になりましたが、幸いにもまだスポーツジムへ行きプールやスタジオで皆と汗を流し、カルチャー教室にも通い多くの人達と話す様に心がけております。しかしながら、やはり病気より認知症になる事の方がとても心配です。
- ・ 私が知っている以上に、いろんな制度、サービスがあることがわかりました。今は、通常の生活ができていますが（少し物忘れが出てきた）将来どの程度の状態にいつなるか、わからないので、今のうちに、かかりつけの医者とも相談しながら、様子を見たい。自分で判断できなくなり、かつ配偶者の助けが得られなくなった時のことを考えると不安です。

- ・武蔵野市は、老人や子供にとっても優しい街だと思います。市政に感謝しています。が、年々介護保険料や諸々の税金がアップし、年齢が上がり収入は減り生活は苦しくなっていると感じています。
- ・ひとり暮らし（血縁者なし）の終末、医療、没後など心配。

<市の施策の充実>

- ・介護が必要とならないよう、健康を維持するための支援、またお年寄りが孤立化しないための仲間づくりに手を貸していただきたい。
- ・まだ介護を受ける状態ではありませんが、健康寿命を延ばす予防策についても施策を望みます。
- ・現在不老体操で、健康を維持しています。持病なしです。高齢者の予防（病気がなど）の為に勉強会或いは、運動の推進に力を入れてほしい。医療費節約のためにも。
- ・高齢者と子どもたちが、食事や勉強・趣味を一緒にできるような取組み、施設など。高齢者も手伝えることがあると思います。
- ・シルバーで施設管理の仕事をしていましたが、75才に近づきましたので、1か月前退職しました。シルバーでの仕事と高齢者福祉施策の中間の仕事で、高齢者が生きがいをもって、対応できる業務を考えていただけませんかでしょうか。
- ・私は、今は元気で仕事をしています。有料老人ホームに勤務しています。認知症の利用者も多く知っています。最近夫も軽度のものわすれがあり、心配もあります。先の事をいろいろと考えているところです。市役所にもお世話になっております。認知症になっても安心して暮らしていけるように必要な支援が受けられるようお願いしたいと思っています。
- ・ひとり暮らしでも在宅医療で最期まで自宅で過ごすことができるような施策や事業を充実してほしい。
- ・レスキューヘルパー制度は知らなかったが、よい制度だと思う。しかし、カーテンを洗いたくても手が届かないとか、押し入れの天袋に手が届かないとか、高い所（踏台のいる）から重い物をとるなど、「ちょこっと応援制度」も作ってほしい。
- ・街を歩いていて感じるのは、道路に面したところに「チョコっと椅子」を設置してほしい。座るのは2人分位の大きさ。まず公共施設、公園など中に入らなくてもちょっと座りたい。そして、スーパーとかコンビニとかにも協力を要請してもらえば、スーパーなどで買い物をして疲れた時に利用するので、店にも利点があると思います。

<これからのサービス水準と保険料の関係>

- ・必要な介護サービス水準は充分確保すべきだと思います。財源は幅広く考えて良いのではないかと思います。
- ・現在も武蔵野市の高齢者事業は高水準にあると思う。しかし、人の希望はもっともっと高くなっていく。お金のある人対象では不安であるが、どなたにも平等にサービスが受けられ高水準の満足が得られればと考える。
- ・84才の今まで介護保険制度は1度も利用したことはありませんが、頻繁に保険料金が値上りするのは、辛い。

- ・今は元気で介護の必要は全くないけれど今後必要となった時に支払っている保険料と見合ったサービスが受けられるのか。

<その他>

- ・介護にならないようにする事が大事だと思います。これからは老老ボランティア、地域の知り合い関係を広める。とりあえずのあいさつボランティア、ベンチのある場所や地域のコミセン等へ誘い出しボランティア、昔話を聞くボランティア、点数にはならないと思いますが、体力がなくてもボランティア意識を持っている高齢者はたくさん居るはず、その力を使えると良いですね。
- ・幸い、私は現在、自立出来ていると思っておりますので、たくさんの質問に少々驚いてしまいましたが、同時にこれから先この質問の多くがうなずける時が来るのだという不安を持ちました。そうなった時は本当にお世話になります。沢山の事考える良いチャンスでした。ありがとう！！
- ・今はまだ自分で何でも出来るので幸せだと思っています。
- ・いきいきサロンなど出かけてみたい気持ちはありますが、一人ですとなかなかきっかけがつかめないという現状です。
- ・ひとり暮らしの高齢者には、わりあい支援があるようですが、障害者の子がいるひとり暮らしにはほとんど支援がありません。自分で動けるうちはよいのですが、動けなくなった時の不安（いわゆる 8050 問題）は多大です。自宅で最後まで安心して生活できるような医療体制、介護体制、社会保障の充実を希望します。

第2章 要介護高齢者・家族等介護者実態調査 (在宅介護実態調査)

第1節 調査結果（概要版）

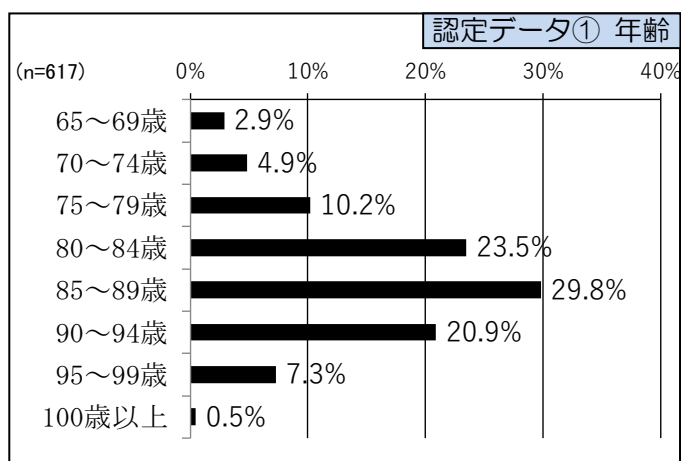
1 調査の実施概要

- ◇ 調査目的： 「武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定（令和2年度）するにあたり、「要介護者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方等を検討するため。
- ◇ 調査対象者： 要介護1～要介護5の在宅の方で「要介護認定の更新申請・変更申請」をし、本調査の調査期間内に要介護認定調査を受けた方。
ただし、認定結果が、「非該当」、「要支援1」および「要支援2」であった調査対象者については、集計から除外している。
- ◇ 調査期間： 令和元年9月1日～令和2年1月31日
- ◇ 調査方法： 対象者が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。
また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、要介護認定データと関連付けた分析を行った。
- ◇ 回収状況： 有効回答数：617件

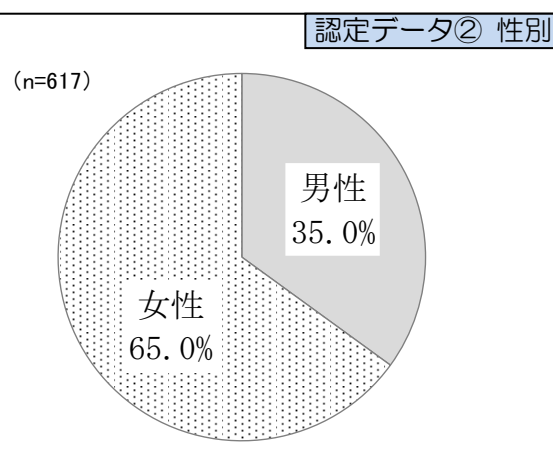
2 調査結果の概要

（1）調査対象要介護高齢者の属性

《図1 年齢》（単数回答）

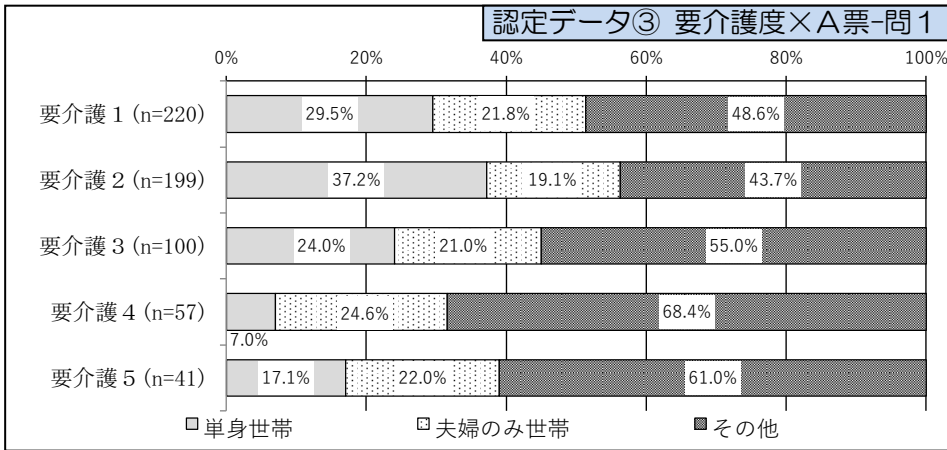


《図2 性別》（単数回答）



- ・在宅で生活している方で要介護者のうち、28.7%が「90歳以上」である。
- ・年齢は「85～89歳」が29.8%、「80～84歳」が23.5%、「90～94歳」が20.9%である。
- ・性別は「男性」が35.0%、「女性」が65.0%である。

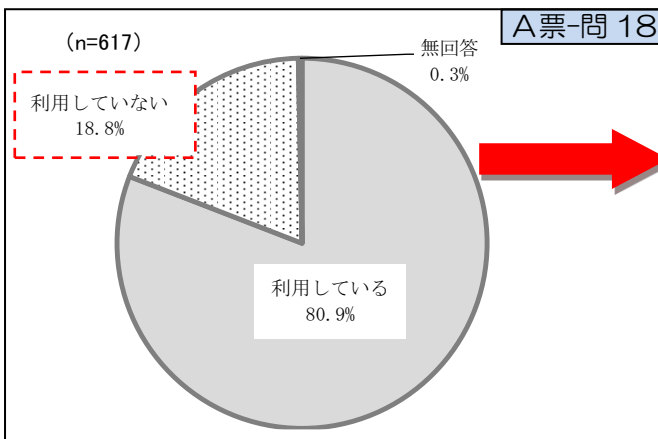
《図3 要介護度別・世帯類型》(単数回答)



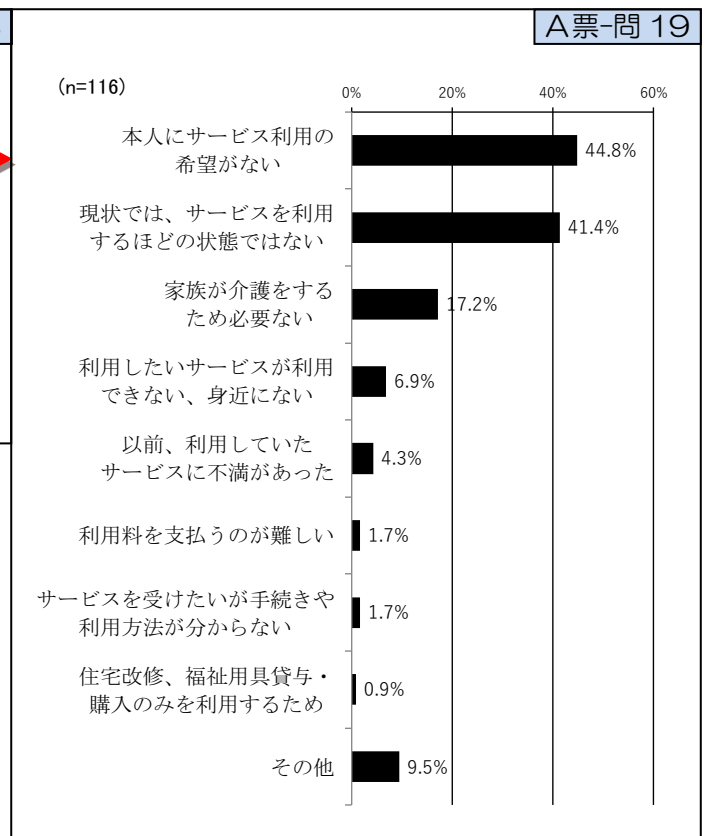
・要介護度別の世帯類型は、要介護1～3と比較して、要介護4～5では「その他」世帯の割合が高い。「単身世帯」の割合は、要介護4が7.0%と最も低く、要介護5では17.1%である。

(2) 支援・サービスの利用状況・利用意向

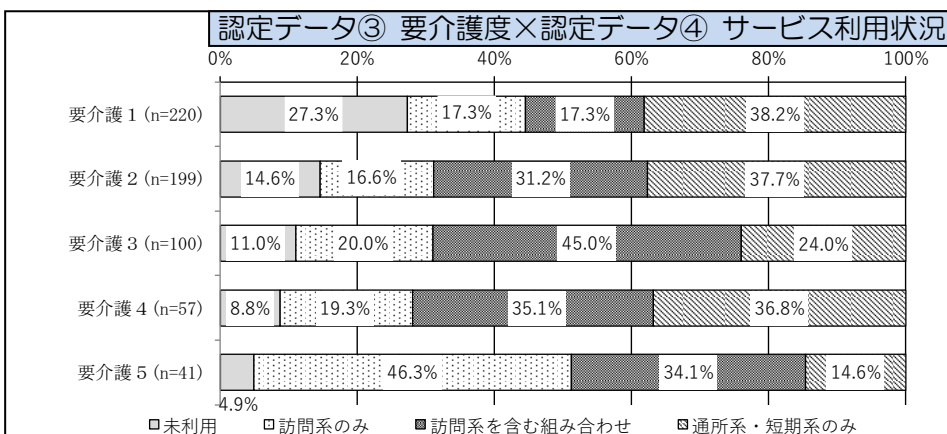
《図4 介護保険サービス利用の有無》(単数回答) 《図5 未利用の理由》(複数回答)



- ・介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入除く）の利用状況は、「利用している」が80.9%、「利用していない」が18.8%である。
- ・介護保険サービス未利用の理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が44.8%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.4%、「家族が介護するため必要ない」が17.2%である。

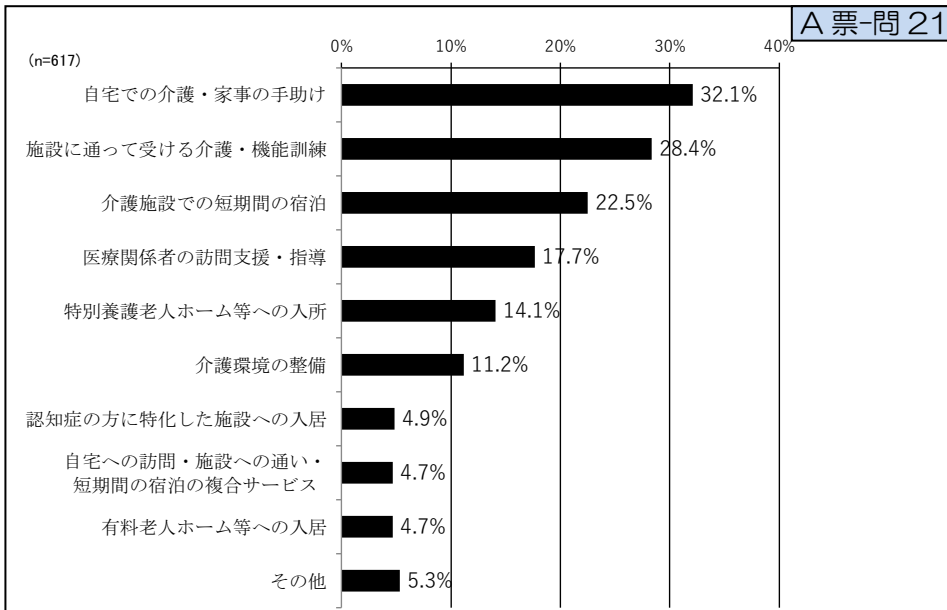


《図6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ》



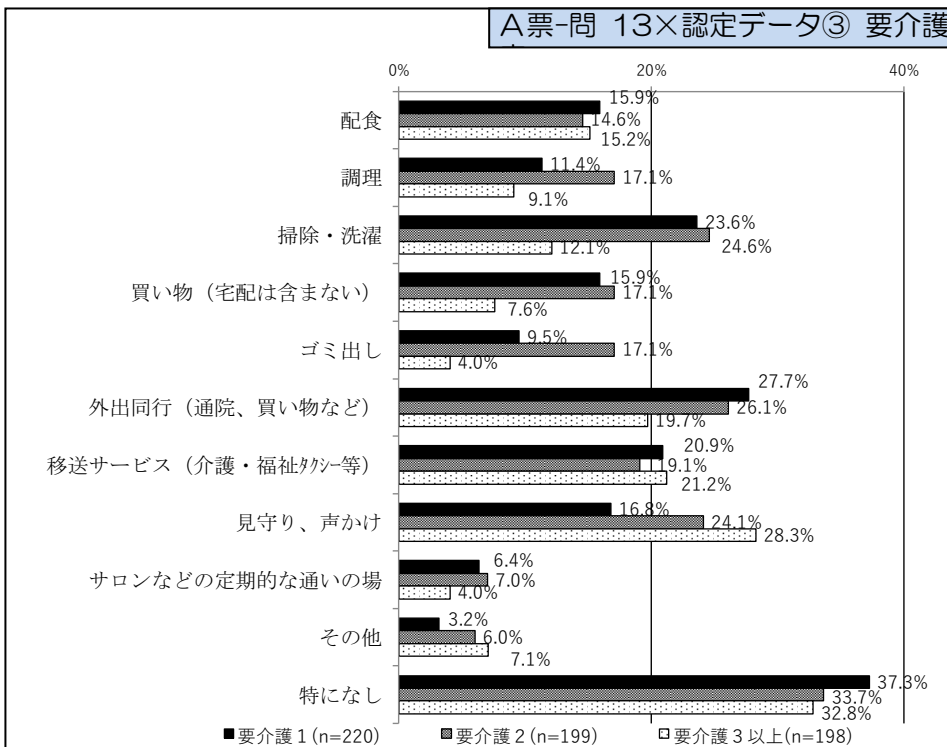
- ・「要介護1～要介護3」にかけては、要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高まる傾向がみられる。
- ・「要介護5」では、「訪問系のみ」が46.3%と最も高い。

《図7 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービス》(複数回答)



・今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスは、「自宅での介護・家事の手助け」が32.1%、「施設に通って受ける介護・機能訓練」が28.4%、「介護施設での短期間の宿泊」が22.5%である。

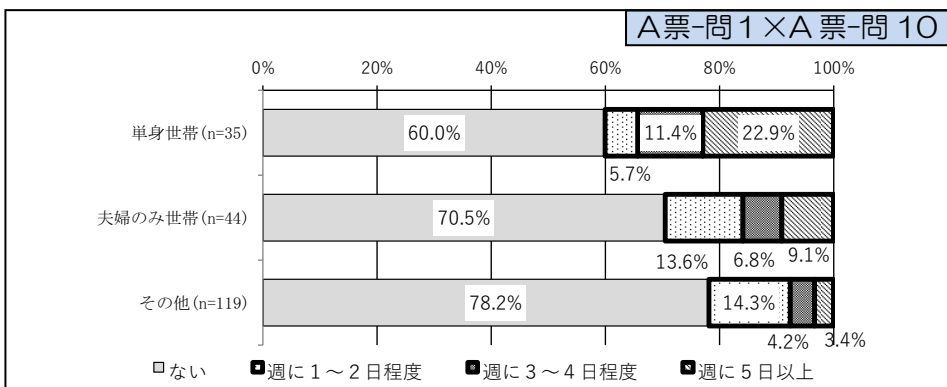
《図8 要介護度別・今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス》(複数回答)



・要介護度別の今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護1」、「要介護2」では「外出同行(通院、買い物など)」がそれぞれ27.7%、26.1%、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が28.3%である。

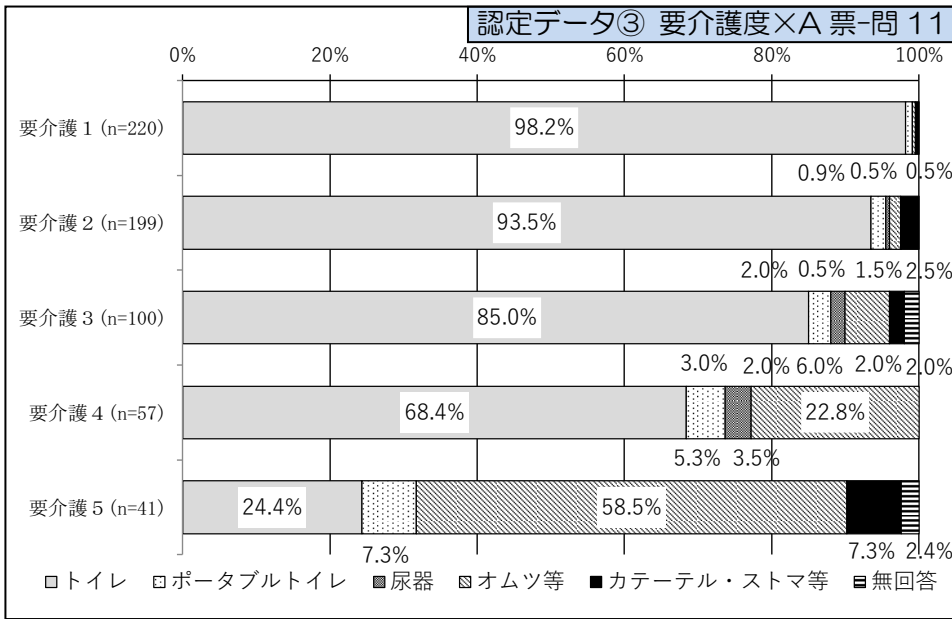
(3) 在宅生活の状況

《図9 世帯類型別・日中独居の有無(要介護3以上)》(単数回答)



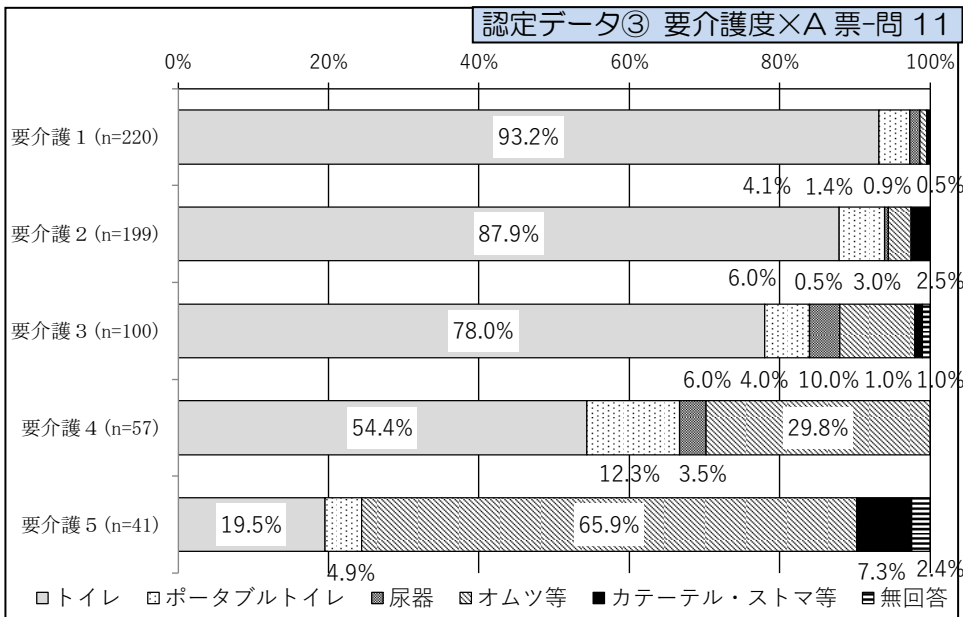
・要介護3以上の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である(週に1~2日程度・週に3~4日程度・週に5日以上)」割合の合計(グラフ内太線)は、「単身世帯」が40.0%、「夫婦のみ世帯」が29.5%、「その他」が21.8%である。

《図 10 要介護度別・排泄の方法、場所（日中）》（単数回答）



・日中の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.5%、「要介護 2」が 1.5%、「要介護 3」が 6.0%、「要介護 4」が 22.8%、「要介護 5」が 58.5%であり、「カテーテル・ストマ等」の割合が「要介護 5」では 7.3%となる。

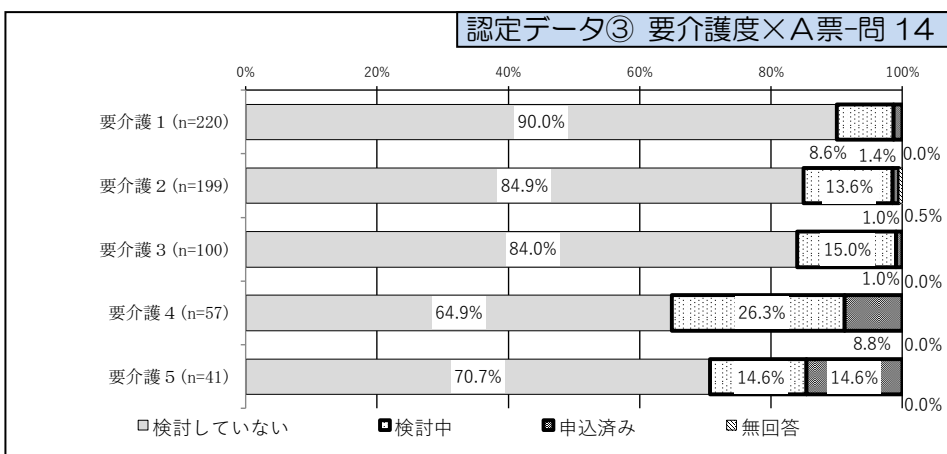
《図 11 要介護度別・排泄の方法、場所（夜間）》（単数回答）



・夜間の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.9%、「要介護 2」が 3.0%、「要介護 3」が 10.0%、「要介護 4」が 29.8%、「要介護 5」が 65.9%であり、「カテーテル・ストマ等」の割合が「要介護 5」では 7.3%となる。

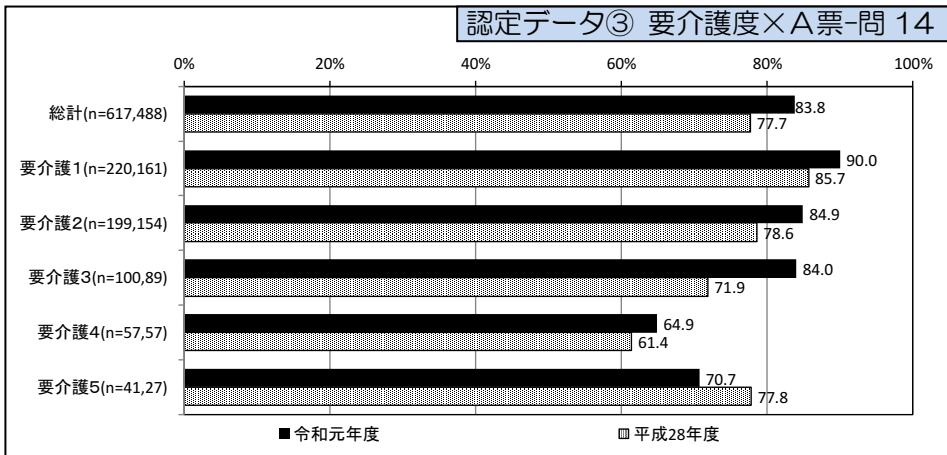
（４）施設等への入所・入居の検討状況

《図 12 施設等検討の状況・要介護度別》（単数回答）



・施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「要介護 1」が 10.0%、「要介護 2」が 14.6%、「要介護 3」が 16.0%、「要介護 4」が 35.1%、「要介護 5」が 29.3%である。

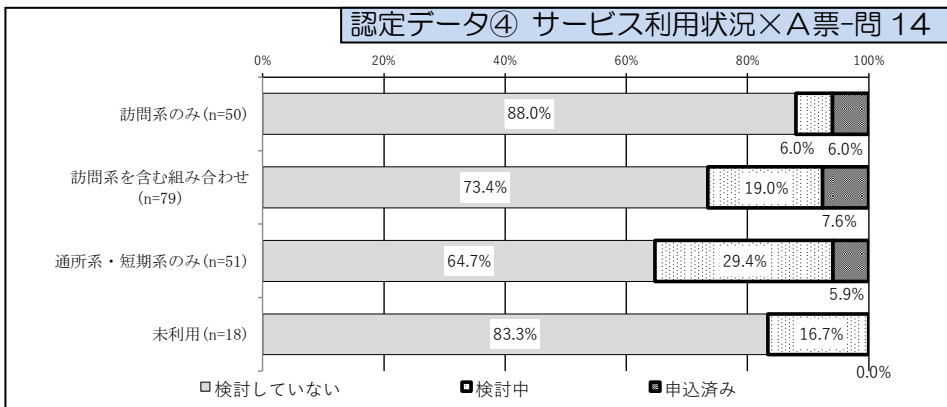
《図13 施設等検討を「検討していない」割合・要介護度別》(単数回答)



・施設等を「検討していない」の割合を平成28年度調査と比較すると、「総計」については、平成28年度調査では77.7%、令和元年度調査では83.8%であった(6.1ポイントの上昇)。

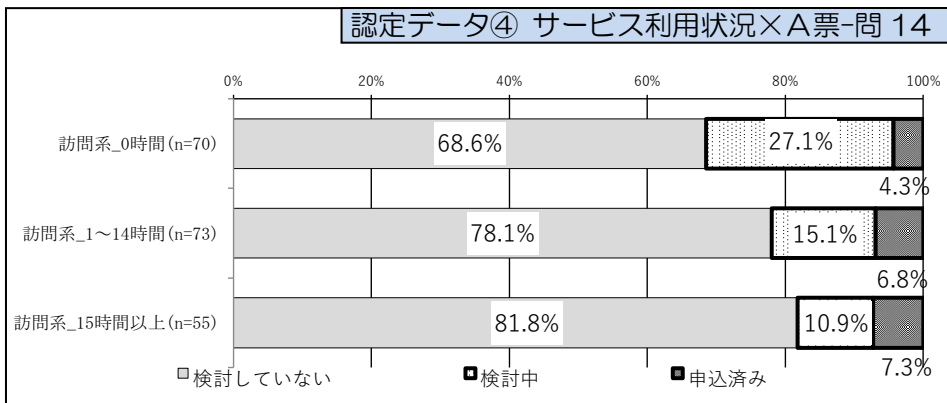
※ n数は、「(n=令和元年度のn数, 平成28年度のn数)」である。

《図14 施設等検討の状況・サービス利用の組み合わせ別(要介護3以上)》(単数回答)



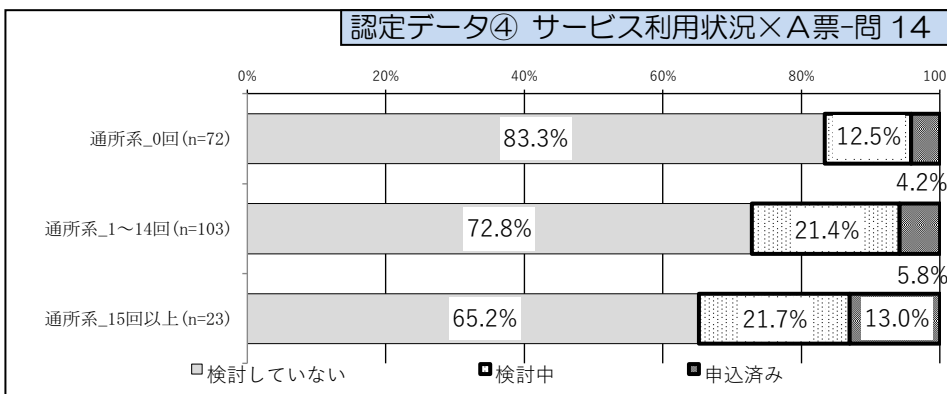
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「訪問系のみ」が12.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が26.6%、「通所系・短期系のみ」が35.3%である。

《図15 施設等検討の状況・訪問系サービスの利用時間別(要介護3以上)》(単数回答)



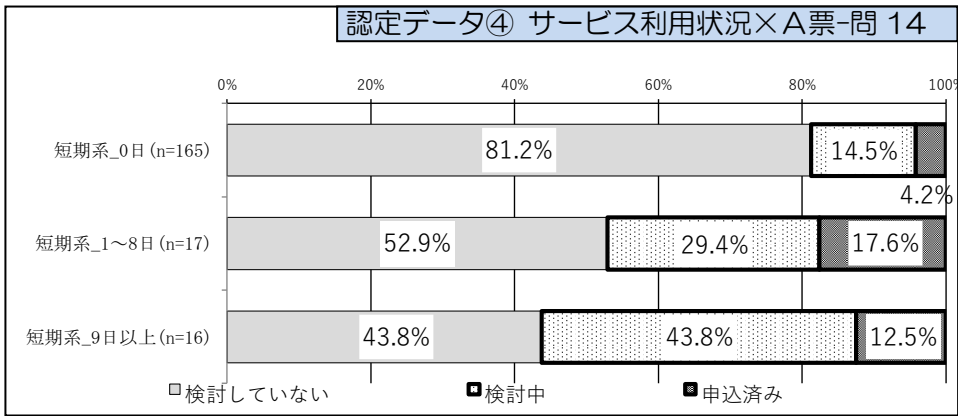
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「訪問系0時間」が31.4%、「訪問系1~14時間」が21.9%、「訪問系15時間以上」が18.2%である。

《図16 施設等検討の状況・通所系サービスの利用回数別(要介護3以上)》(単数回答)



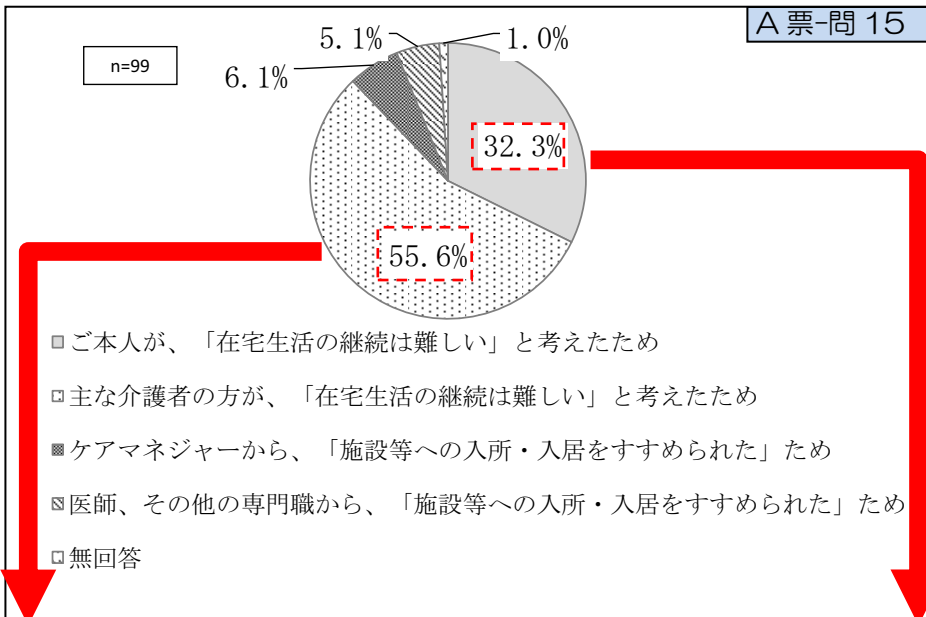
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計(グラフ内太線)は、「通所系0回」で16.7%、「通所系1~14回」で27.2%、「通所系15回以上」で34.8%である。

《図17 施設等検討の状況・短期系サービスの利用日数別（要介護3以上）》（単数回答）



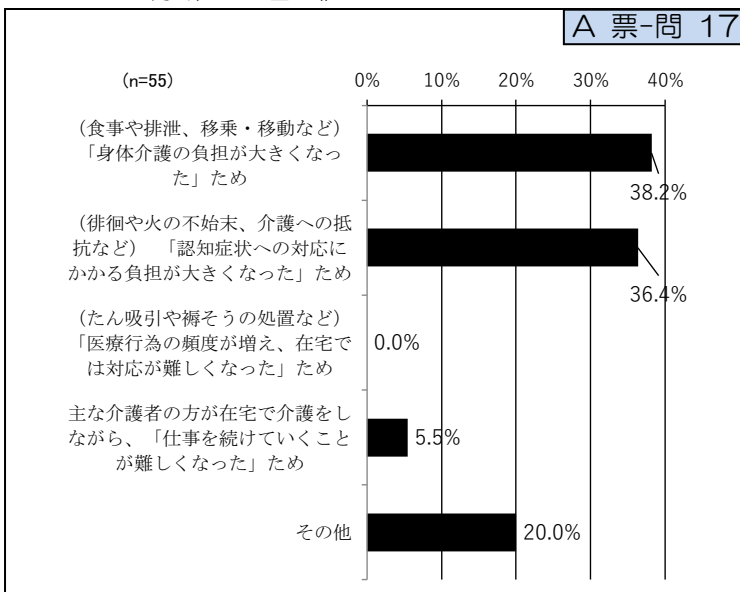
・要介護3以上について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で18.8%、「短期系1~8日」で47.1%、「短期系9日以上」で56.3%である。

《図18 施設等への入所・入居を検討したきっかけ》（単数回答）

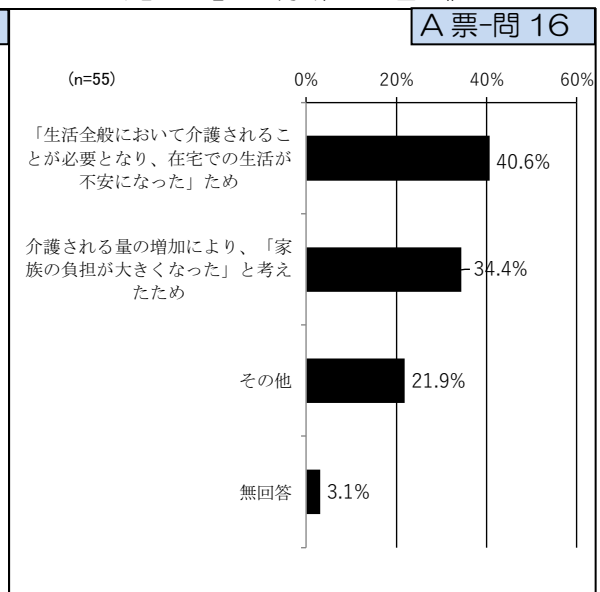


・施設等への入所・入居を「検討中」及び「申込済み」の方（99名）が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が55.6%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が32.3%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が6.1%である。

《図19 主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由》



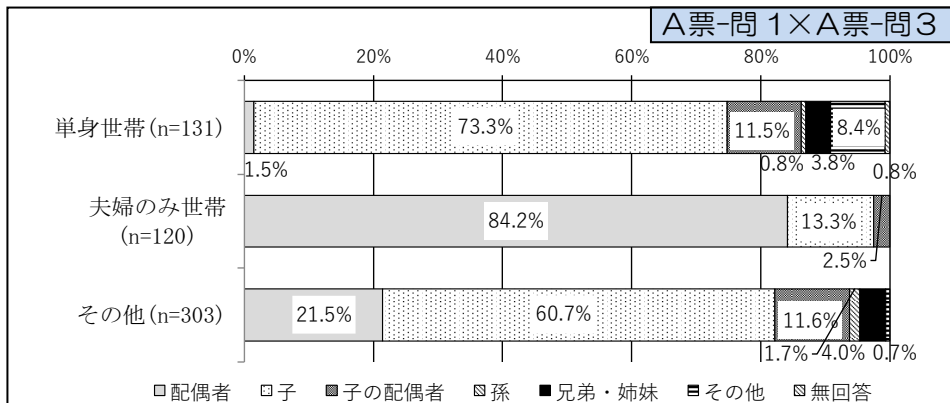
《図20 本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由》



- ・主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『身体介護の負担が大きくなった』ため」が38.2%と最も多い。
- ・本人が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、「『生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった』ため」が40.6%と最も多い。

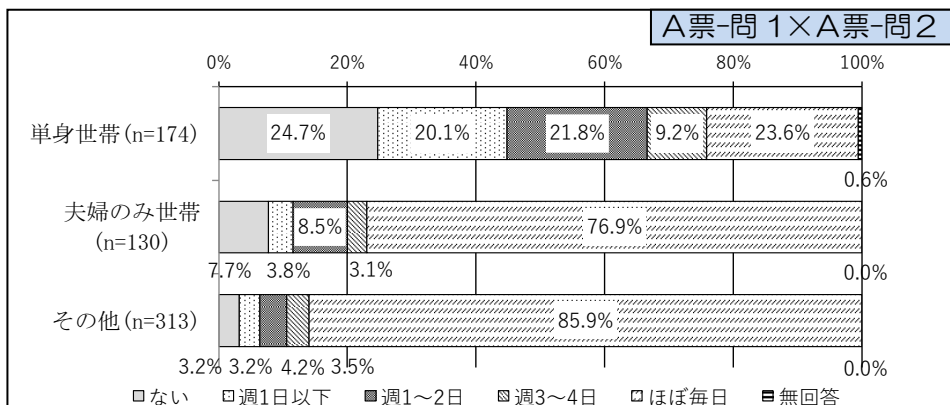
(5) 主な介護者の状況

《図21 世帯類型別・要介護高齢者と主な介護者との関係》(単数回答)



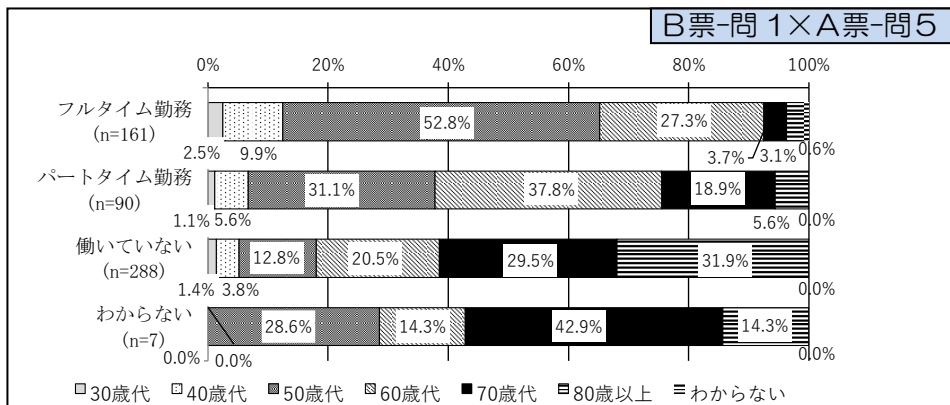
・本人と主な介護者の関係は、「単身世帯」は「子」が73.3%、「夫婦のみ世帯」は「配偶者」が84.2%、「その他」は「子」が60.7%と最も多い。

《図22 世帯類型別・家族等による介護の頻度》(単数回答)



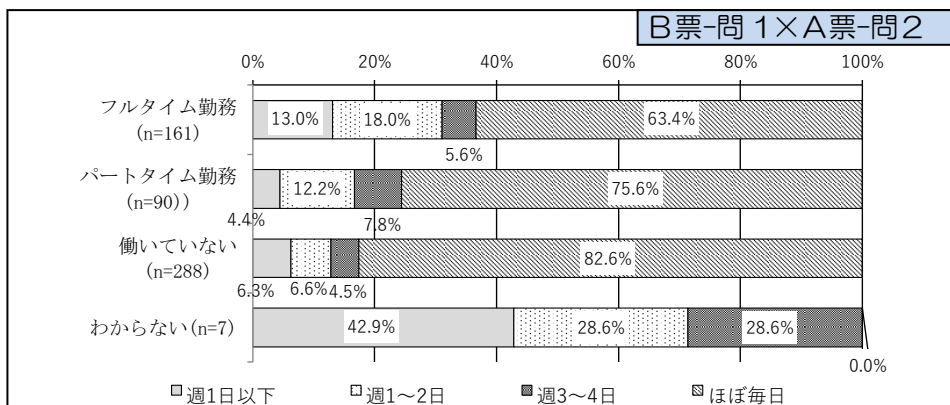
・家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が23.6%、「夫婦のみ世帯」が76.9%、「その他」が85.9%である。

《図23 主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く》(単数回答)



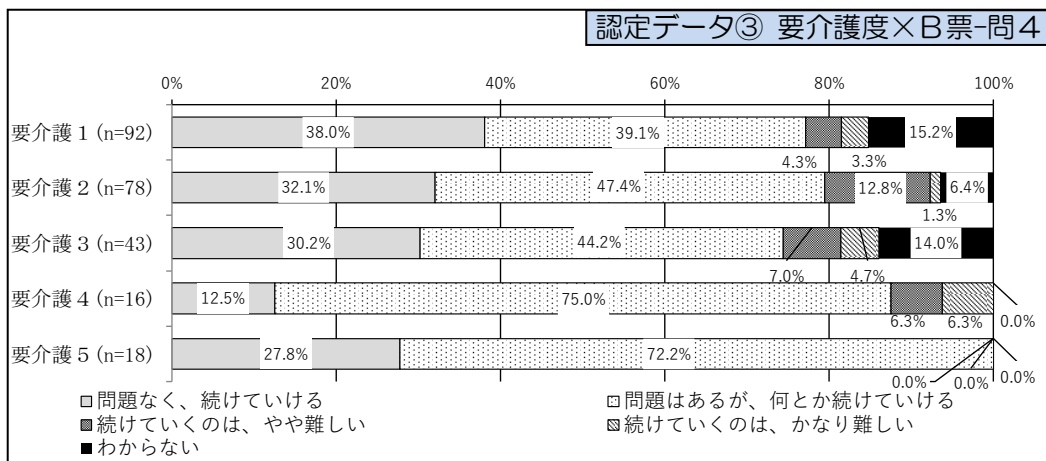
・主な介護者の就労状況別の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が52.8%、「60歳代」が27.3%、「パートタイム勤務」は「50歳代」が31.1%、「60歳代」が37.8%である。

《図24 主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度 ※無回答除く》(単数回答)



・主な介護者の就労状況別の家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「フルタイム勤務」が63.4%、「パートタイム勤務」が75.6%、「働いていない」が82.6%である。

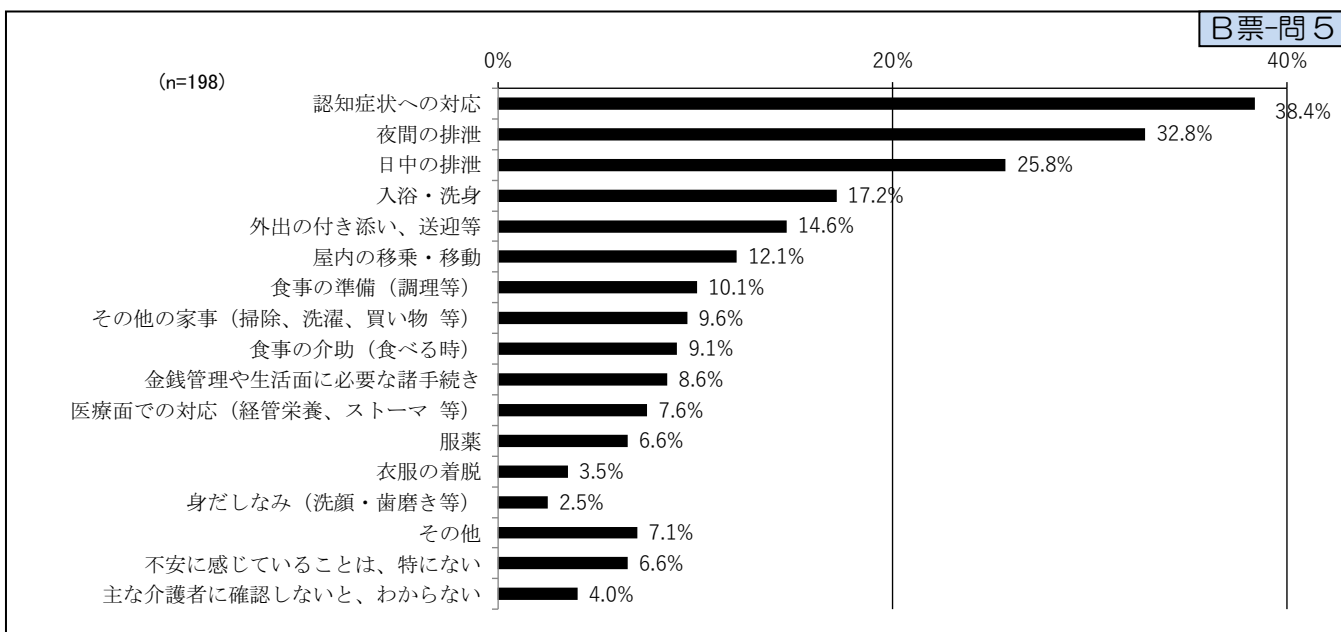
《図25 要介護度別・就労継続の見込み（フルタイム+パートタイム勤務） ※無回答除く》（単数回答）



・要介護度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、「要介護3」が4.7%、「要介護4」が6.3%、「要介護5」が0.0%である。

(6) 在宅生活の継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護

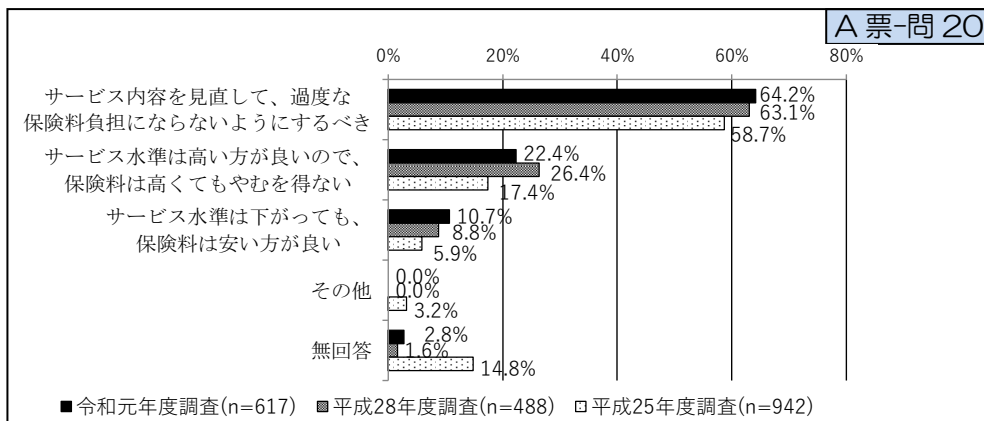
《図26 主な介護者が不安に感じる介護（要介護3以上）》（3つまで）



・要介護3以上について、主な介護者が不安に感じる介護等を見ると、「認知症状への対応」が38.4%、「夜間の排泄」が32.8%、「日中の排泄」が25.8%である。

(7) サービス水準と保険料の関係に係る希望

《図27 サービス水準と保険料の関係に係る希望》（単数回答）



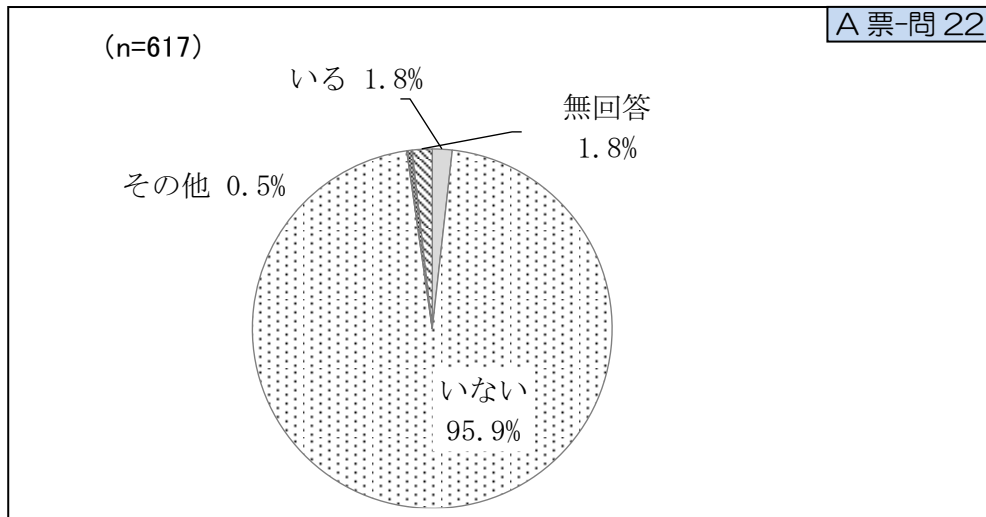
・介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき」の割合が64.2%、「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむを得ない」が22.4%である。

(注) 平成25年度調査では「要支援認定者」が含まれている。

(注) 令和元年度調査、平成28年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

(8) 家族の引きこもり

《図28 家族の中における引きこもり状態の人の有無》(単数回答)



・家族の中における引きこもり状態の人の有無は、「いない」の割合が95.9%、「いる」が1.8%である。

(注) 「引きこもりの状態」とは、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態を指す。

第2節 調査・分析手法の概要

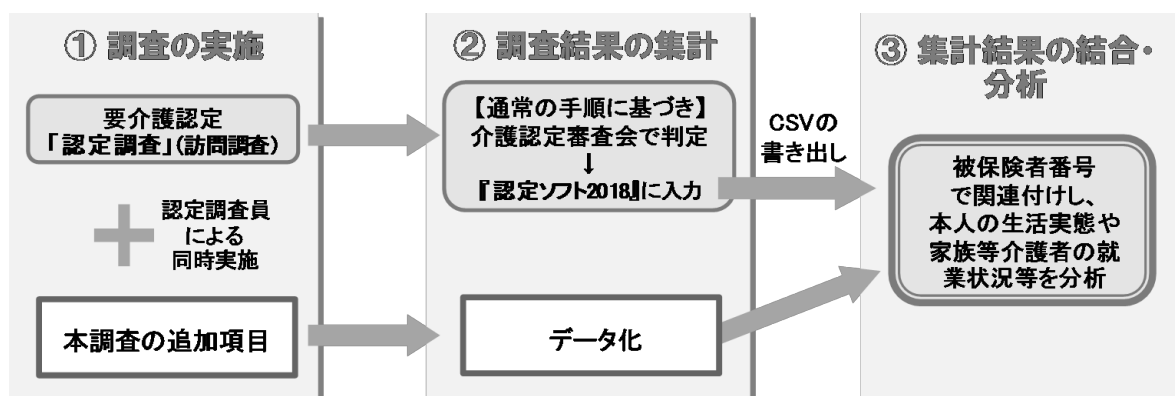
対象者が要介護認定の訪問調査を受ける際に、認定調査員が、主として認定調査の概況調査の内容を質問しながら、本調査の調査票に関連内容を転記する方法で調査を行った。回答票はマークシート方式とし、主な介護者が認定調査に同席している場合は、主な介護者からも聞き取りを行った。

また、調査時に、本人の同意書を提出してもらい、要介護認定データと関連付けた分析を行った。

<調査の方法・手順>

STEP 1	認定調査の訪問時に、本調査を同時に実施し、回答票（紙ベースのマークシート）に記入する。
STEP 2	回答票をデータ化する。
STEP 3	認定調査終了後は、通常の認定事務のプロセスで処理を行い審査会の二次判定を経て、認定結果を認定ソフト 2018 から CSV ファイルで出力する。
STEP 4	アンケート調査の結果と認定結果を「被保険者番号」で関連付けて、両データを合わせた詳細な分析を行う。

<調査の実施から分析までのフロー>



【用語の定義】

本集計・分析では、介護保険サービスの利用時間・回数・日数、および利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計している。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれる。

それぞれ、用語の定義は以下の通りである。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		(介護予防) 訪問介護、(介護予防) 訪問入浴介護、(介護予防) 訪問看護、(介護予防) 訪問リハビリテーション、(介護予防) 居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		(介護予防) 通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション、(介護予防) 認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

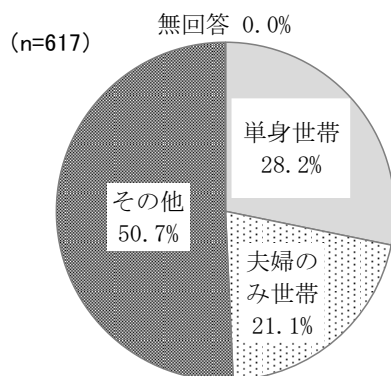
<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系 (もしくは定期巡回)」 + 「通所系」、「訪問系 (もしくは定期巡回)」 + 「短期系」、「訪問系 (もしくは定期巡回)」 + 「通所系」 + 「短期系」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」 + 「短期系」の利用を集計しています。

第3節 調査結果（本編）

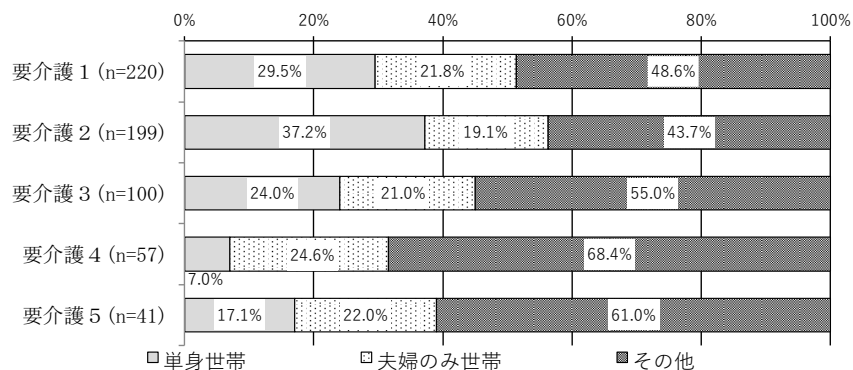
1. 本人の属性

A票-問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）



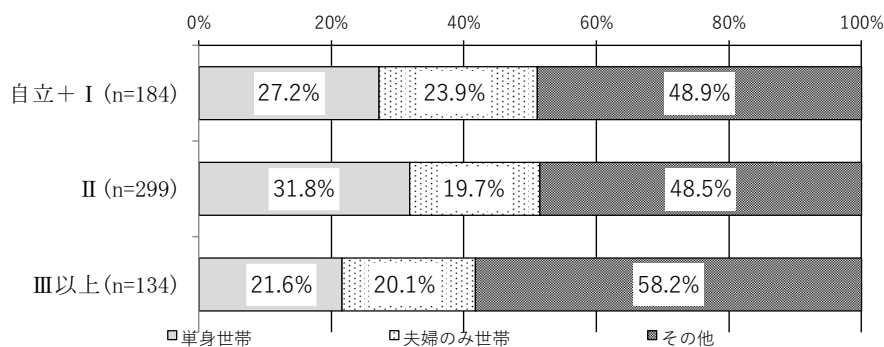
世帯類型は「その他」が50.7%、「単身世帯」が28.2%である。

< 要介護度別・世帯類型 >



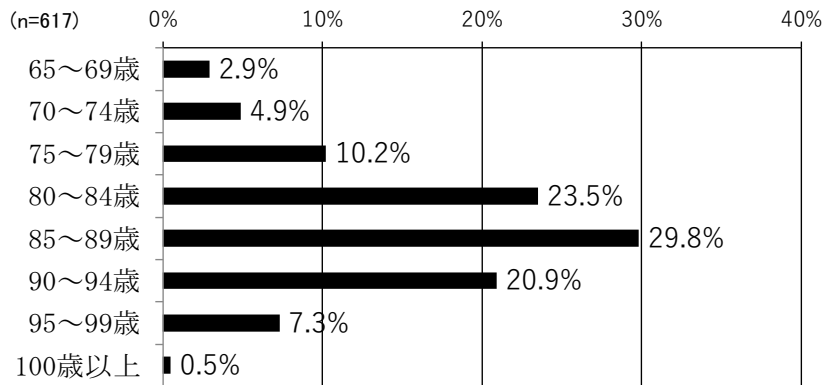
要介護度別の世帯類型は、要介護1～3と比較して、要介護4～5では「その他」世帯の割合が高い。「単身世帯」の割合は、要介護4が7.0%と最も低く、要介護5では17.1%である。

< 認知症自立度別・世帯類型 >



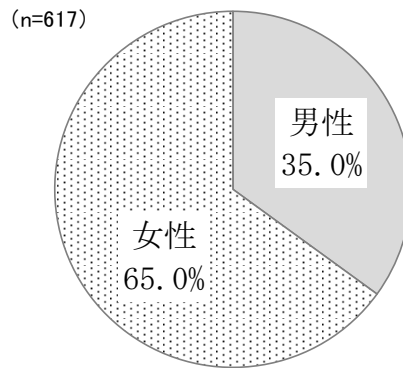
認知症自立度別の世帯類型は、「III以上」では、「夫婦のみ世帯」の割合が最も低く、また「その他」の割合が最も高い。

認定-① 年齢



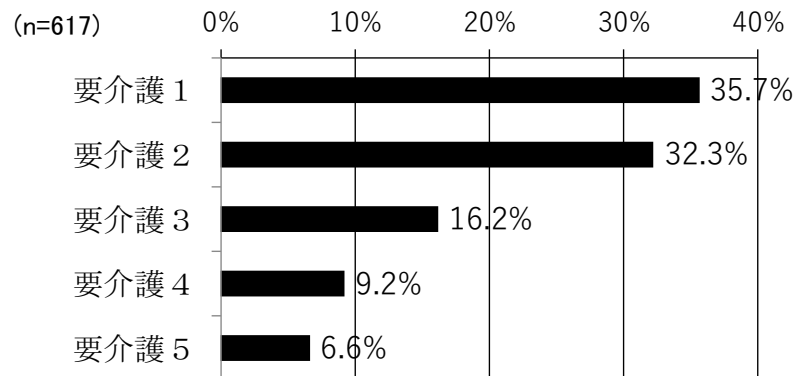
在宅で生活している方で要介護者のうち、28.7%が「90歳以上」である。
年齢は「85～89歳」が29.8%、「80～84歳」が23.5%、「90～94歳」が20.9%である。

認定-② 性別



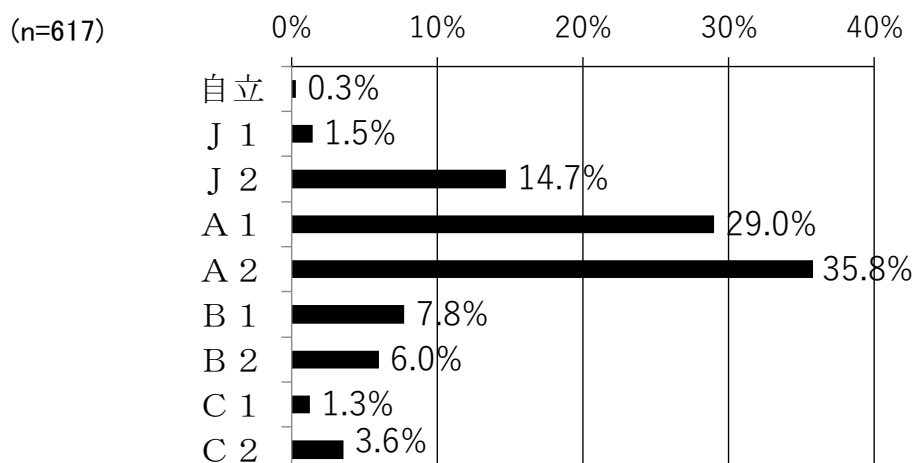
性別は「男性」が35.0%、「女性」が65.0%である。

認定-③ 二次判定結果



二次判定結果は、「要介護1」が35.7%と最も多く、次いで「要介護2」が32.3%となっている。

認定-④ 障害高齢者の日常生活自立度



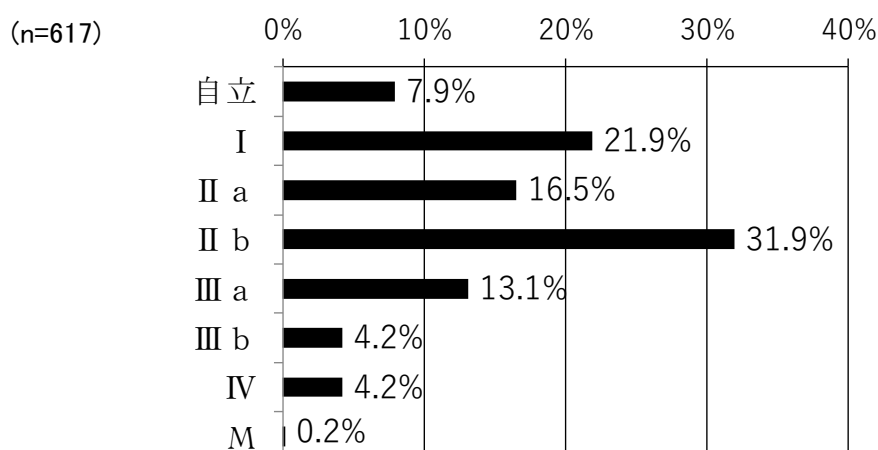
障害高齢者の日常生活自立度は、「A 2」が 35.8%と最も多く、次いで「A 1」が 29.0%となっている。

(参考) 障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 155

認定-⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度



認知症高齢者の日常生活自立度は、「IIb」が31.9%と最も多く、次いで「I」が21.9%となっている。

(参考) 認知症高齢者の日常生活自立度

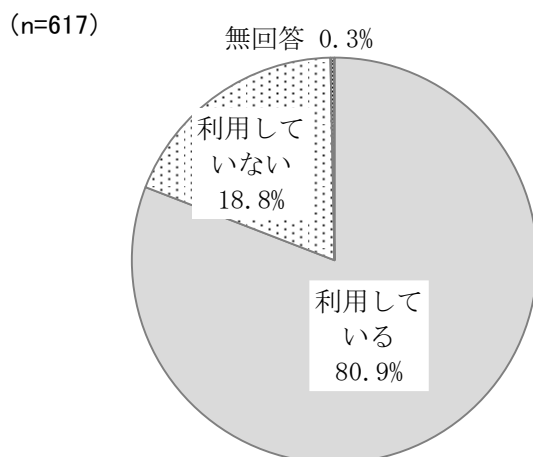
ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(出典) 要介護認定 認定調査員テキスト 2009 改訂版, P. 157

2. 支援・サービスの利用状況・利用意向

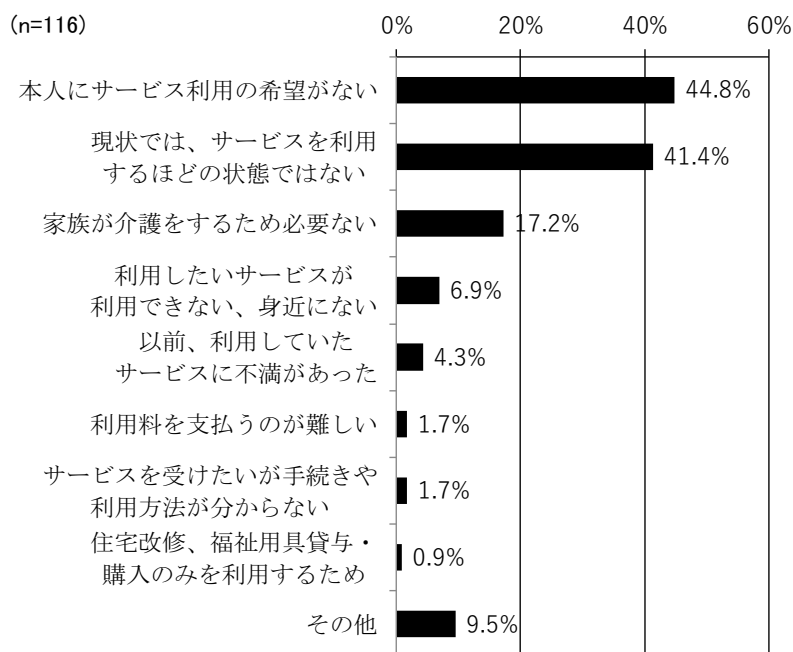
(1) 介護保険サービス

A票-問 18 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1つを選択)



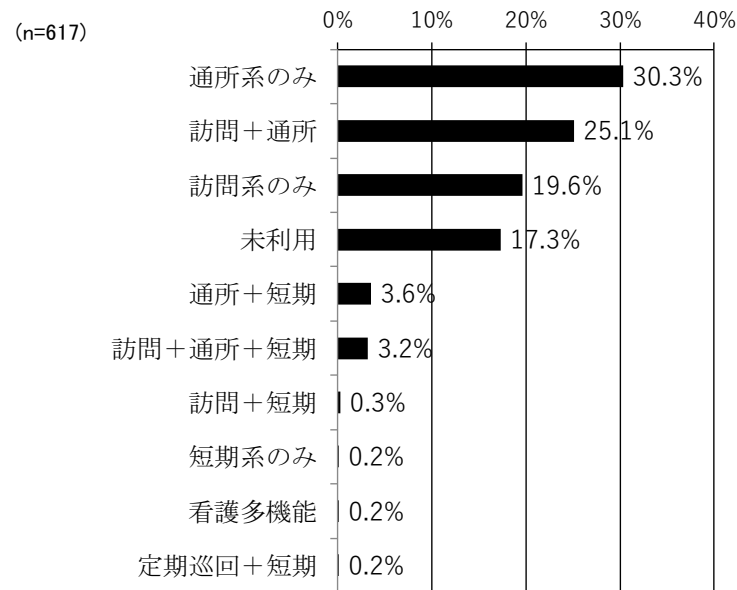
介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外を除く)の利用状況は、「利用している」が80.9%、「利用していない」が18.8%である。

A票-問 19 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)



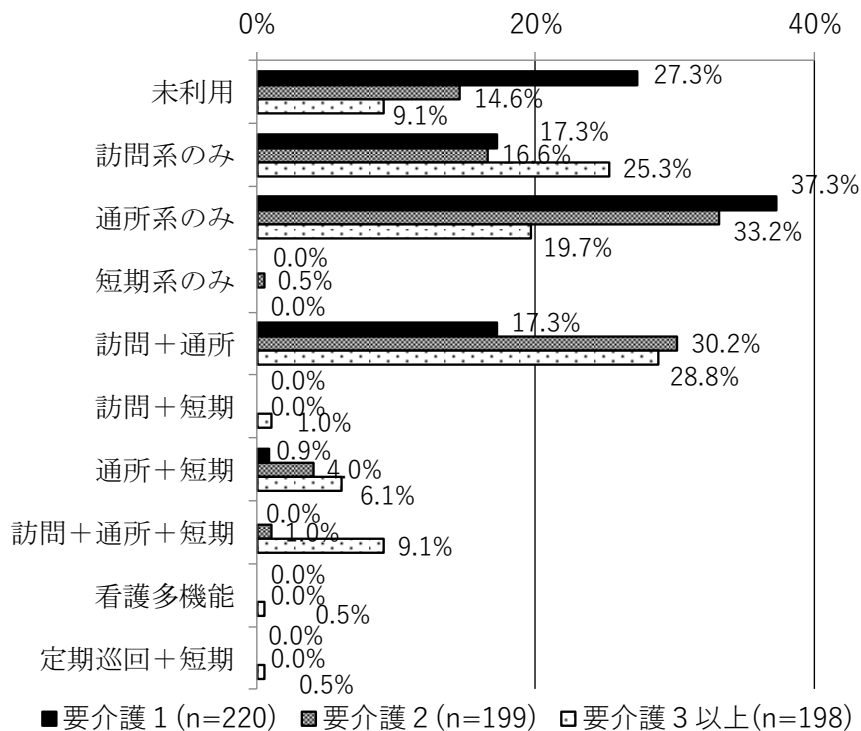
介護保険サービス未利用の理由は、「本人にサービス利用の希望がない」が44.8%と最も多く、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.4%となっている。

認定-④ サービス利用の組み合わせ



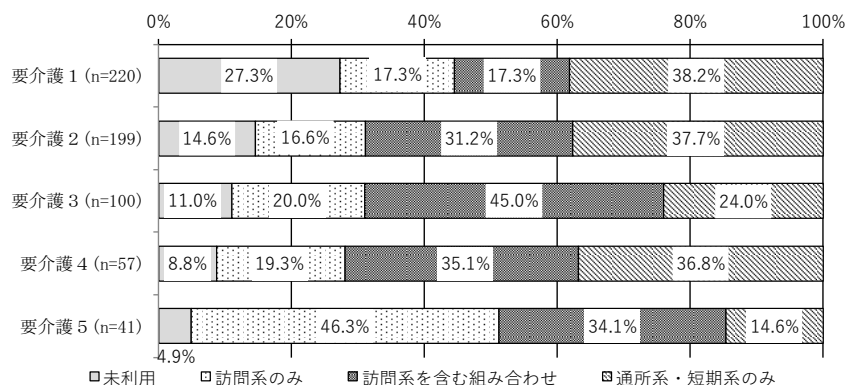
サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が 30.3%と最も多く、次いで「訪問+通所」が 25.1%、「訪問系のみ」が 19.6%となっている。

< 要介護度別・サービス利用の組み合わせ >



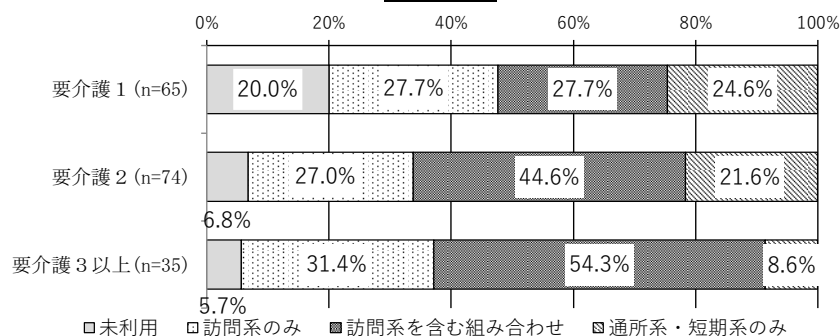
要介護度別のサービス利用の組み合わせは、「要介護 1」・「要介護 2」と「要介護 3 以上」を比較すると、「要介護 3 以上」では、「訪問系のみ」、「通所+短期」、「訪問+通所+短期」などの割合が増加し、「通所系のみ」の割合が減少する傾向がみられる。

<要介護度別・サービス利用の組み合わせ>

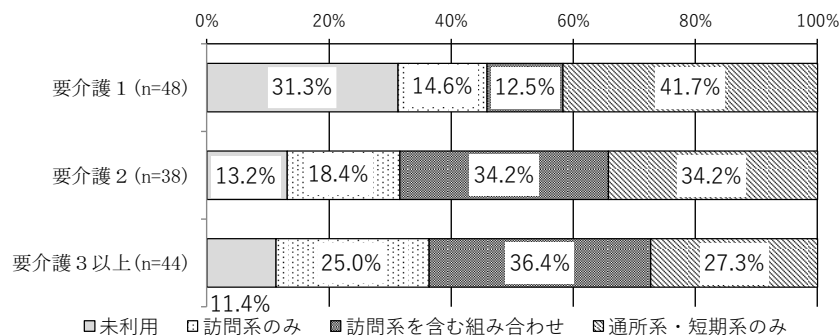


「要介護 1～要介護 3」にかけては、要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高まる傾向がみられた。一方、要介護 5 では、「訪問系のみ」が 46.3% と最も多い。

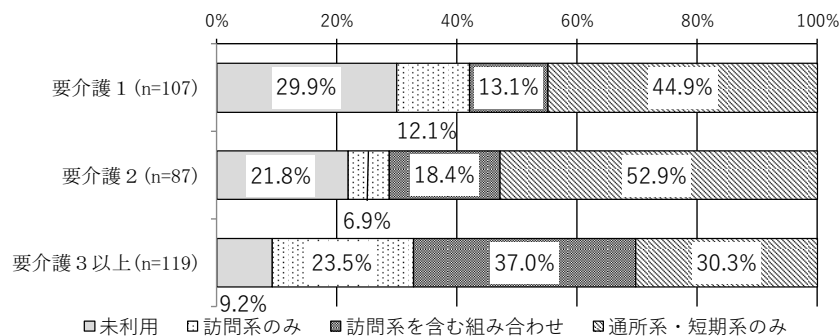
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）>



<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）>

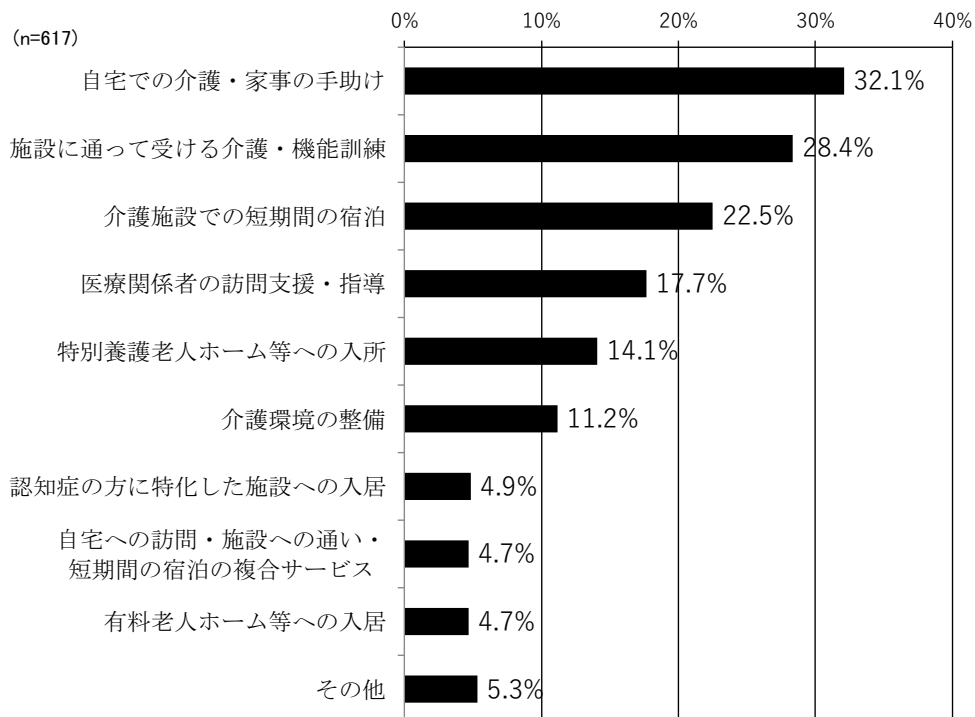


<要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他の世帯）>



世帯類型別に、要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、いずれの世帯類型においても要介護度の重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」利用の割合が高まる傾向がみられる。

A 票-問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどれですか。(複数選択可)



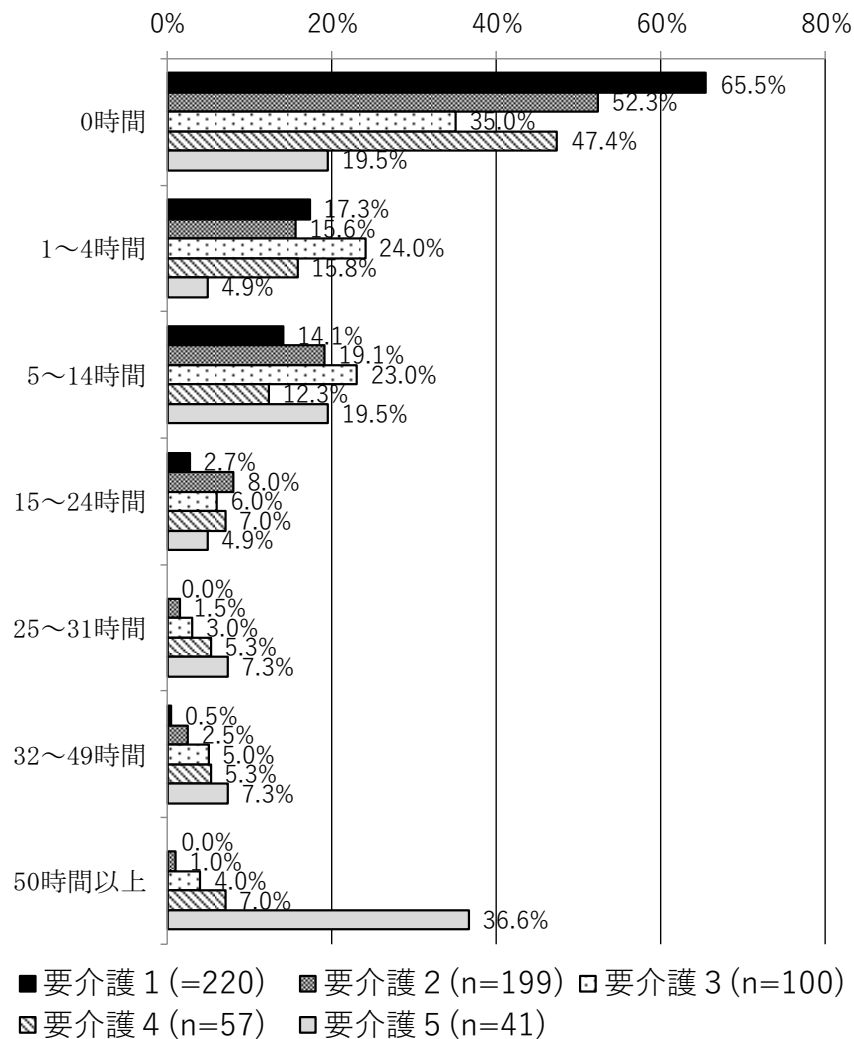
今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスは、「自宅での介護・家事の手助け」が 32.1%と最も多く、次いで「施設に通って受ける介護・機能訓練」が 28.4%、「介護施設での短期間の宿泊」が 22.5%となっている。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 介護者はデイサービスを増やしたいが、本人が疲れるから増やせない。運動はできない身体なので、通常デイで、昼を食べたら帰れるデイサービスが希望。
- ・ 寝たきりになったら訪問診療や訪問入浴などです。
- ・ どんどん良くなって来たので介護保険に頼りたくないと思います。
- ・ 専門職による定期的な訪問や短時間の声かけや見守りサービスがあると良いと思います。
- ・ 食事をつくってほしい。
- ・ 介護保険の訪問介護では利用できない内容（例えば、電気のカサの掃除・エアコン・暖房器具の掃除など）の支援をいつも来てくれるヘルパーさんに頼みたい。いろいろな人が出入りするの困る。
- ・ 介護保険の通所リハビリでHALやパワーアシストを受けたい。もっと普及して、利用しやすくなると思う。
- ・ 医療から介護への流れのなかで、退院後、一律ではない介護の必要性の判断の有無は誰が行うのか。具体的にどのような支援を受けた方がいいのか分かると思う。また、メンタル面でのサポートがあれば希望を持てるようになり、挑戦しようという意欲も出てくると思う。

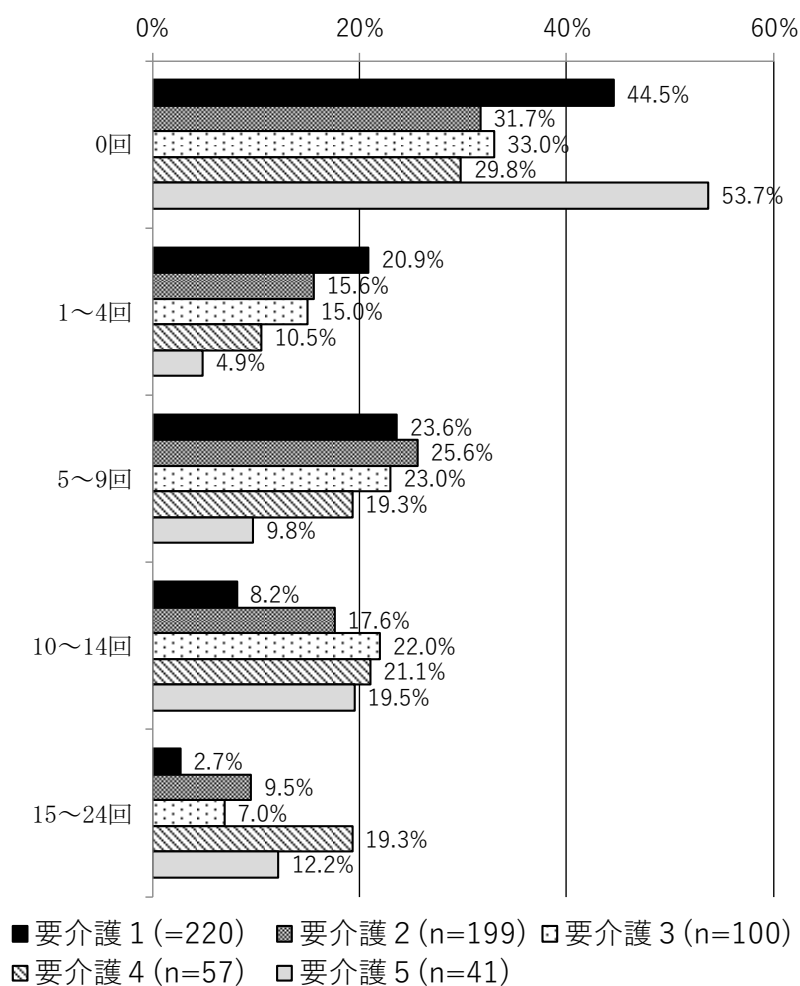
認定-⑤ サービスの利用時間

< 要介護度別・訪問系サービス利用時間/月 >



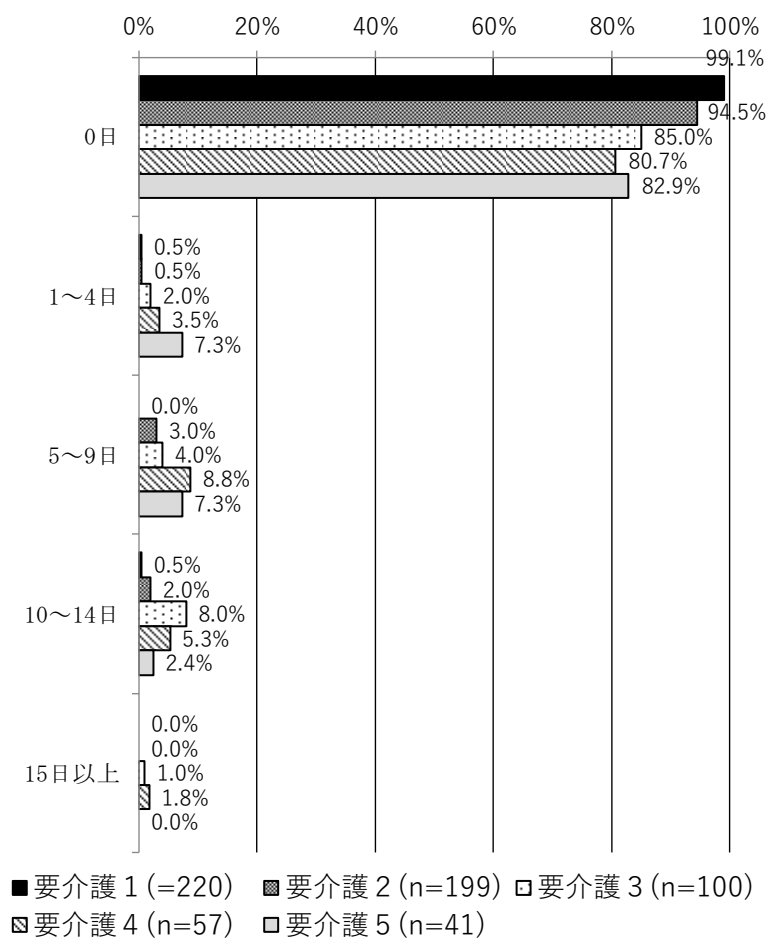
訪問系サービスの利用時間は、0時間を除くと、「要介護1」、「要介護3」、「要介護4」は、「1～4時間」が最も多く「要介護2」では「5～14時間」が最も多い。「要介護5」は「50時間以上」が36.6%と最も多い。

< 要介護度別・通所系サービス利用回数/月 >



通所系サービスの利用回数は、0回を除くと「要介護1」～「要介護3」では、「5～9回」が最も多く、「要介護4」、「要介護5」では「10～14回」が最も多い。

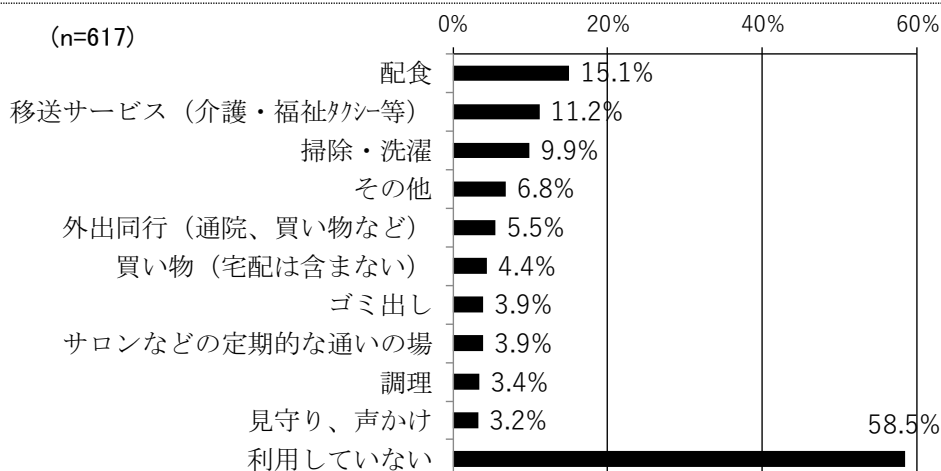
< 要介護度別・短期系サービス利用日数/月 >



短期系サービスの利用日数は、「要介護4」では「5~9日」が8.8%と最も多く、「要介護5」では「1~4日」と「5~9日」が7.3%と最も多い。

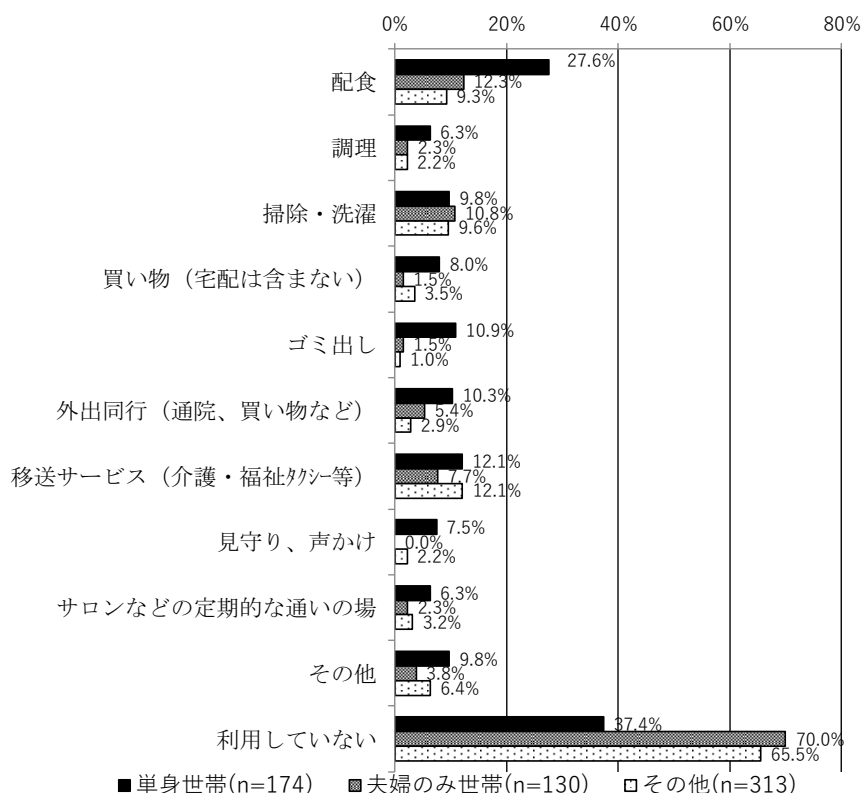
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

A票-問 12 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)



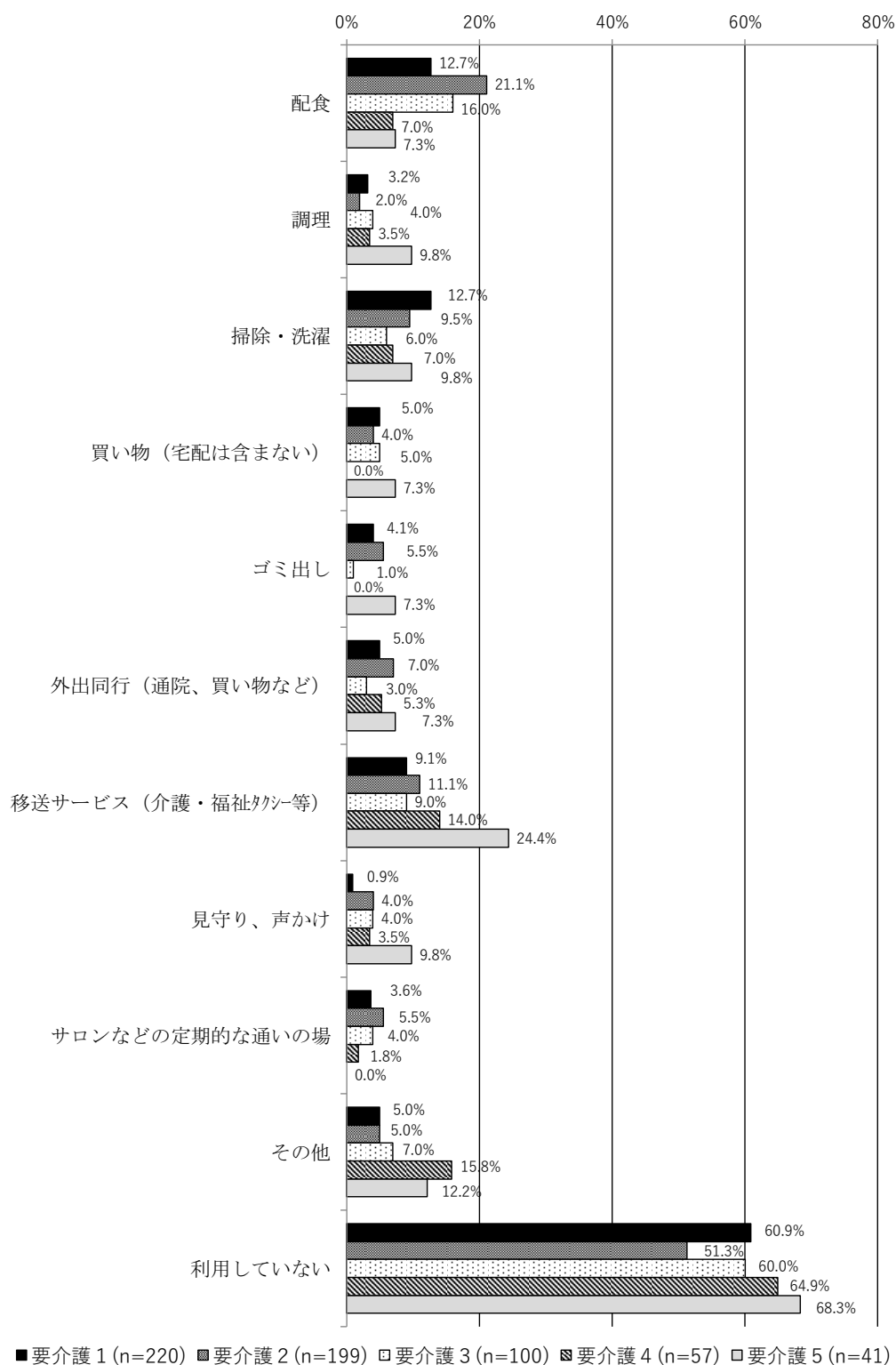
現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「配食」が15.1%と最も多く、次いで「移送サービス」が11.2%となっている。

<世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況>



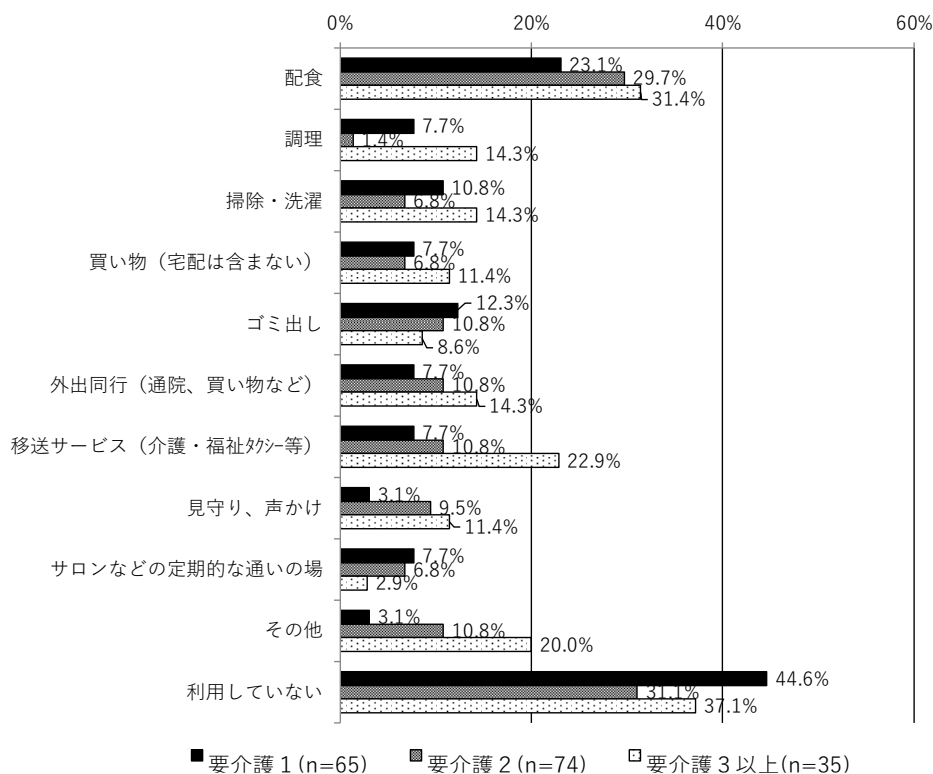
世帯類型別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」は「単身世帯」で37.4%、「夫婦のみ世帯」で70.0%、「その他の世帯」では65.5%となっている。「単身世帯」では、「配食」の利用割合が27.6%と多い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況 >



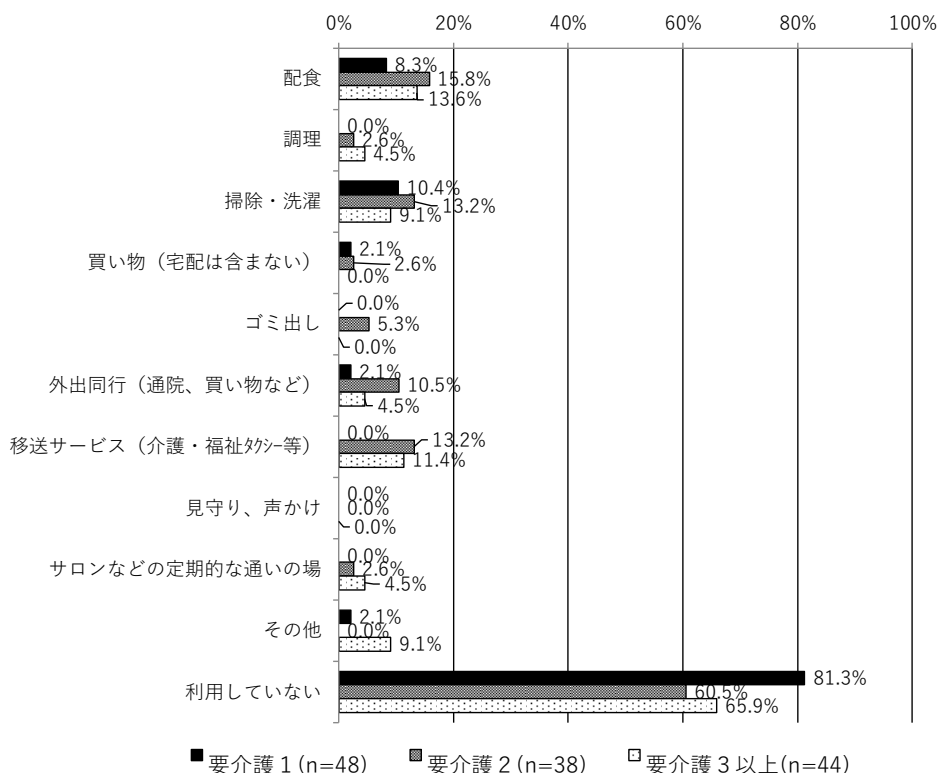
要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、要介護1は「配食」・「掃除・洗濯」、要介護2・3は「配食」、要介護4・5は「移送サービス」・「その他」の割合が高い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯） >



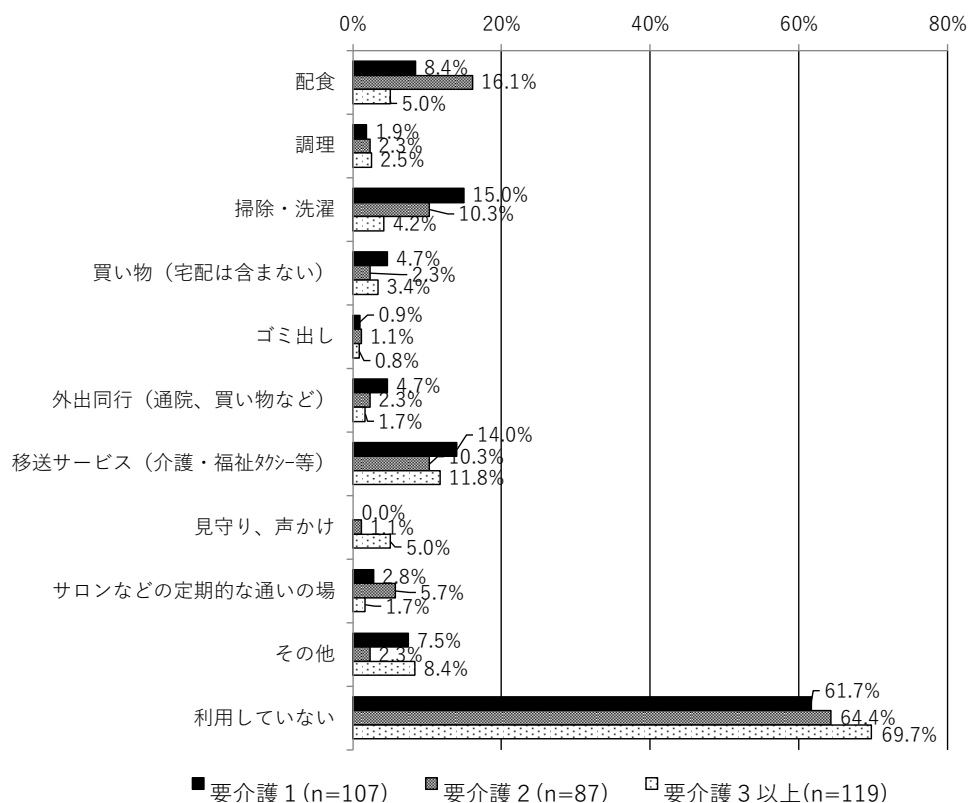
単身世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況は、「要介護3以上」では、「調理」、「移送サービス」、「その他」の割合が他と比べて高い。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯） >



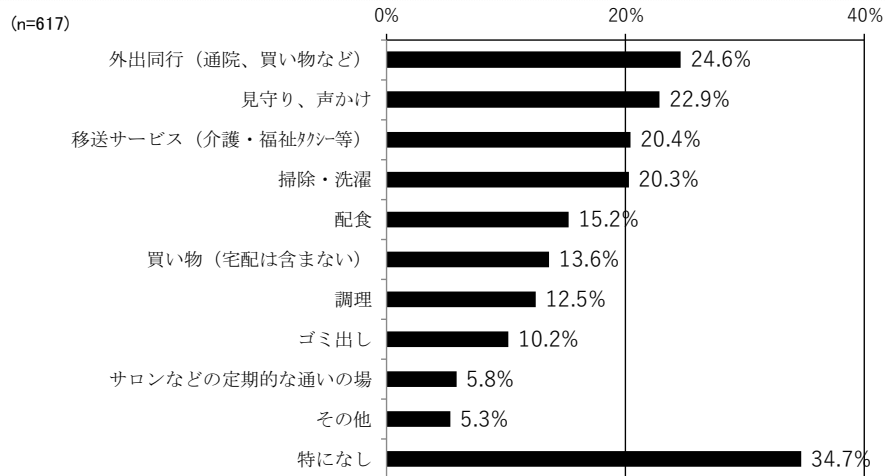
夫婦のみ世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「配食」が13.6%と最も多く、次いで「移送サービス」が11.4%となっている。

< 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他の世帯） >



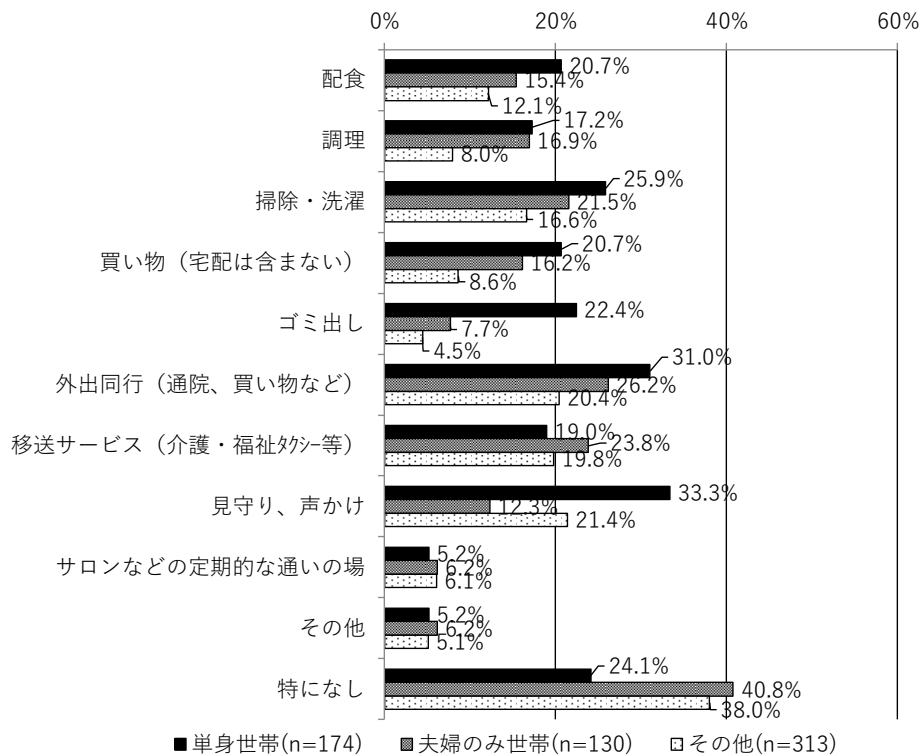
その他の世帯での、要介護度別の保険外の支援・サービスの利用割合は、「要介護3以上」で「移送サービス」が11.8%と最も多く、次いで「その他」が8.4%となっている。

A票-問 13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）



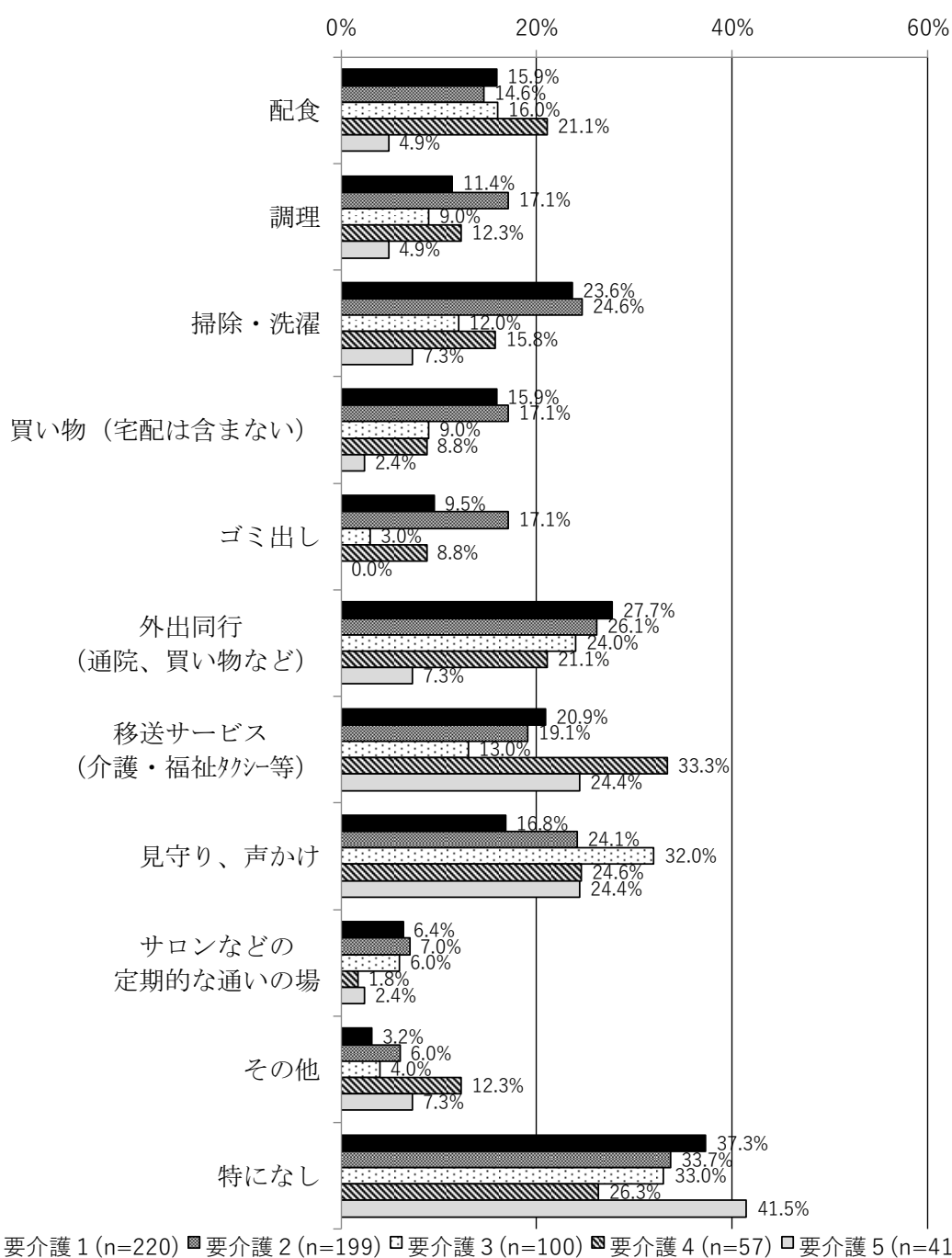
今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「外出同行」が 24.6%と最も多く、次いで「見守り、声かけ」が 22.9%であった。

<世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



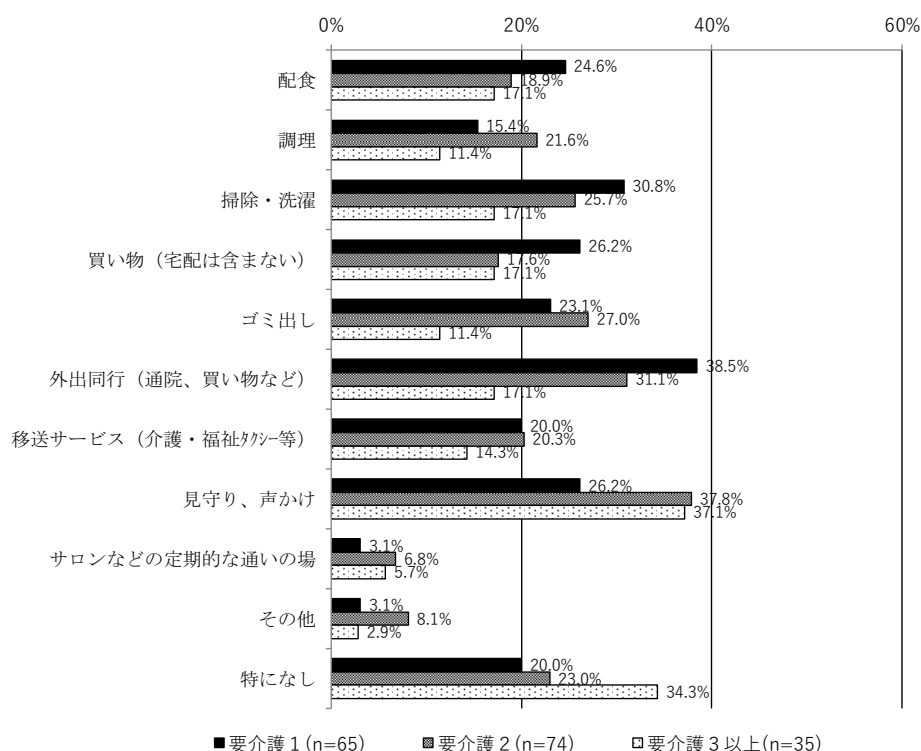
世帯類型別の今後の在宅生活の継続に向けて必要と感じる支援・サービスは、「単身世帯」では「見守り、声かけ」が 33.3%、「外出同行」が 31.0%、「夫婦のみ世帯」では「外出同行」が 26.2%、「移送サービス」が 23.8%、「その他の世帯」では「見守り、声かけ」が 21.4%、「外出同行」が 20.4%と多い。

<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス>



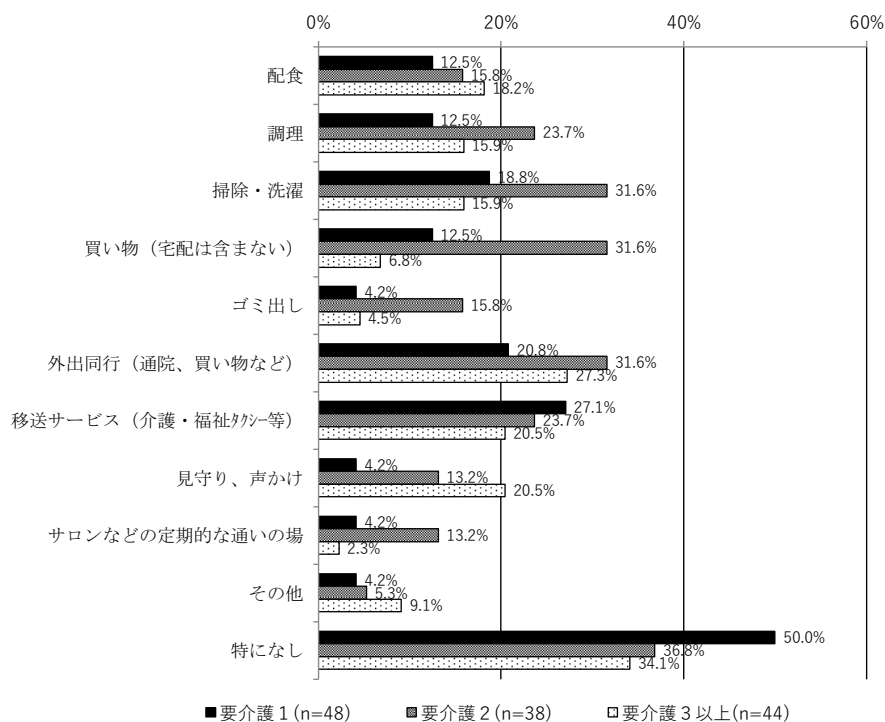
要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護4」、「要介護5」では「移送サービス」、「見守り、声かけ」の割合が高い。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯） >



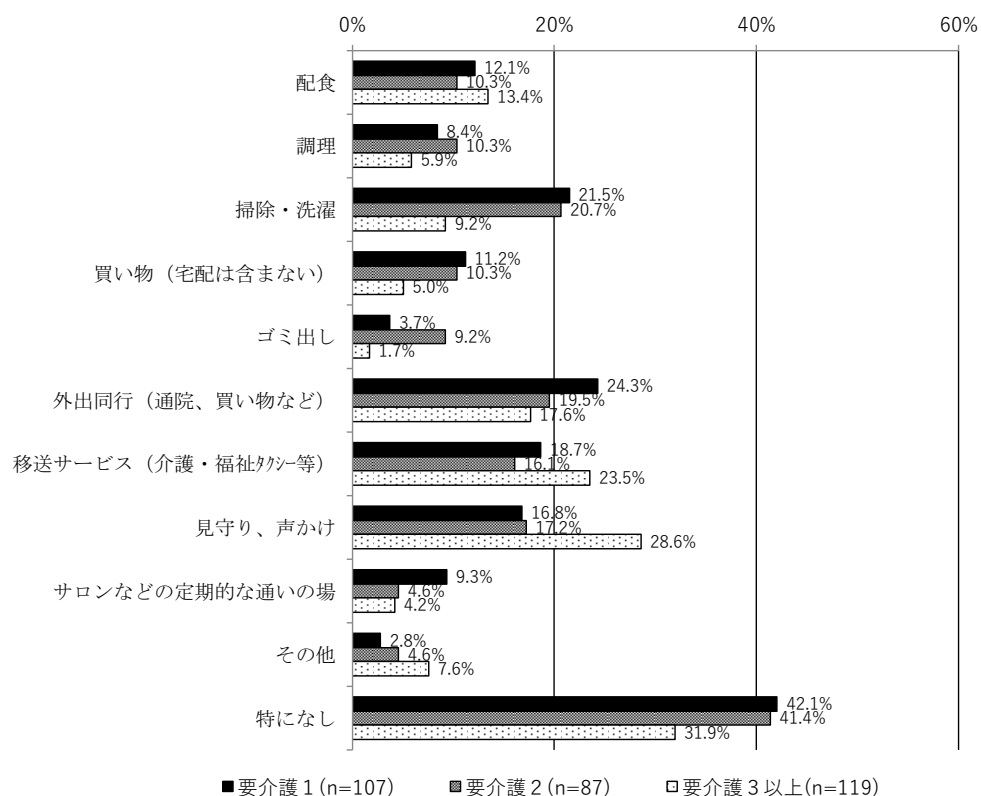
単身世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が37.1%と最も多い。

< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯） >



夫婦のみ世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「外出同行」が27.3%と最も多く、次いで「移送サービス」、「見守り、声かけ」が20.5%となっている。

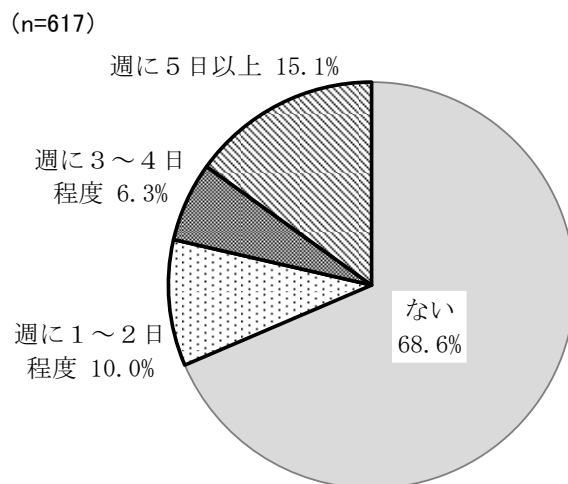
< 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他の世帯） >



その他の世帯での、要介護度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が28.6%と最も多く、次いで「移送サービス」が23.5%となっている。

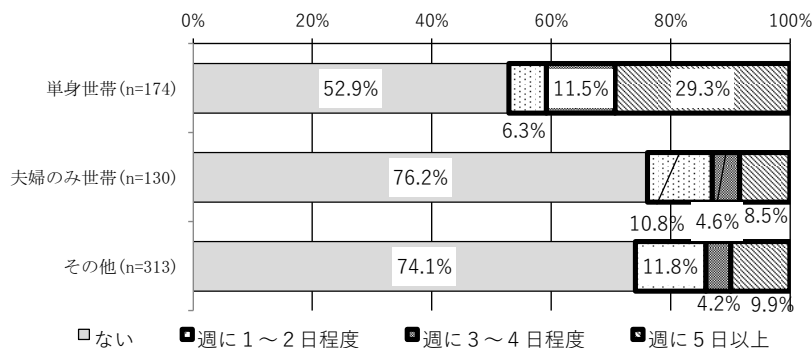
3. 在宅生活の状況

A 票-問 10 日中・夕方の時間帯（9～19 時頃まで）において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4 時間以上介護や見守りをしてくれる人（ヘルパー等も含む）がそばにいない日が、週に何日程度ありますか。（1 つを選択）



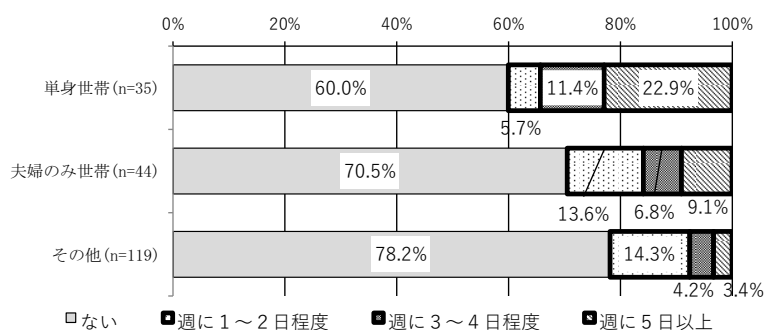
日中独居の頻度は、「週に 1 日以上日中独居である（週に 1～2 日程度・週に 3～4 日程度・週に 5 日以上）」割合の合計（グラフ内太線）が 31.4%である。

< 世帯類型別・日中独居の有無 ※無回答を除く >



世帯類型別の日中独居の有無について、「週に 1 日以上日中独居である（週に 1～2 日程度・週に 3～4 日程度・週に 5 日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が 47.1%、「夫婦のみ世帯」が 23.8%、「その他の世帯」が 25.9%である。

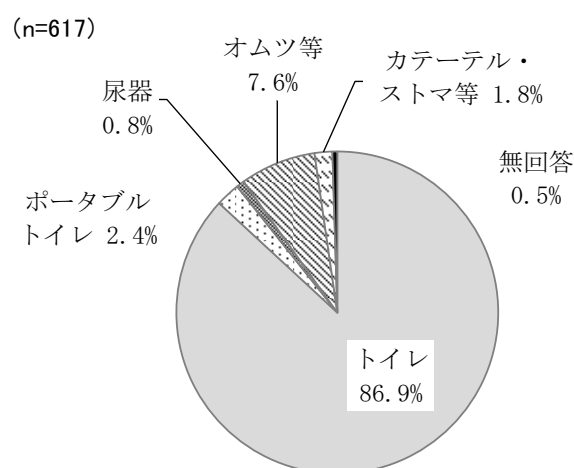
<世帯類型別・日中独居の有無（要介護3以上）>



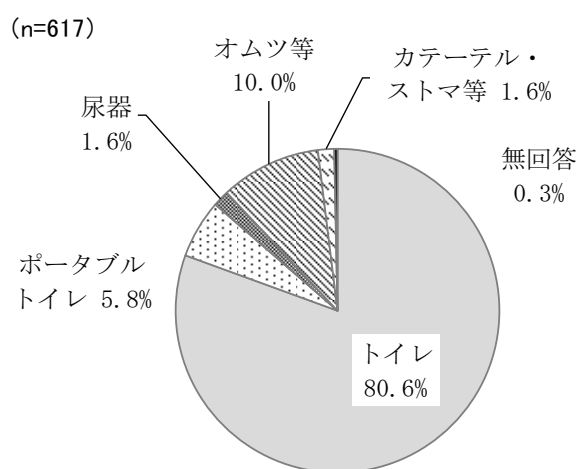
要介護3以上の世帯類型別の日中独居の有無について、「週に1日以上日中独居である（週に1～2日程度・週に3～4日程度・週に5日以上）」割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が40.0%、「夫婦のみ世帯」が29.5%、「その他の世帯」が21.8%である。

A 票-問 11 日中・夜間の排泄の方法・場所について、それぞれ最も多いものをご回答ください。（1つを選択）

<日中>

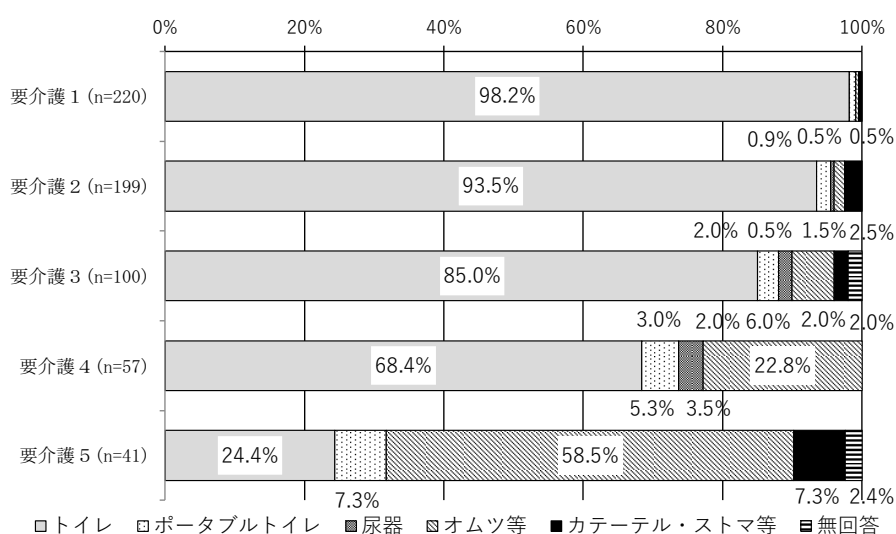


<夜間>

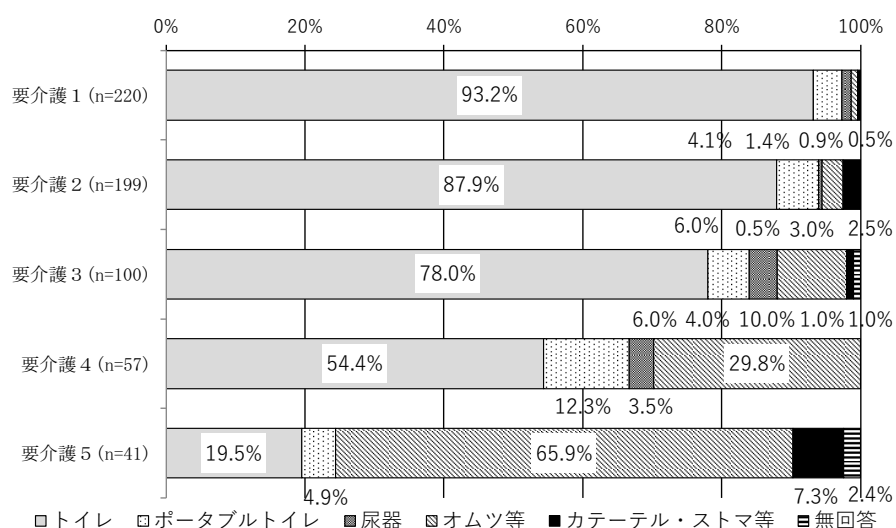


排泄の方法・場所は、日中は「オムツ等」が7.6%、「ポータブルトイレ」が2.4%、夜間は「オムツ等」が10.0%、「ポータブルトイレ」が5.8%である。

< 要介護度別・排泄の方法・場所(日中) >



< 要介護度別・排泄の方法・場所(夜間) >

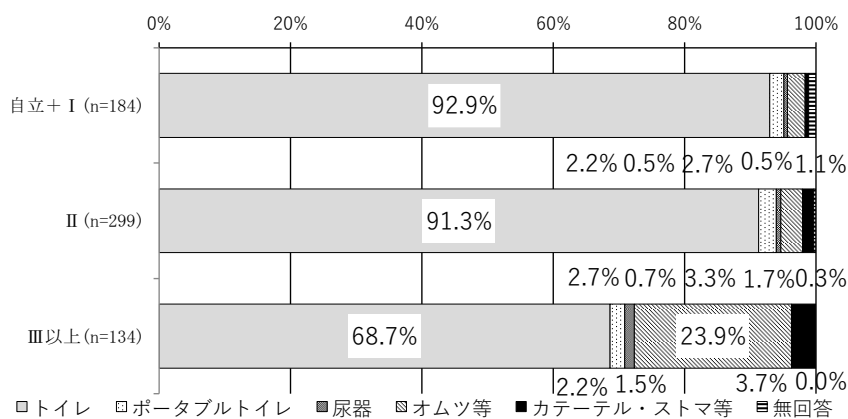


日中の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.5%、「要介護 2」が 1.5%、「要介護 3」が 6.0%、「要介護 4」が 22.8%、「要介護 5」が 58.5%であり、「カテーテル・ストマ等」の割合が「要介護 5」では 7.3%となる。

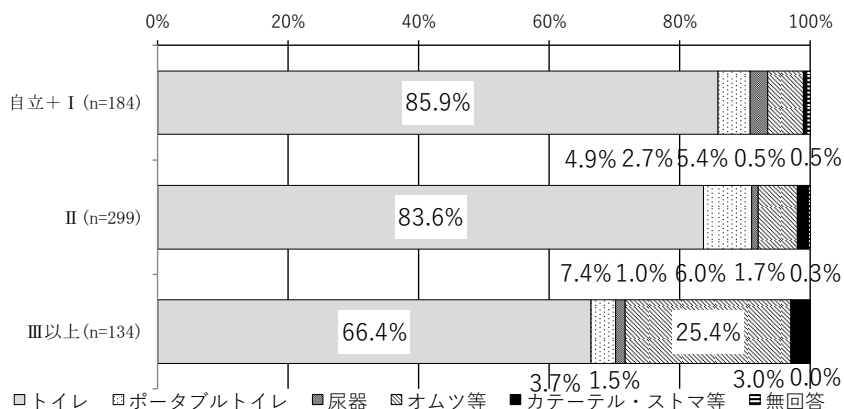
また、夜間の排泄の方法・場所について、「オムツ等」の割合は、「要介護 1」が 0.9%、「要介護 2」が 3.0%、「要介護 3」が 10.0%、「要介護 4」が 29.8%、「要介護 5」が 65.9%であり、「カテーテル・ストマ等」の割合が「要介護 5」では 7.3%となる。

「要介護 5」では、日中・夜間ともに、「オムツ等」の割合が 5 割以上となっている。

< 認知症自立度別・排泄の方法・場所（日中） >



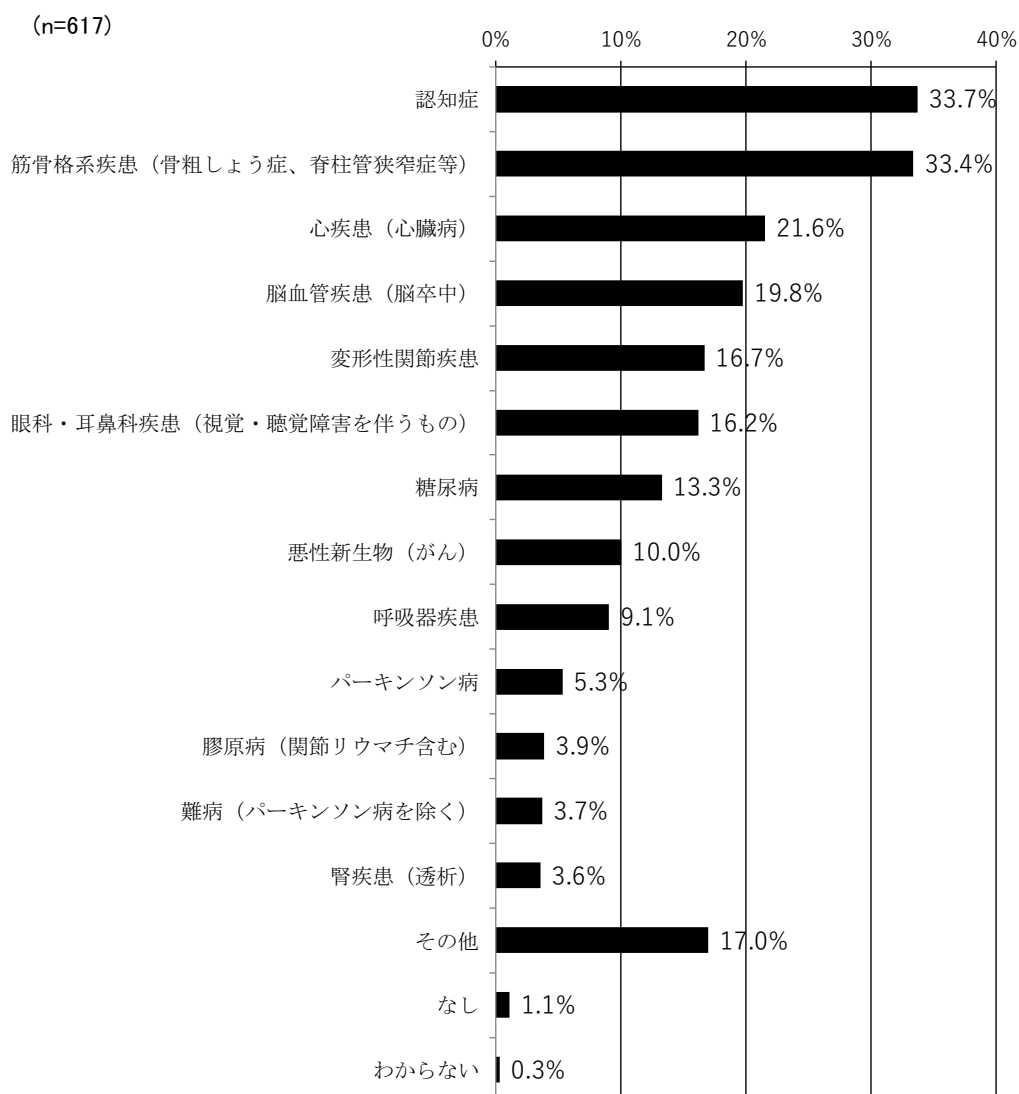
< 認知症自立度別・排泄の方法・場所（夜間） >



認知症自立度別の排泄の方法・場所について、「認知症自立度Ⅲ」以上では、日中は「オムツ等」が23.9%、夜間は「オムツ等」が25.4%である。

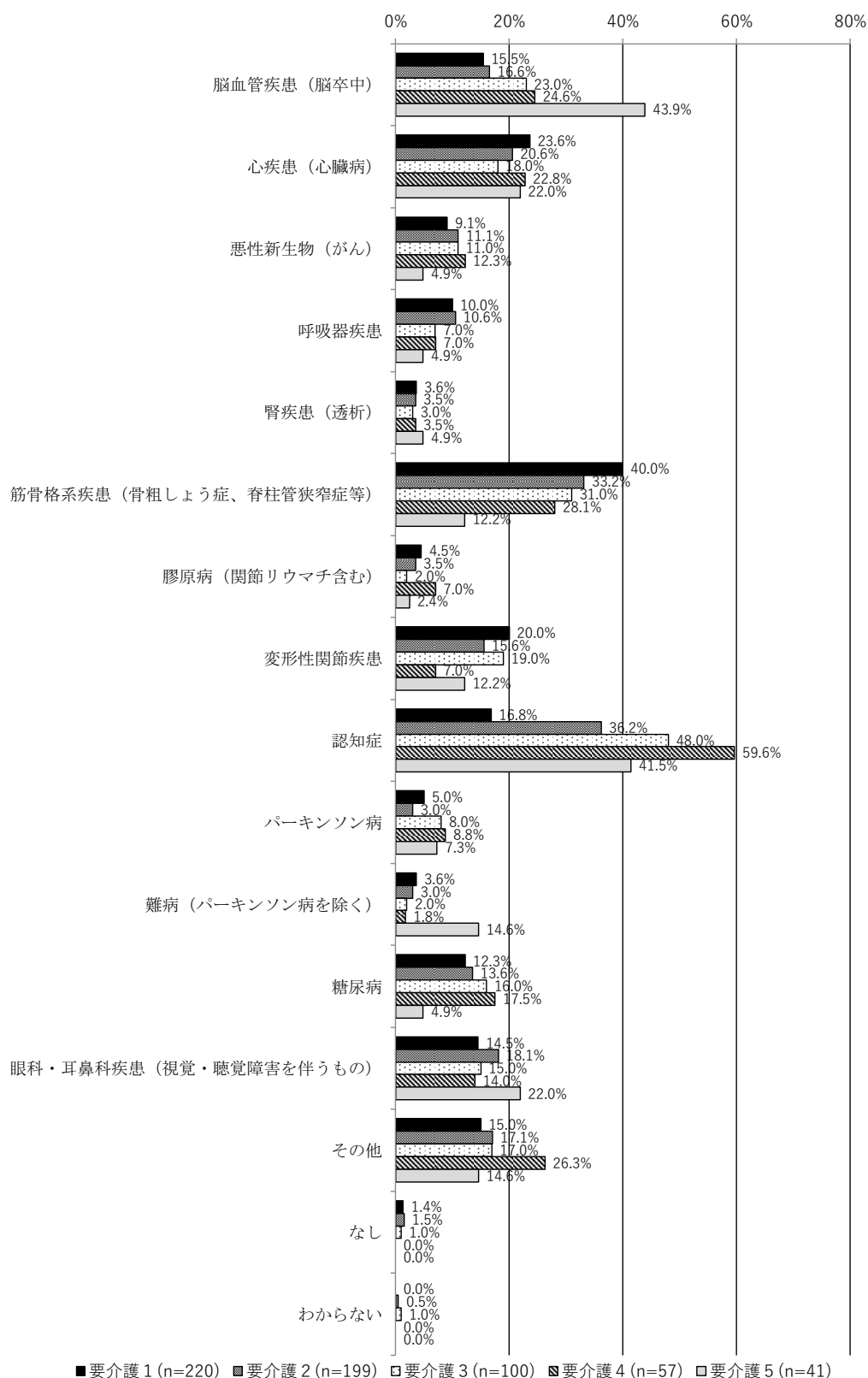
4. 傷病の利用状況など

A票-問9 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）



抱えている傷病は、「認知症」が33.7%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患」が33.4%、「心疾患」が21.6%となっている。

< 要介護度別・抱えている傷病 >

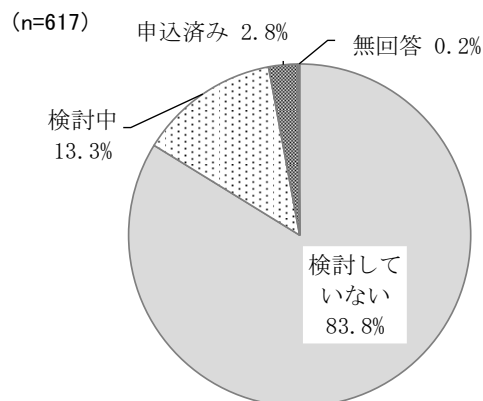


要介護度別の抱えている傷病は、「要介護5」では、「脳血管疾患 (脳卒中)」が 43.9%と最も多く、次いで「認知症」が 41.5%、「心疾患 (心臓病)」・「眼科・耳鼻科疾患」が 22.0%であった。

5. 施設等への入所・入居の検討状況

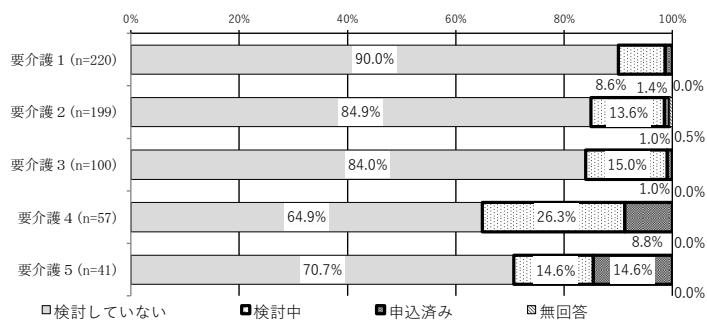
(1) 施設等検討の状況

A票-問 14 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)



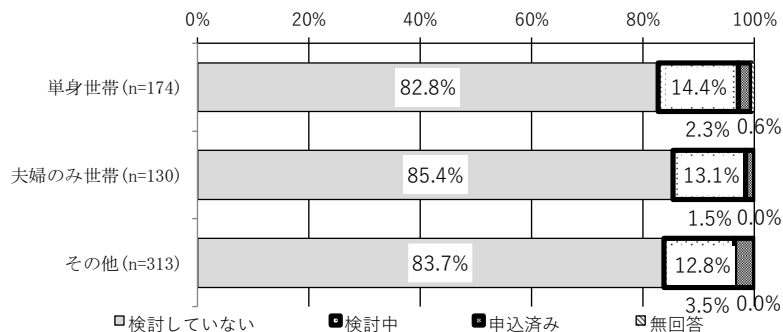
施設等検討の状況は、「検討中」が13.3%、「申込済み」が2.8%である。

< 要介護度別・施設等検討の状況 >



施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「要介護1」が10.0%、「要介護2」が14.6%、「要介護3」が16.0%、「要介護4」が35.1%、「要介護5」が29.3%である。「検討中」と「申込済み」の割合の合計が最も多いのは「要介護4」であった。

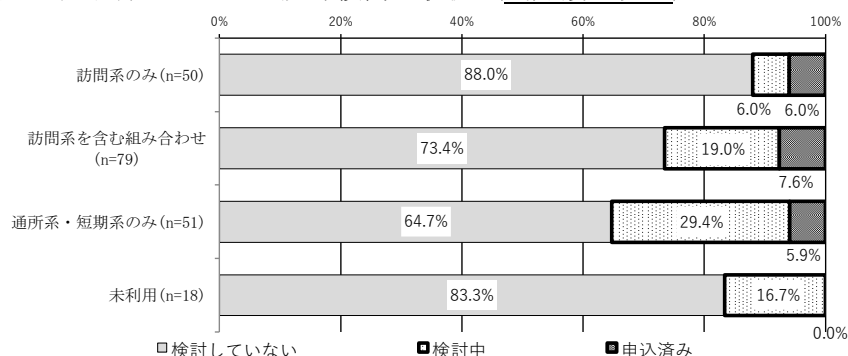
< 世帯類型別・施設等検討の状況 >



世帯類型別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「単身世帯」が16.7%、「夫婦のみ世帯」が14.6%、「その他の世帯」が16.3%である。

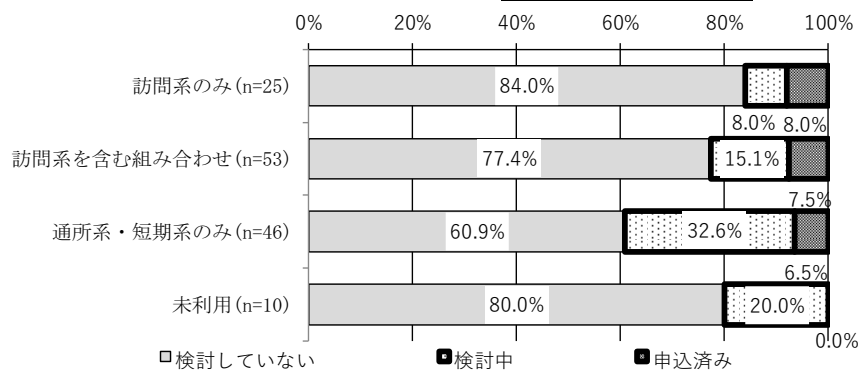
(2) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況

< サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（要介護3以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（要介護3以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が12.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が26.6%、「通所系・短期系のみ」が35.3%、「未利用」が16.7%である。「通所系・短期系のみ」のサービス利用では、約3割が施設等を「検討中」もしくは「申込済み」であった。

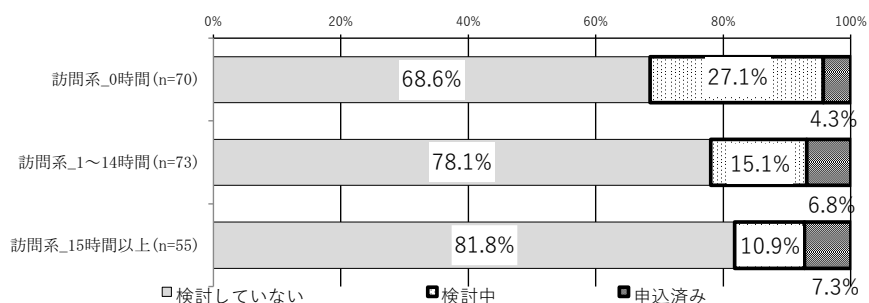
< サービス利用の組み合わせ別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



サービス利用の組み合わせ別の施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系のみ」が16.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.6%、「通所系・短期系のみ」が39.1%、「未利用」が20.0%である。

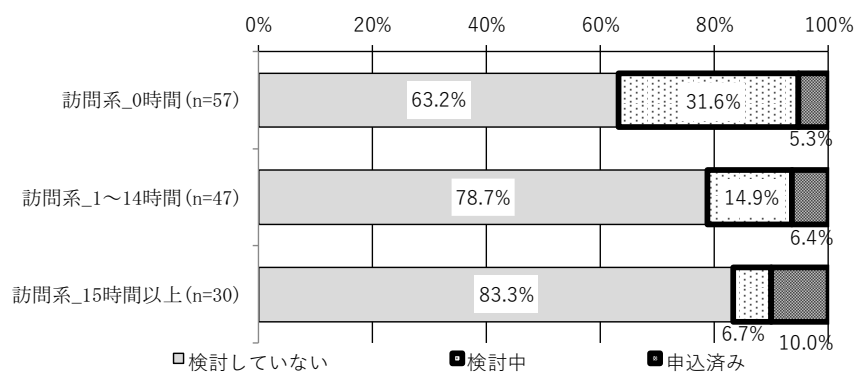
(3) サービス利用の回数と施設等検討の状況

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（要介護3以上） >



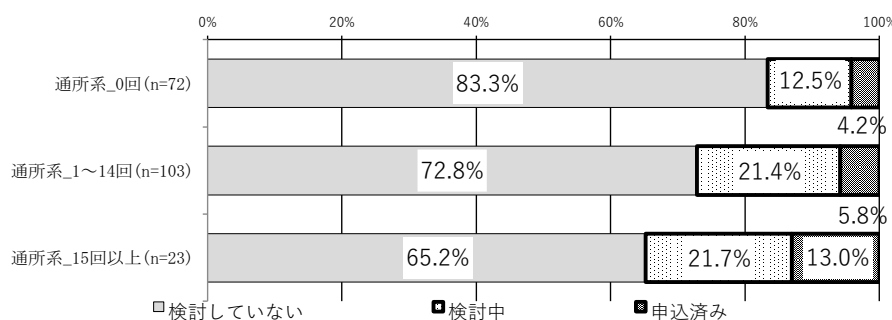
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」が31.4%、「訪問系1～14時間」が21.9%、「訪問系15時間以上」が18.2%である。

< 訪問系サービスの利用時間別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上） >



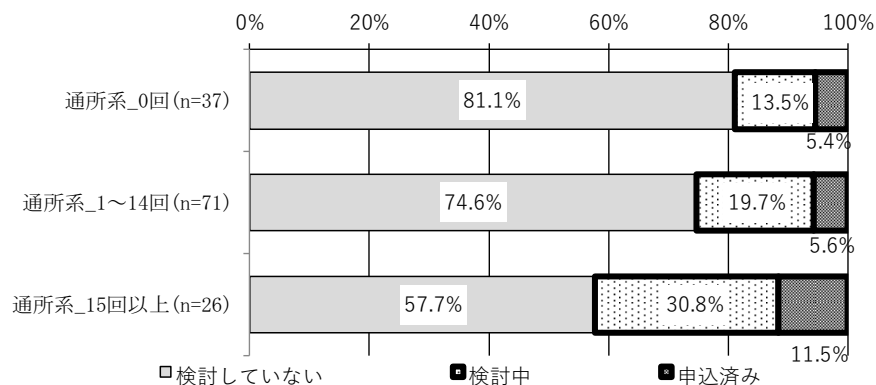
訪問系サービスの利用時間別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「訪問系0時間」で36.8%、「訪問系1～14時間」で21.3%、「訪問系15時間以上」で16.7%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



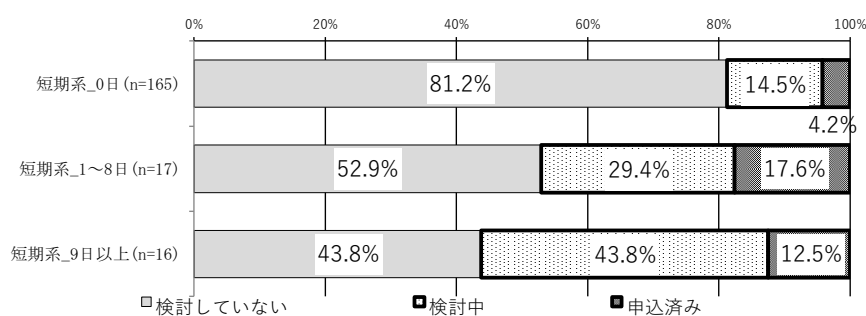
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で16.7%、「通所系1~14回」で27.2%、「通所系15回以上」で34.8%である。

<通所系サービスの利用回数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



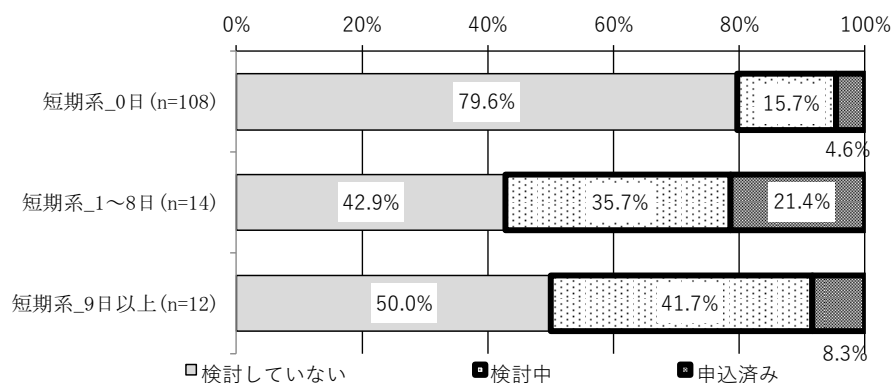
通所系サービスの利用回数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「通所系0回」で18.9%、「通所系1~14回」で25.4%、「通所系15回以上」で42.3%だった。

<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、要介護3以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で18.8%、「短期系1~8日」で47.1%、「短期系9日以上」で56.3%である。

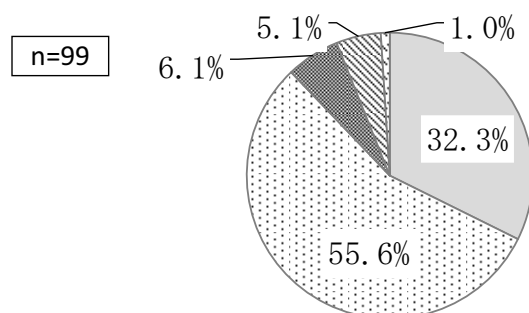
<短期系サービスの利用日数別・施設等検討の状況（認知症自立度Ⅲ以上）>



短期系サービスの利用日数別の施設等検討の状況について、認知症自立度Ⅲ以上の施設等を「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「短期系0日」で20.4%、「短期系1~8日」で57.1%、「短期系9日以上」で50.0%である。

(4) 施設等検討の理由など

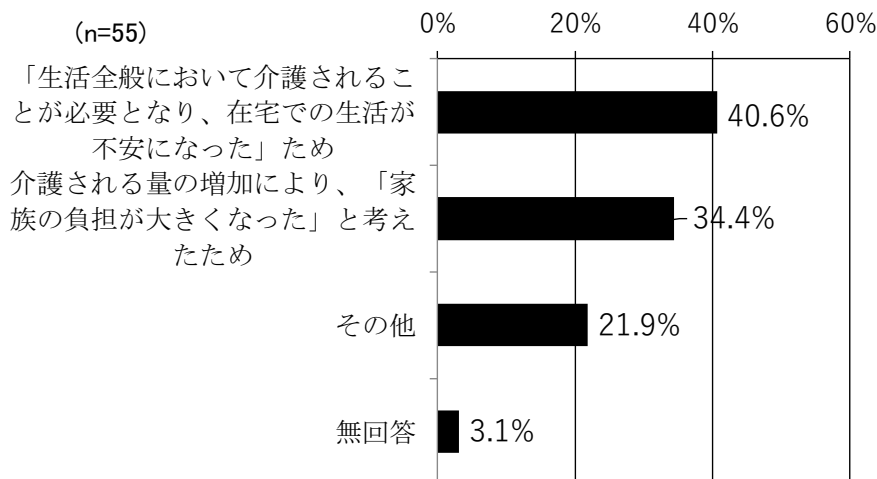
A 票-問 15 問 14 において「検討中」「申込済み」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された一番大きなきっかけをご回答ください。(1つを選択)



- ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため
- 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため
- ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため
- 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため
- 無回答

施設等への入所・入居を「検討中」及び「申込済み」の方（99名）が、入所・入居を検討した一番大きなきっかけは、「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が55.6%、「ご本人が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」が32.3%、「ケアマネジャーから、『施設等への入所・入居をすすめられた』ため」が6.1%である。

A 票-問 16 問 15 で「ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため」を選択された方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)

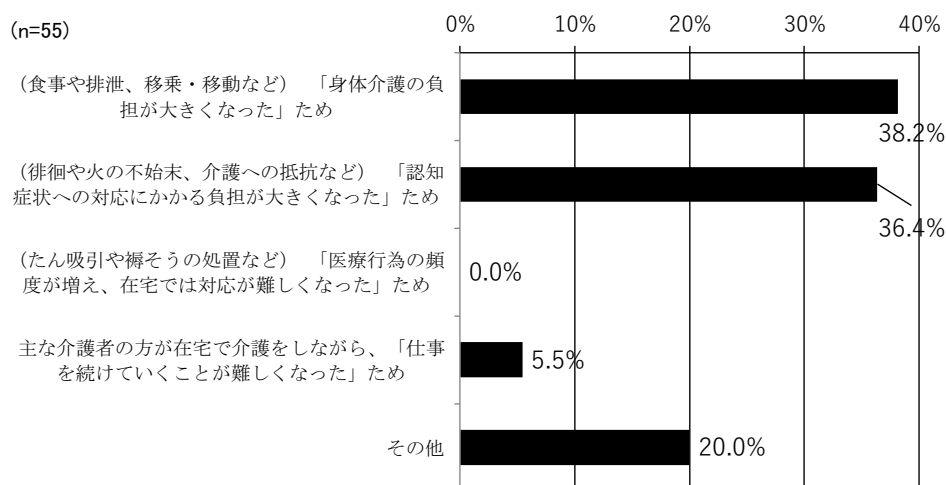


本人が、「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、『生活全般において介護される必要となり、在宅での生活が不安になった』ため』が 40.6%と最も多い。

なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 圧迫骨折で一時的に動けない状態となったことがきっかけ。
- ・ 姉も要支援状態であり、姉の健康状態が心配。
- ・ 現在治療中の病気の悪化が懸念される。在宅で入退院を繰り返しながら療養生活を送るには経済的・精神的負担が大きいから。
- ・ 高齢の同居の姉が家事をすることが難しく負担をかけたくないため。
- ・ 股関節手術のため
- ・ 同居の長男は仕事で忙しい。ここにいてもいいのかなと思う。施設を考えたりする。毎晩さみしくて、もどかしくて泣いている。
- ・ 同居の娘との折り合いが悪く、家にいたくないと思っている。これから初めてショートステイを試してみる。
- ・ 日中、一人でいると不安になるようで、精神的に不安定になり、デイサービス等で人と接することで気力が出てくる姿が見られるため。

A票-問 17 問 15 で「主な介護者の方が、『在宅生活の継続は難しい』と考えたため」を選択された方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください。(1つを選択)



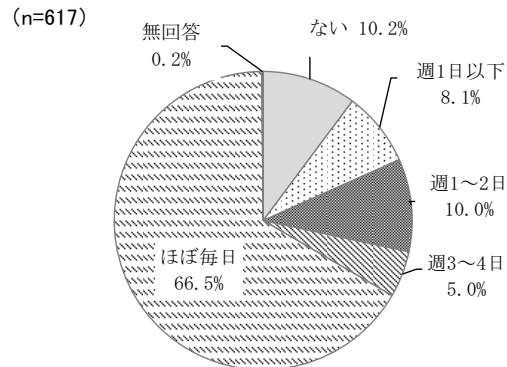
主な介護者が「在宅生活の継続は難しい」と判断した理由は、『身体介護の負担が大きくなった』ため』が 38.2%、『認知症状への対応にかかる負担が大きくなった』ため』が 36.4%と多い。なお、「その他」についての具体的な内容は、以下の通りである。

- ・ 本人の家庭内での暴言、暴力、物忘れ
- ・ 介護者本人の体力、認知力の低下
- ・ 介護者自身が年を取ってきた。自分の健康面が不安。
- ・ 介護者の健康
- ・ 自宅での介護を続けることで家族への負担が大きくなるため。
- ・ 同居している母が認知症であるため。
- ・ 日中は仕事、夜間は体の痛み等で眠れず、母の介護で共倒れになる心配があるため。

6. 主な介護者の状況

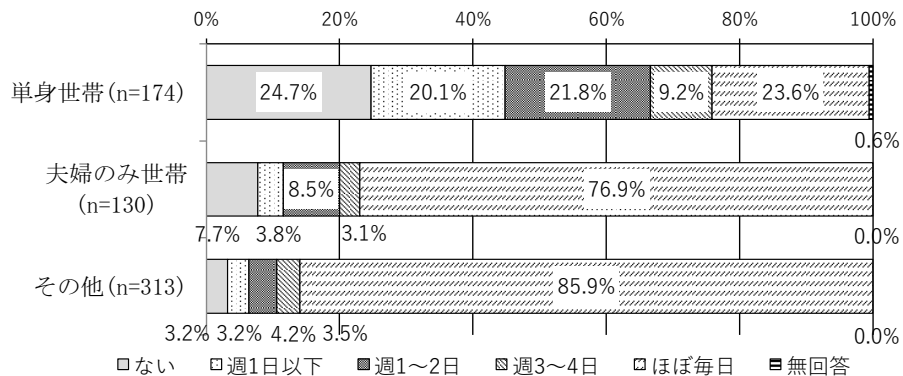
(1) 家族や親族による介護の頻度

A票-問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つを選択）



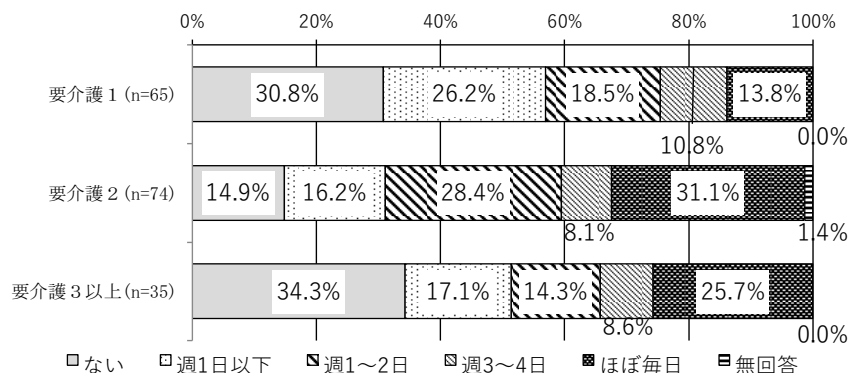
家族や親族による介護の頻度は、「ほぼ毎日」が66.5%と最も多く、次いで「ない」が10.2%、「週1~2日」が10.0%となっている。

<世帯類型別・家族等による介護の頻度>



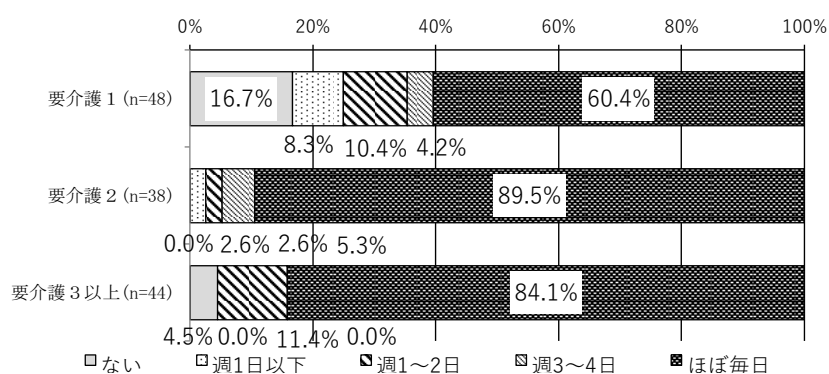
家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は、「単身世帯」が23.6%、「夫婦のみ世帯」が76.9%、「その他の世帯」が85.9%である。

<要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）>



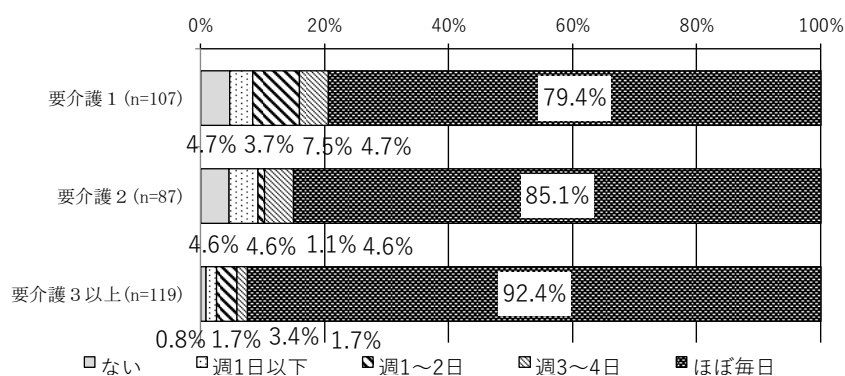
単身世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が13.8%、「要介護2」が31.1%、「要介護3以上」が25.7%である。

< 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯） >



夫婦のみ世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が60.4%、「要介護2」が89.5%、「要介護3以上」が84.1%である。

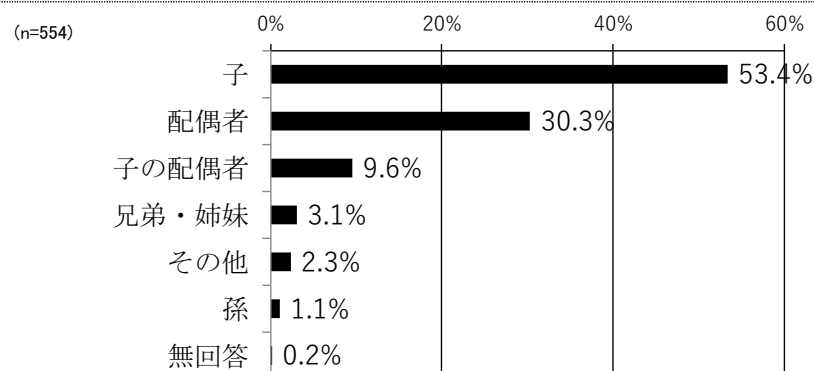
< 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他の世帯） >



その他の世帯での家族や親族による介護の頻度について、「ほぼ毎日」の割合は「要介護1」が79.4%、「要介護2」が85.1%、「要介護3以上」が92.4%である。

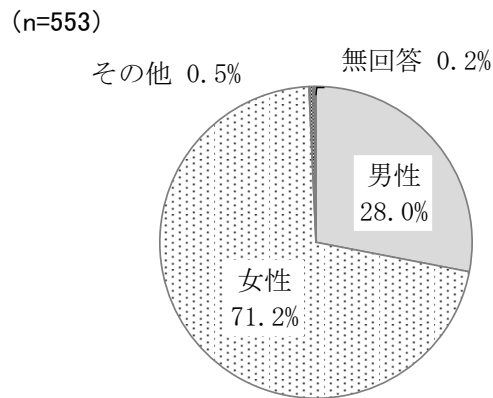
(2) 主な介護者の属性

A票-問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)



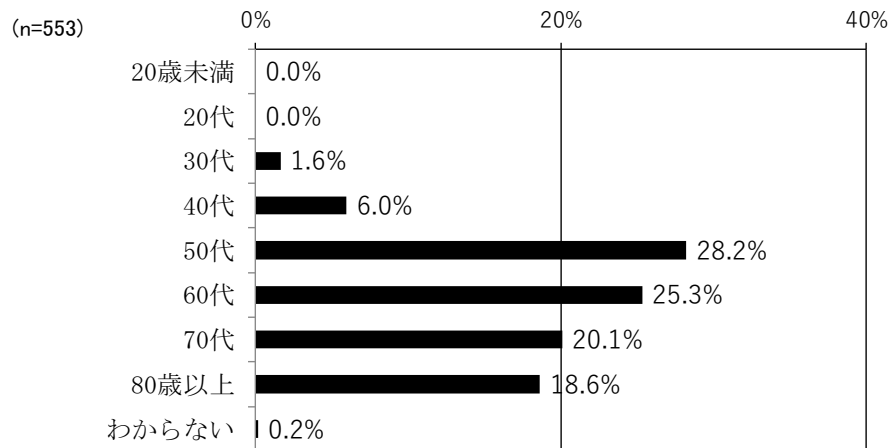
本人と主な介護者の関係は、「子」が53.4%と最も多く、次いで「配偶者」が30.3%となっている。

A票-問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)



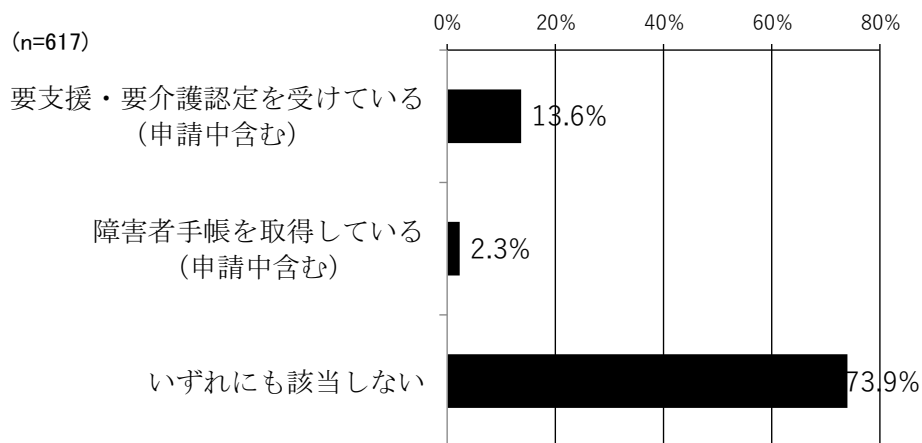
主な介護者の性別は、「女性」が71.2%、「男性」が28.0%である。

A票-問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)



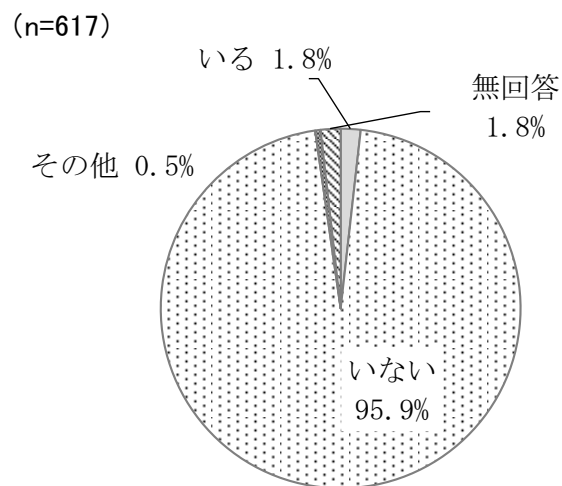
主な介護者の年齢は、「50代」が28.2%と最も多く、次いで「60代」が25.3%、「70代」が20.1%である。主な介護者のうち、「70代以上」の割合は38.7%となっている。

A票-問 6 主な介護者の方の心身の状況について、ご回答ください。(複数選択可)



主な介護者の心身の状況は、「要支援・要介護認定を受けている (申請中含む)」が 13.6%、「障害者手帳を取得している (申請中含む)」が 2.3%であった。

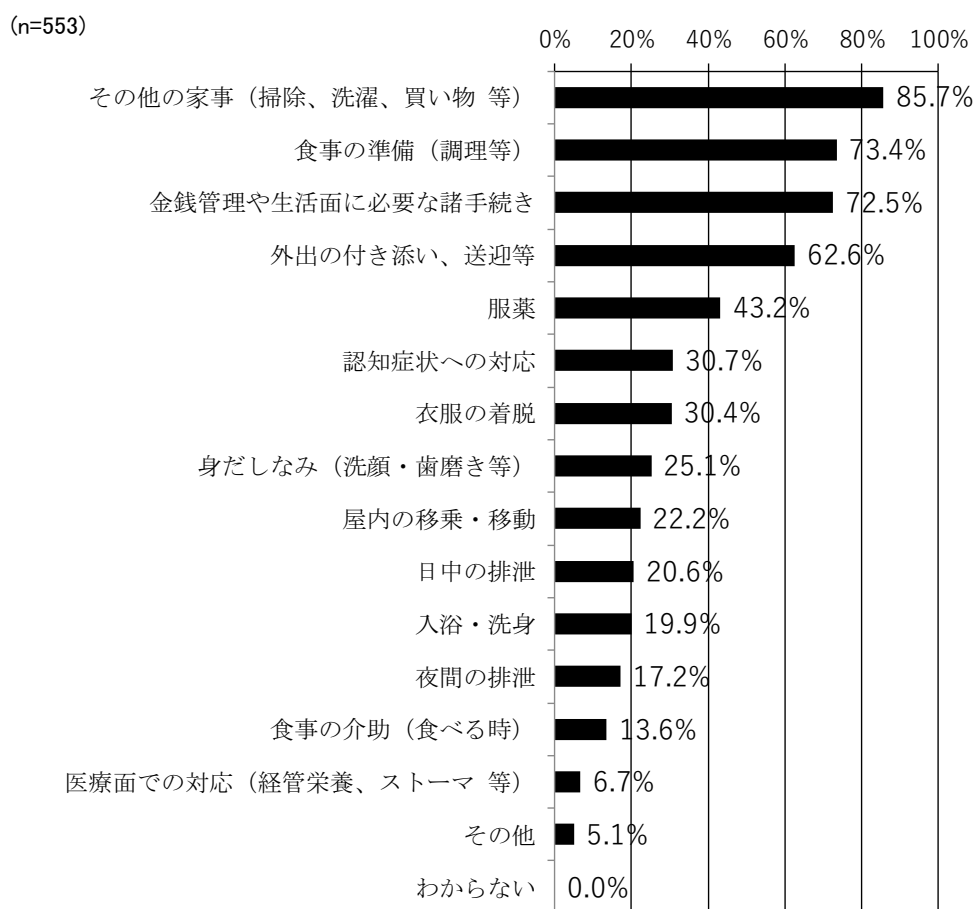
A票-問 22 同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方はいますか。(1つを選択)



同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方は、「いない」が 95.9%、「いる」が 1.8%であった。

(3) 主な介護者が行っている介護の状況

A票-問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

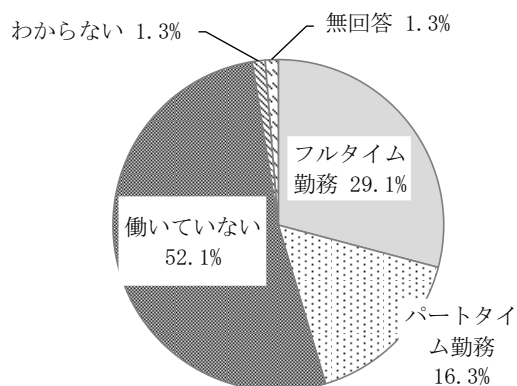


主な介護者が行っている介護は、「その他の家事」が85.7%と最も多く、次いで「食事の準備」が73.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が72.5%となっている。

(4) 主な介護者の就労状況、介護と仕事の両立状況

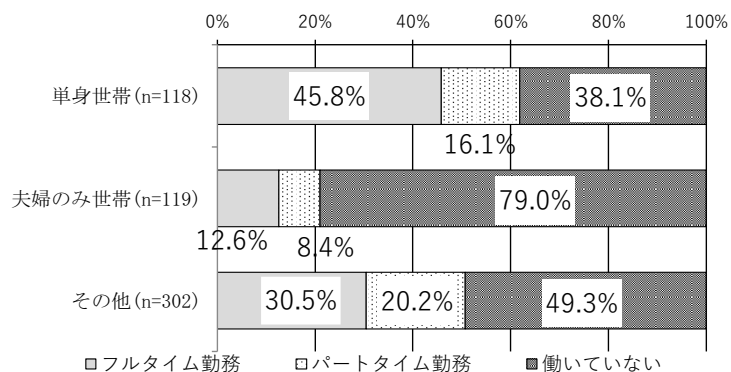
B票-問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

(n=553)



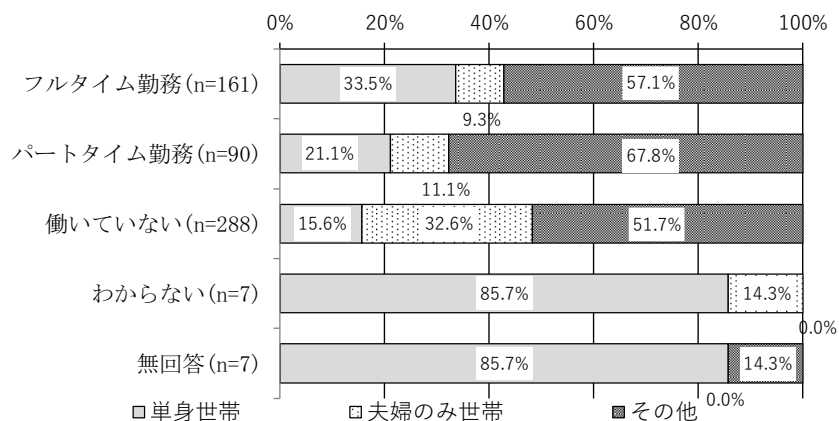
主な介護者の就労状況は、「働いていない」が52.1%、「フルタイム勤務」が29.1%、「パートタイム勤務」が16.3%である。

<世帯類型別・主な介護者の就労状況 ※「わからない」と「無回答」を除く>



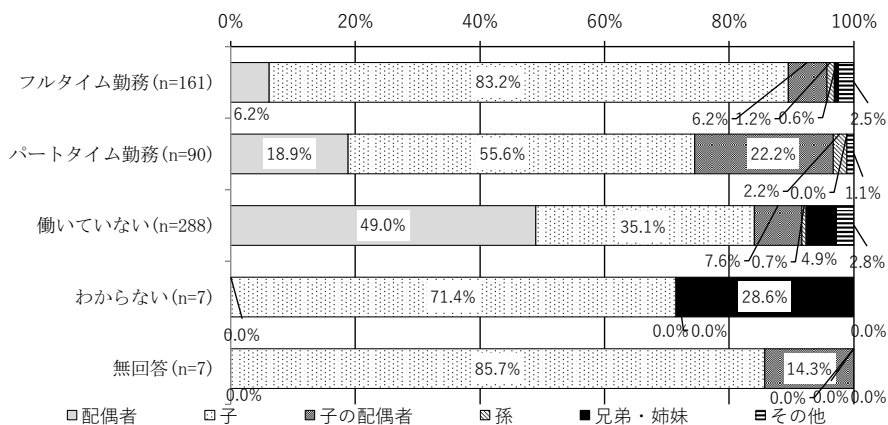
世帯類型別の主な介護者の就労状況については、単身世帯では「フルタイム勤務」が45.8%、夫婦のみ世帯では「働いていない」が79.0%、その他の世帯では「働いていない」が49.3%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・世帯類型>



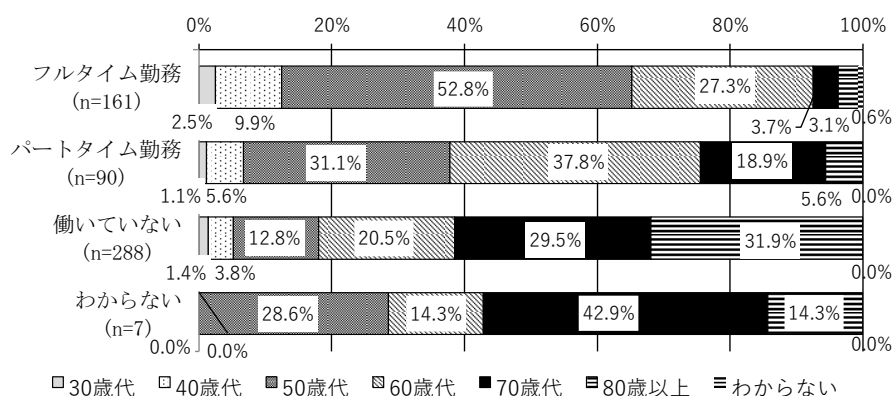
主な介護者の就労状況別の世帯類型について、「フルタイム勤務」は、「単身世帯」が 33.5%、「夫婦のみ世帯」が 9.3%、「その他の世帯」が 57.1%である。また、「働いていない」は、「単身世帯」が 15.6%、「夫婦のみ世帯」が 32.6%、「その他の世帯」が 51.7%である。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者と本人の関係>



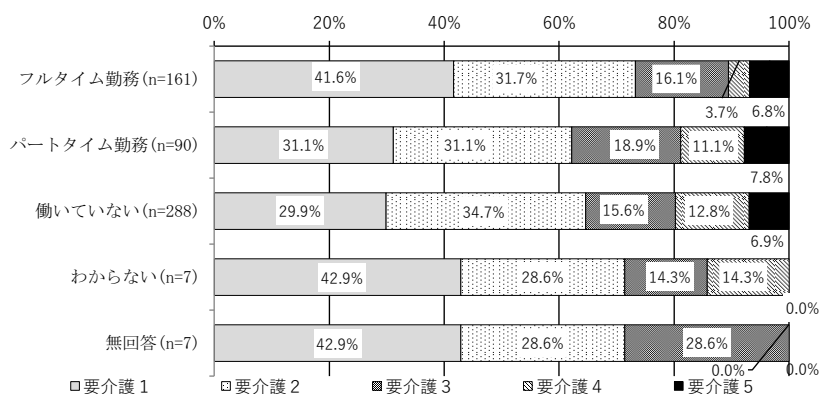
主な介護者の就労状況別の主な介護者と本人の関係について、「フルタイム勤務」は「子」が 83.2%、「パートタイム勤務」は「子」が 55.6%、「働いていない」は「配偶者」が 49.0%とそれぞれ最も多い。

<主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢 ※無回答除く>



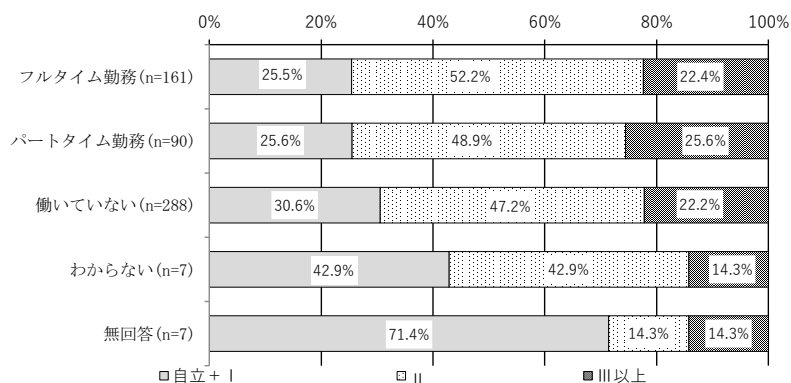
主な介護者の就労状況別での主な介護者の年齢について、「フルタイム勤務」は「50歳代」が52.8%、「60歳代」が27.3%、「パートタイム勤務」は「60歳代」が37.8%、「50歳代」が31.1%である。

<主な介護者の就労状況別・本人の要介護度>



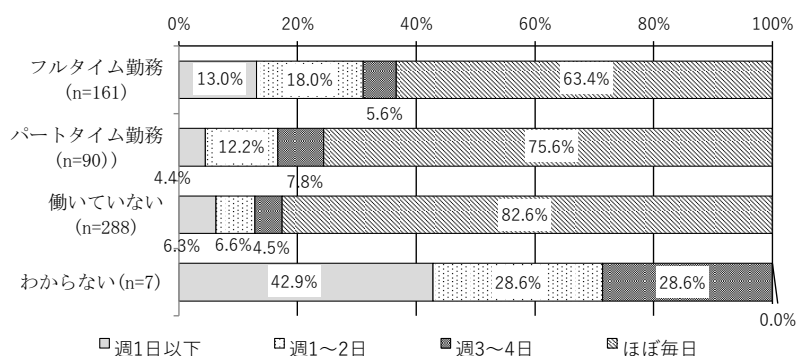
主な介護者の就労状況別での本人の要介護度について、「フルタイム勤務」では「要介護1」の割合が高く41.6%、「パートタイム勤務」では「要介護1」、「要介護2」の割合が高く31.1%、「働いていない」では「要介護2」の割合が高く34.7%であった。

<主な介護者の就労状況別・本人の認知症自立度>



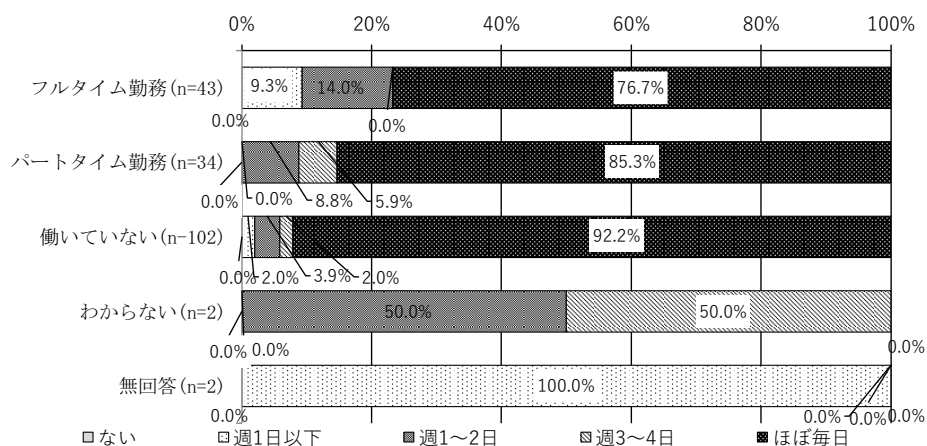
主な介護者の就労状況別での本人の認知症自立度について、「認知症自立度Ⅲ以上」は、「フルタイム勤務」が22.4%、「パートタイム勤務」が25.6%、「働いていない」が22.2%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度>



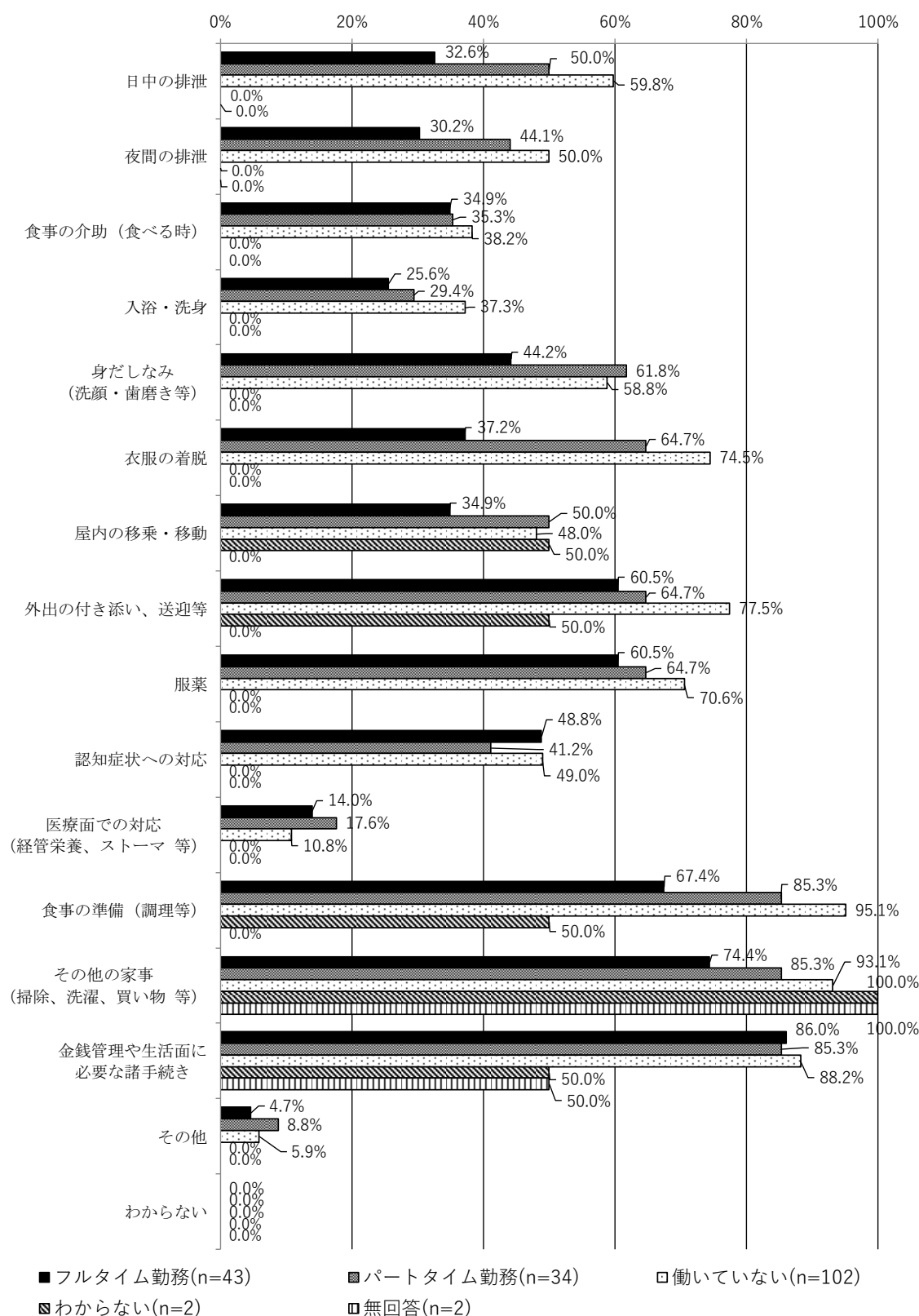
主な介護者の就労状況別での家族等による介護の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が63.4%、「パートタイム勤務」が75.6%、「働いていない」が82.6%である。

<主な介護者の就労状況別・家族等による介護の頻度（要介護3以上）>



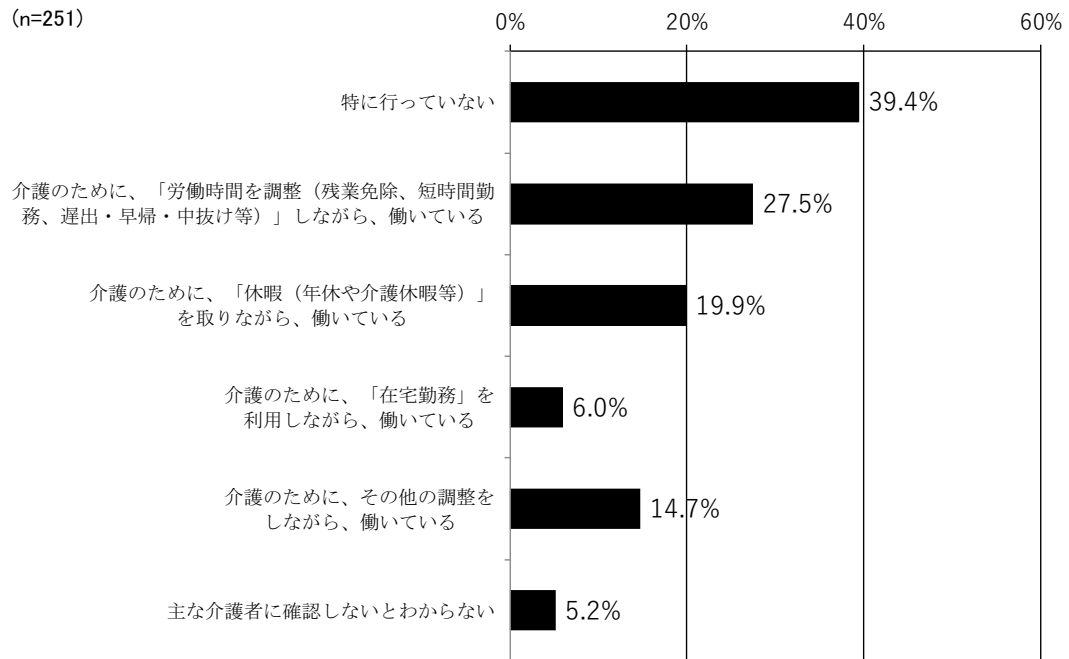
主な介護者の就労状況別での家族等による介護（要介護3以上）の頻度について、「ほぼ毎日」は、「フルタイム勤務」が76.7%、「パートタイム勤務」が85.3%、「働いていない」が92.2%であった。

< 主な介護者の就労状況別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上） >



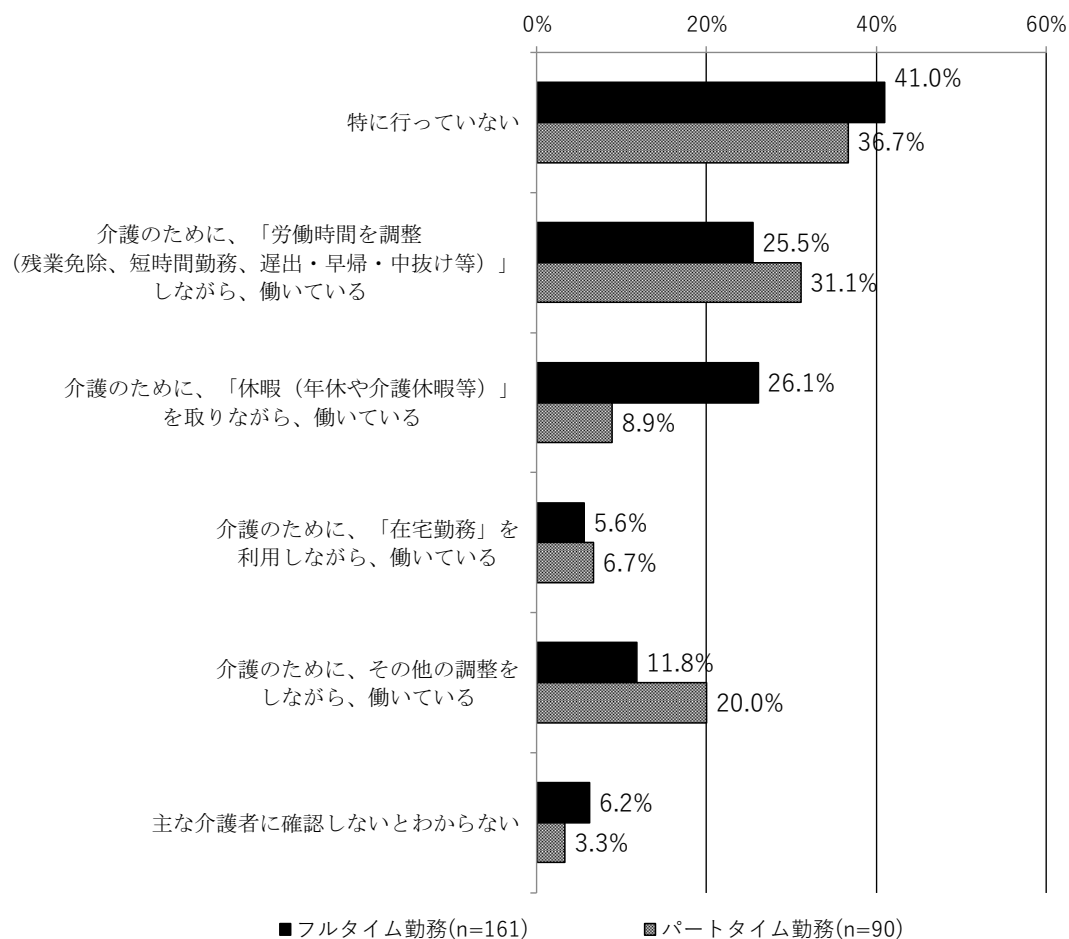
主な介護者の就労状況別での主な介護者が行っている介護（要介護3以上）は、「フルタイム勤務」については、「働いていない」と比較して「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「身だしなみ」、「衣服の着脱」、「食事の準備」などで割合が低い。

B票-問2 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答可)



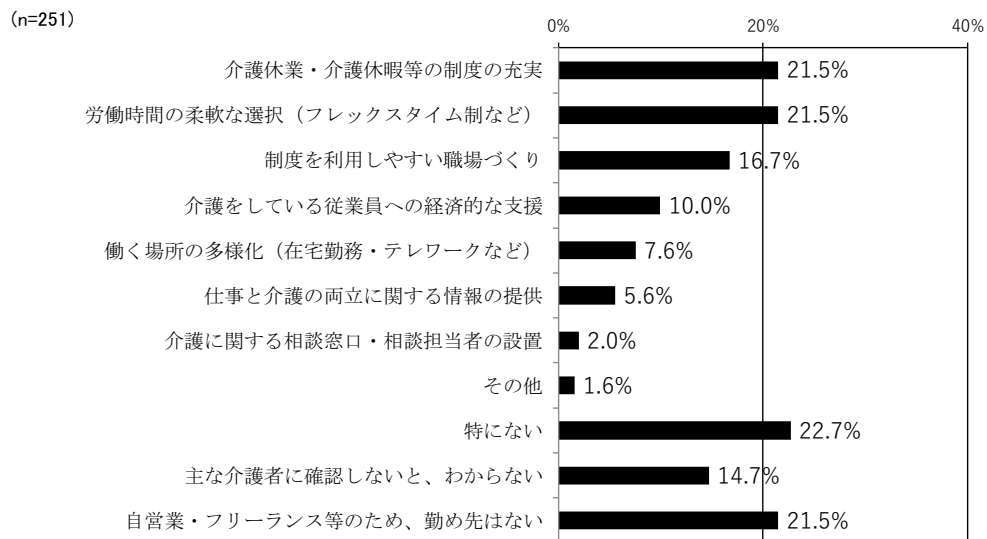
主な介護者の働き方の調整等の状況は、「特に行っていない」が39.4%と最も多く、次いで「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が27.5%となっている。

<就労状況別・介護のための働き方の調整>



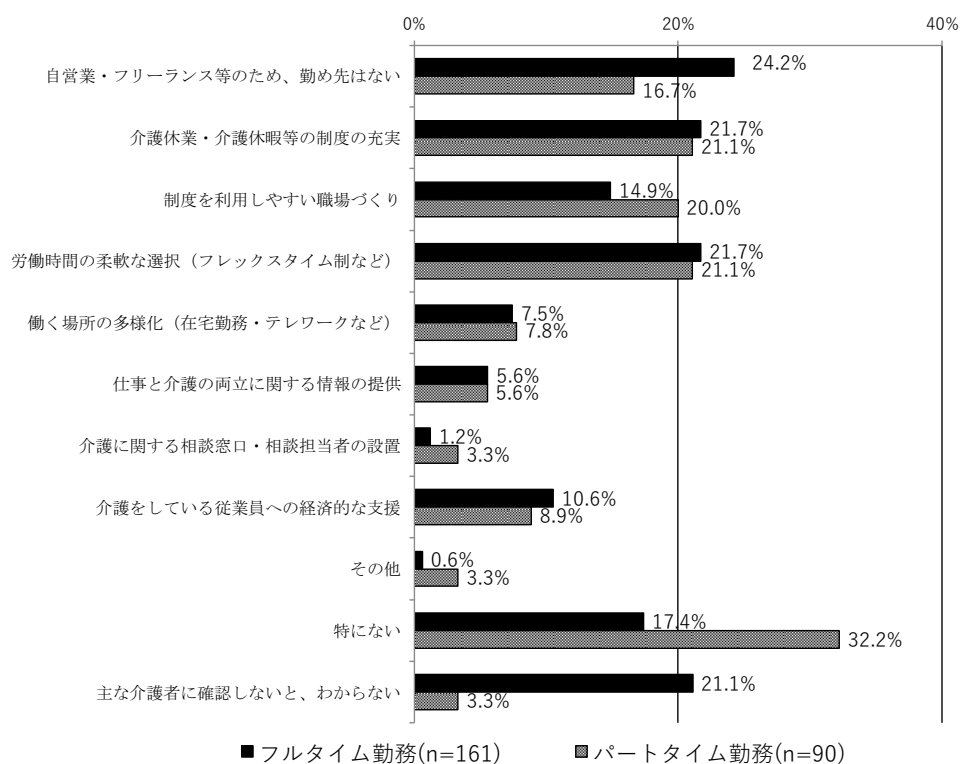
就労状況別の介護のための働き方の調整は、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が41.0%と最も多く、また、「パートタイム勤務」でも「特に行っていない」が36.7%と最も多くなっている。

B票-問3 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。
(3つまで選択可)



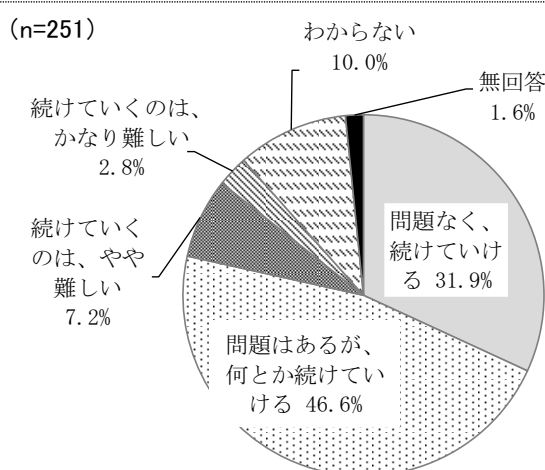
勤め先から受ける仕事と介護の両立に効果があると思う支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択」が21.5%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が16.7%となっている。

<就労状況別・効果的な勤め先からの支援>



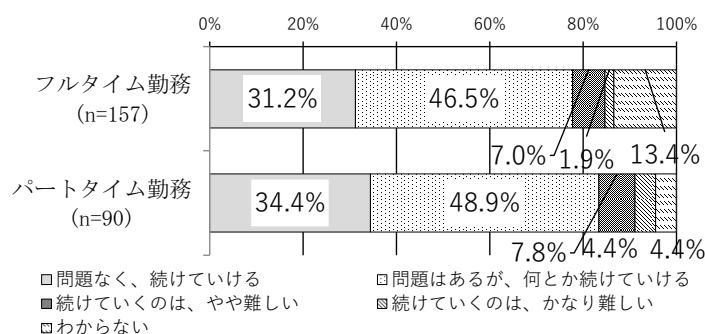
就労状況別の効果的な勤め先からの支援は、「フルタイム勤務」と「パートタイム勤務」ではいずれも「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択」が最も多く、それぞれ21.7%、21.1%であった。

B票-問4 問1で「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）



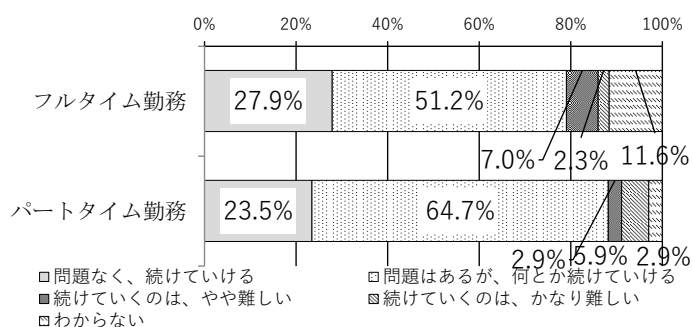
今後の就労継続の可否に係る意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が46.6%と最も多く、「続けていくのは、やや難しい」は7.2%、「続けていくのは、かなり難しい」は2.8%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み ※無回答除く>



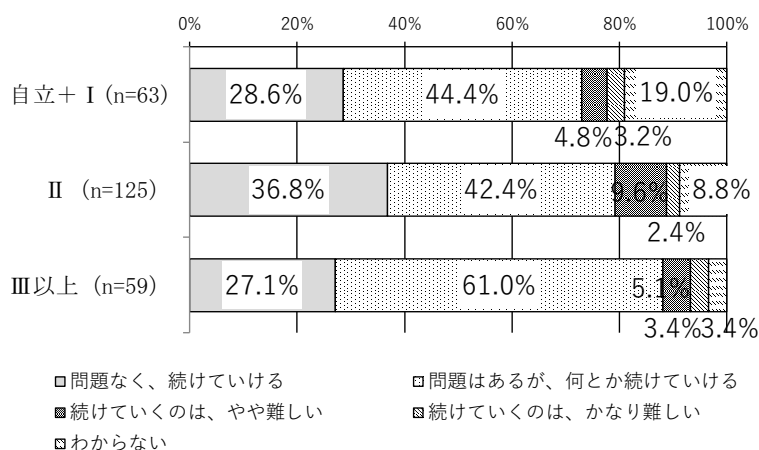
主な介護者の就労状況別での就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が1.9%、「パートタイム勤務」が4.4%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が31.2%、「パートタイム勤務」が34.4%となっている。

<主な介護者の就労状況別・就労継続の見込み (要介護3以上) >



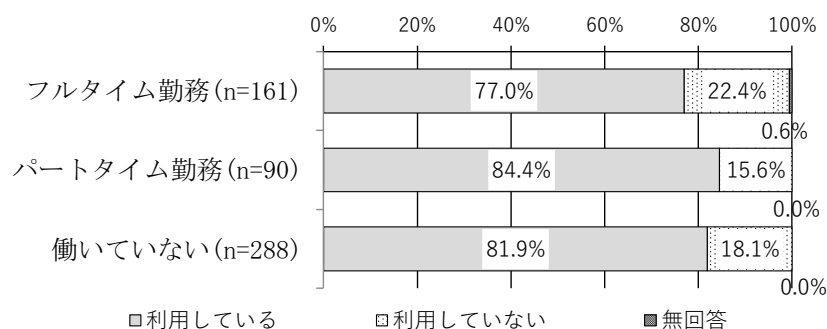
要介護3以上の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は、「フルタイム勤務」が2.3%、「パートタイム勤務」が5.9%である。また、「問題なく、続けていける」は、「フルタイム勤務」が27.9%、「パートタイム勤務」が23.5%となっている。

<認知症自立度別・就労継続の見込み (フルタイム+パートタイム勤務) ※無回答除く>



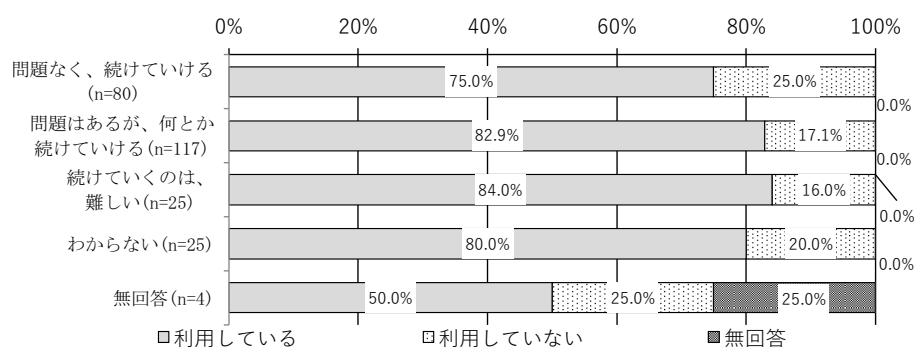
認知症自立度別の主な介護者の就労継続の見込みについて、「続けていくのは、かなり難しい」は「自立+ I」が3.2%、「II」が2.4%、「III以上」が3.4%である。また、「問題なく、続けていける」は、「自立+ I」が28.6%、「II」が36.8%、「III以上」が27.1%となっている。

<就労状況別・介護保険サービス利用の有無>



主な介護者の就労状況別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「フルタイム勤務」が77.0%、「パートタイム勤務」が84.4%、「働いていない」が81.9%である。

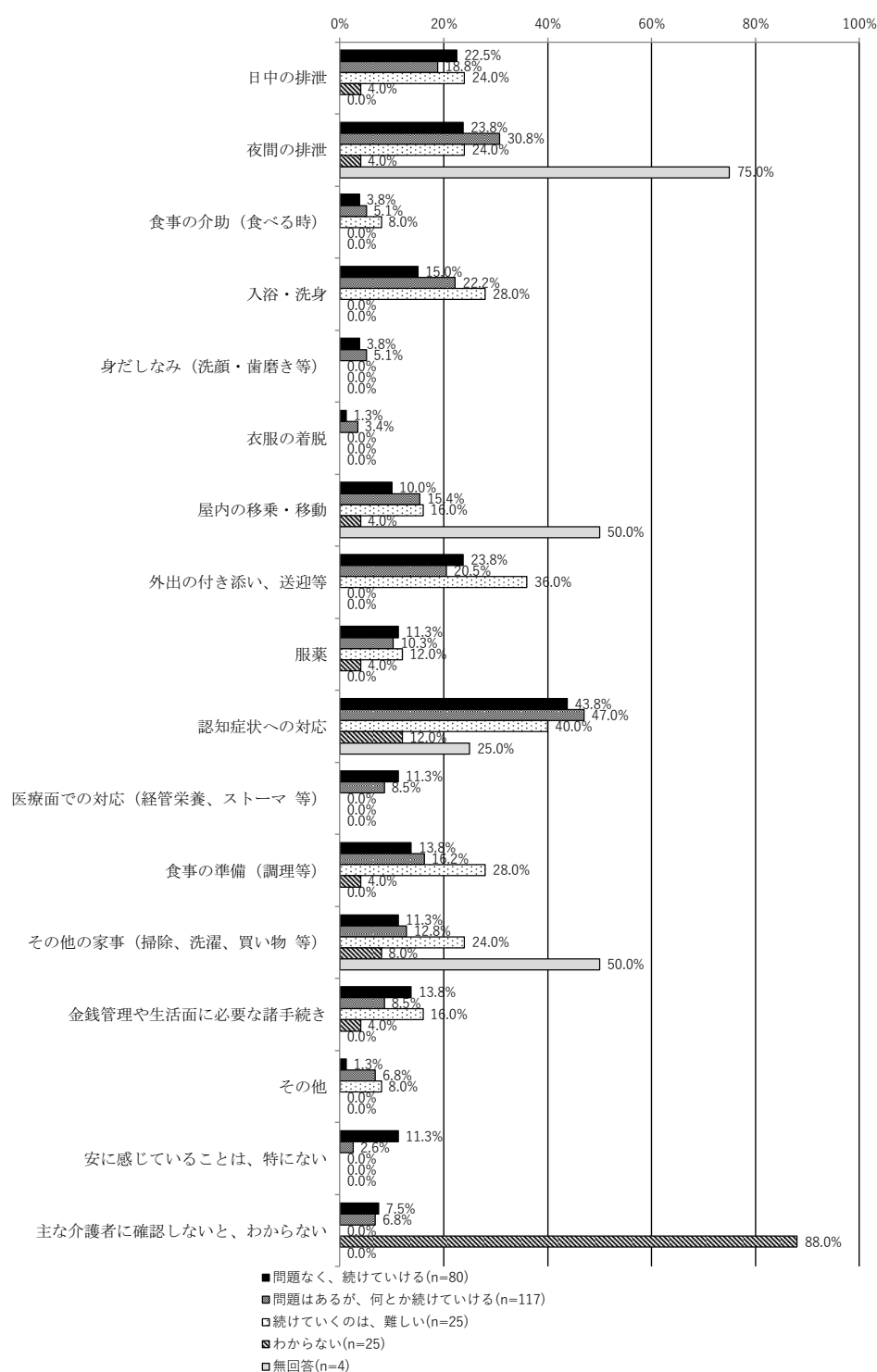
<就労継続の見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム+パートタイム勤務）>



就労継続の見込み別での介護保険サービスの利用の有無について、「利用している」は、「問題なく、続けていける」が75.0%、「問題はあるが、何とか続けていける」が82.9%、「続けていくのは難しい」が84.0%である。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

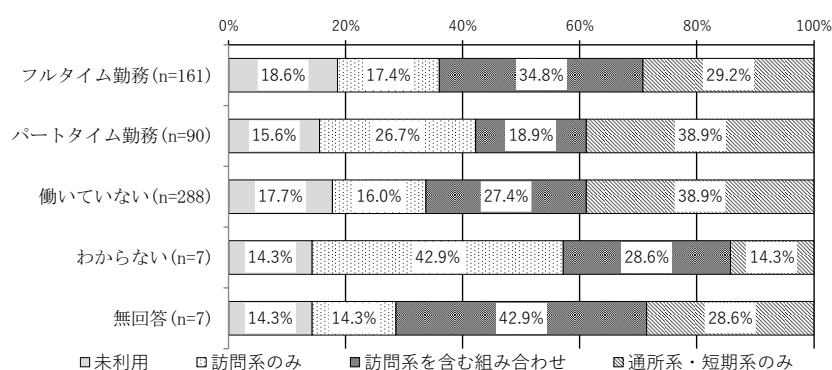
< 就労継続の見込み別・主な介護者が不安を感じる介護（フルタイム+パートタイム勤務） >



就労継続の見込み別での主な介護者が不安を感じる介護について、就労継続の見込みが「続けていくのは、難しい」では、「認知症状への対応」が40.0%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が36.0%となっている。

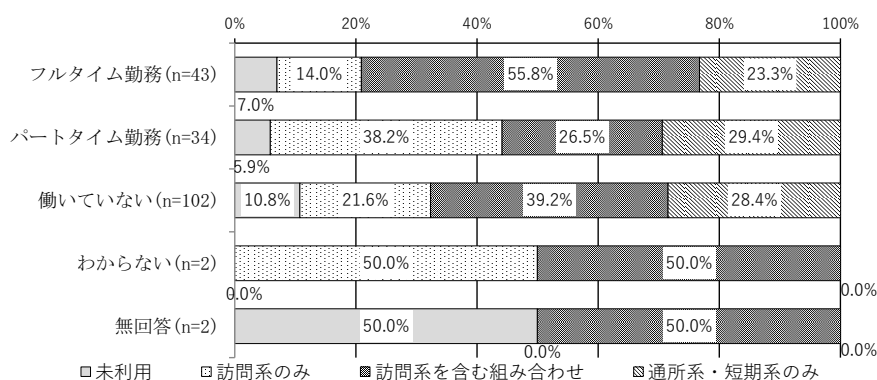
(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ>



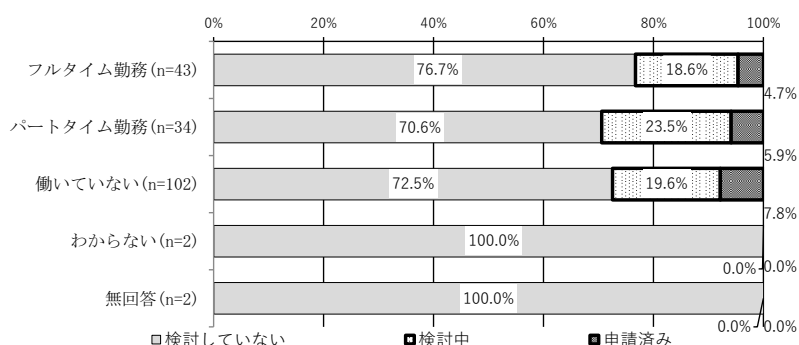
就労状況別でのサービス利用の組み合わせについて、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が34.8%、「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が38.9%、「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が38.9%とそれぞれ最も多かった。

<就労状況別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）>



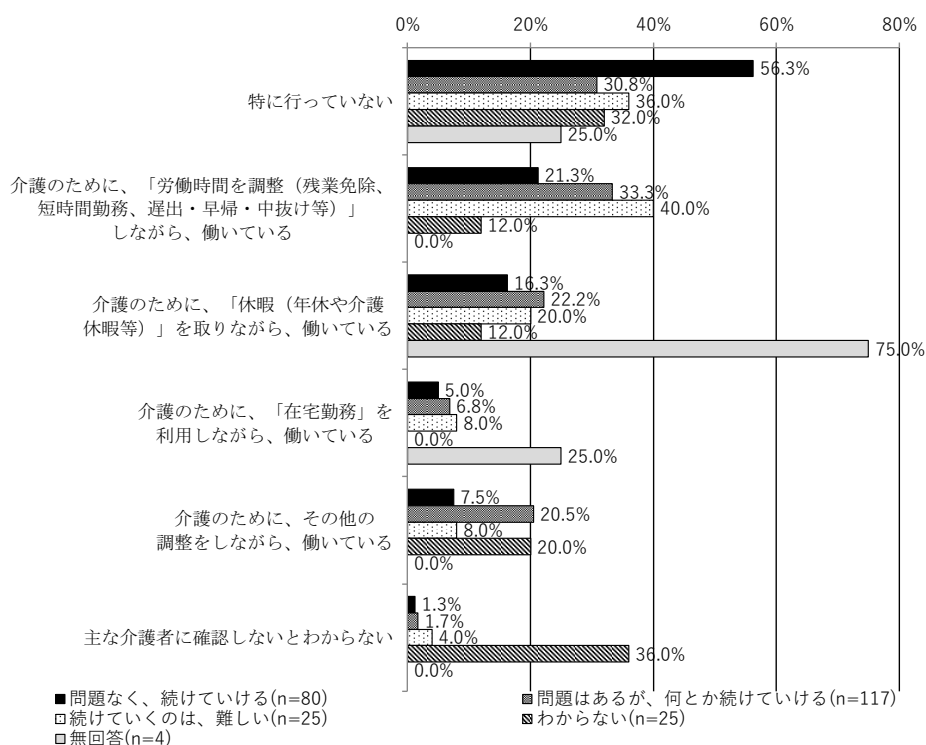
就労状況別でのサービス利用の組み合わせ（要介護3以上）について、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が55.8%、「パートタイム勤務」では「訪問系のみ」が38.2%、「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」が39.2%とそれぞれ最も多かった。

<就労状況別・施設等検討の状況（要介護3以上）>



就労状況別での施設等検討の状況（要介護3以上）について、「検討中」と「申込済み」の割合の合計（グラフ内太線）は、「フルタイム勤務」では23.3%、「パートタイム勤務」では29.4%、「働いていない」では27.5%である。

<就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）>

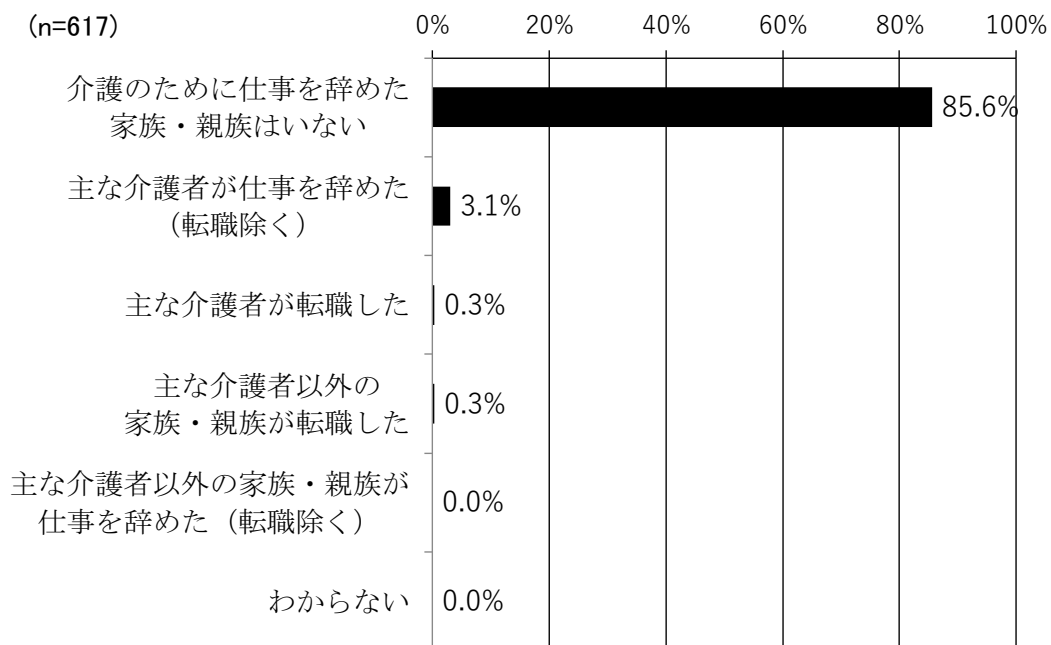


就労継続見込み別での介護のための働き方の調整について、「続けていくのは、難しい」では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が40.0%と最も多く、次いで「特に行っていない」が36.0%となっている。

(注) 「続けていくのは、難しい」は、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の回答の合計である。

(5) 家族や親族の介護事由での離職経験

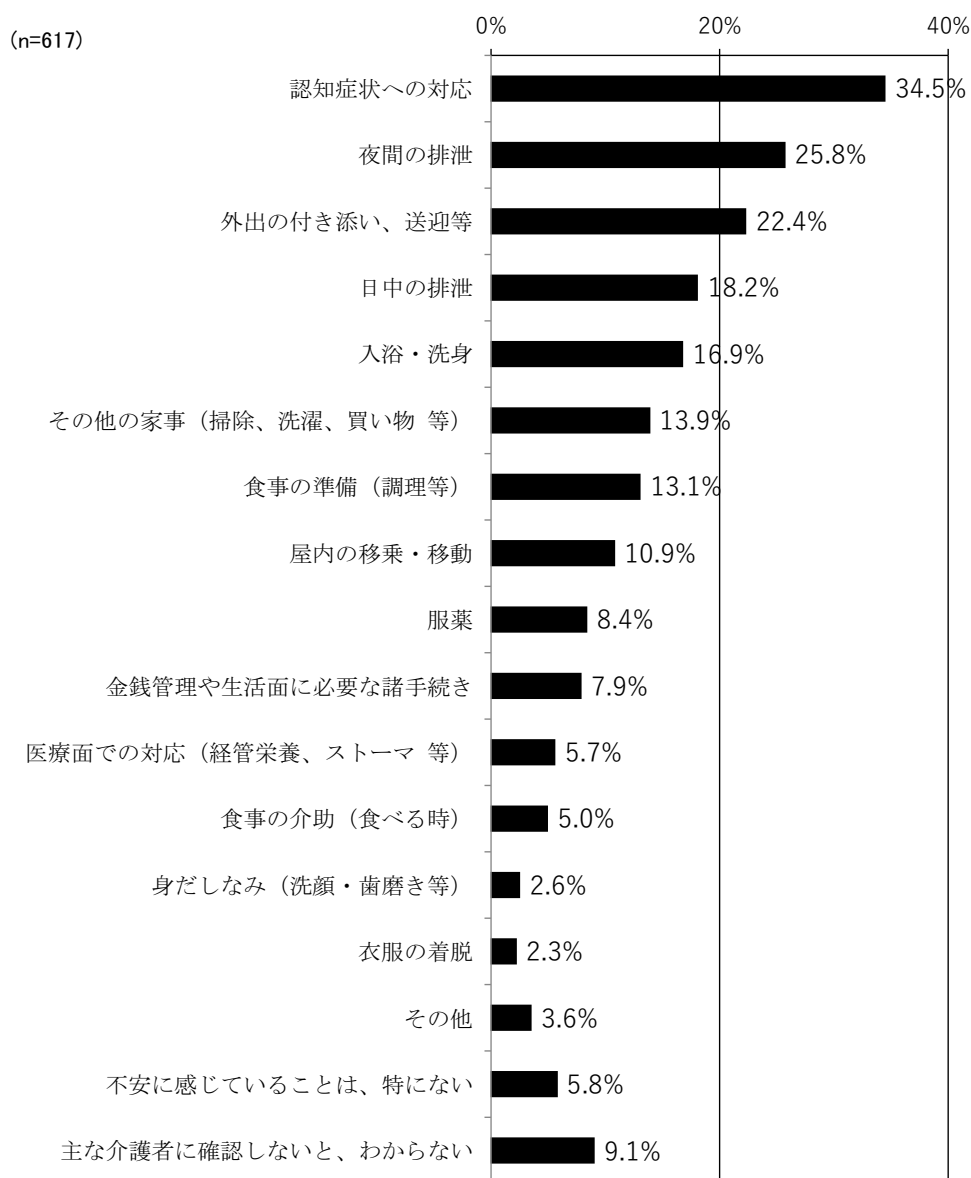
A票-問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（複数選択可）



家族や親族で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無について、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」は3.1%となっている。

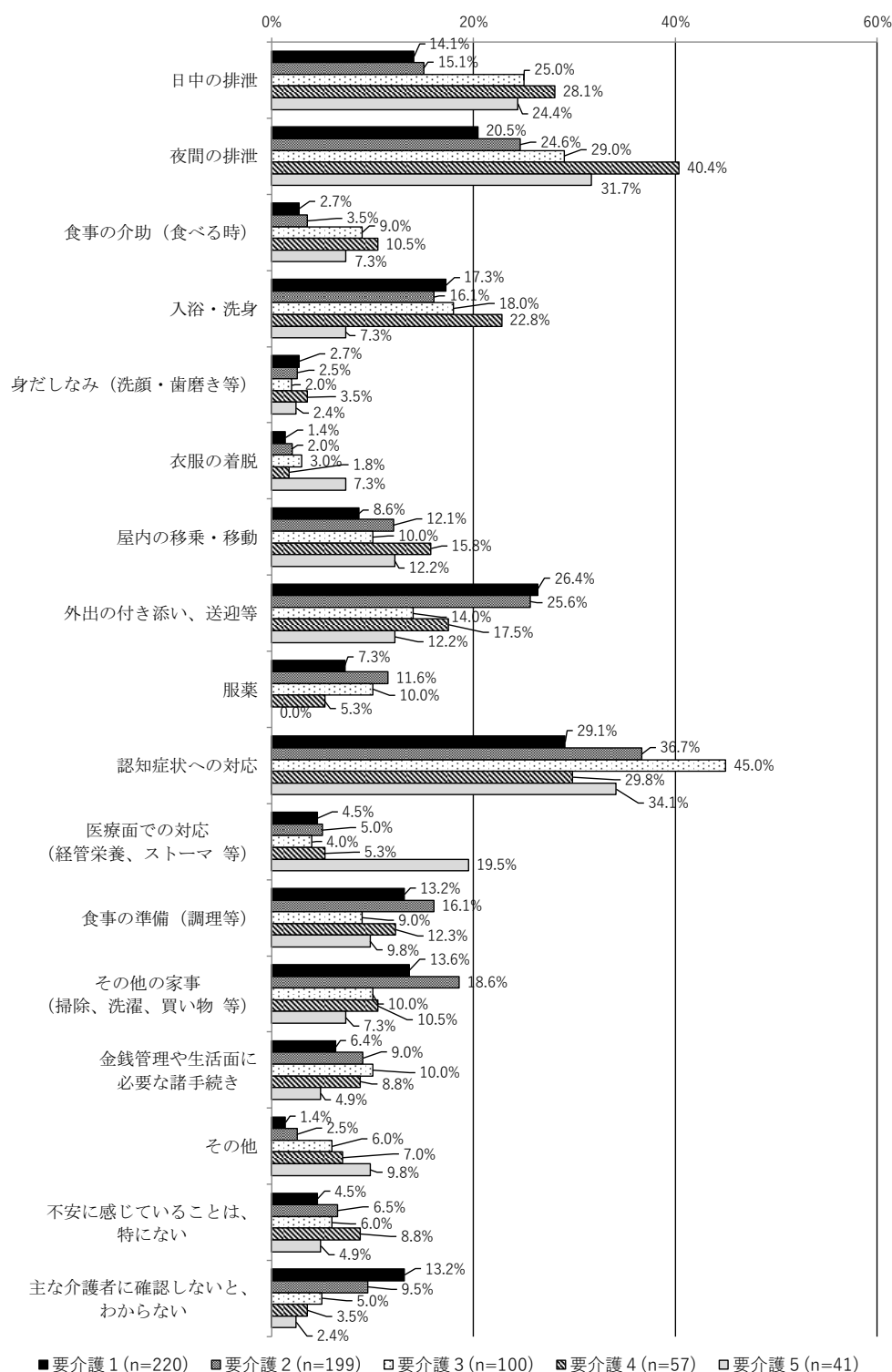
7. 在宅生活の継続に向けて介護者が不安に感じる介護

B票-問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで選択可）



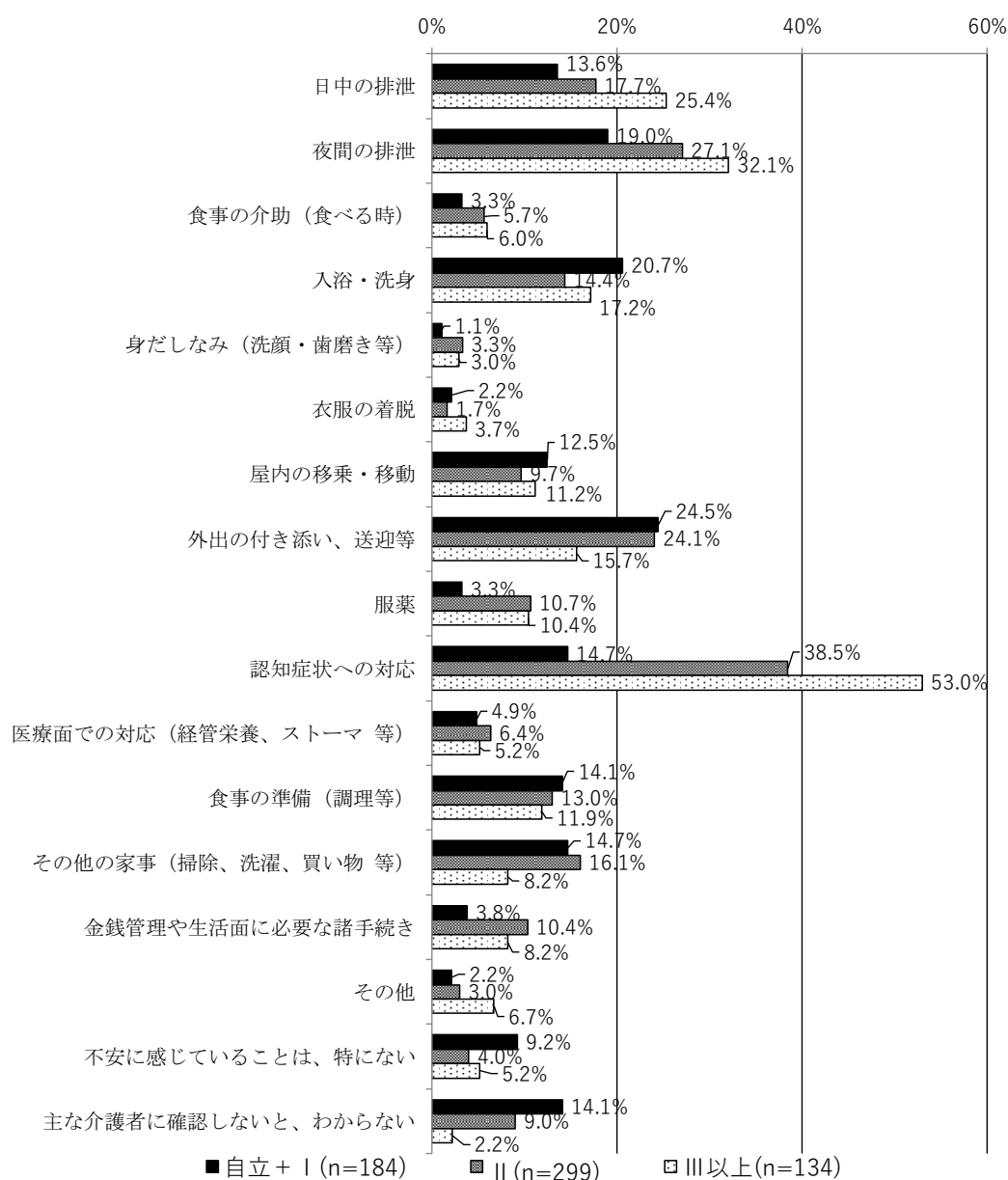
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」が34.5%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が25.8%、「外出の付き添い、送迎等」が22.4%となっている。なお、「不安に感じていることは、特にない」は5.8%である。

< 要介護度別・介護者が不安に感じる介護 >



要介護度別での、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「日中の排泄」と「夜間の排泄」は、「要介護1～要介護4」にかけて多くなり、要介護5では少なくなる傾向がみられる。「要介護5」で多くなる項目としては、「衣服の着脱」や「医療面での対応」などが挙げられる。

<認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護>

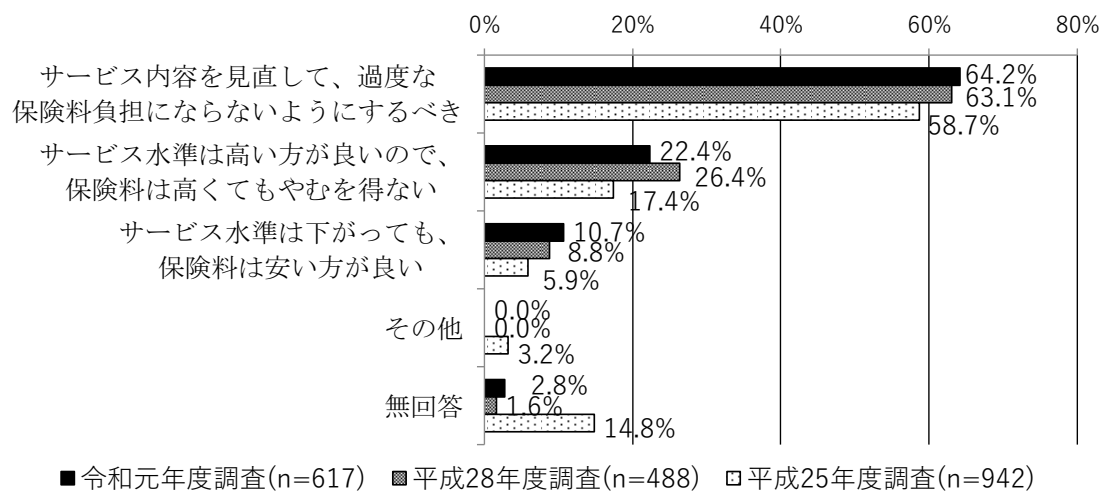


認知症自立度別での、現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、認知症自立度の重度化に伴い多くなる項目としては、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」などが挙げられる。認知症自立度Ⅲ以上では、半数以上が「認知症状への対応」と回答している。

8. サービス水準と保険料の関係に係る希望

A 票-問 20 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(1つを選択)



(注) 平成 25 年度調査では「要支援認定者」が含まれている。

(注) 令和元年度調査、平成 28 年度調査では「その他」の選択肢は設けなかった。

介護サービスの水準と保険料の関係は、「サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき」の割合が 64.2%と最も多く、次いで「サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない」が 22.4%となっている。

9. 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について

A 票-問 22 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

【介護保険サービスについて】

- ・ もう少し長い時間預かってくれるデイサービスがあるといい。
- ・ ヘルパーの訪問滞在時間を伸ばしてほしい。調理もお願いしたい。
- ・ 一人で入浴できるように福祉用具を充実してほしい。（浴槽内イスを使っても低くて立ち上がりができない）
- ・ 同居の家族がいると、介護保険では生活援助が受けられず困る。家族は朝早くに仕事に出て夜遅くに帰る。休みの日は疲れて家事をする余裕はない。自費ヘルパーを月1回頼んでいるが、その費用のために新聞をやめた。家族と同居であっても介護保険で掃除や買い物などのサービスを受けられるようにしてほしい。
- ・ サービス提供者（ケアマネジャー含む）は高齢者のことばかり考えているが大変なのはその家族。家族にしっかり目を向けるべきだ。精神論や自分の価値観で物事を進めないでほしい。家族にも思いやりを示してほしい。そういったことについて研修を受けて学んでほしい。医者は科学者なのでどうやったら皆が楽しくなるかがわかっている。合理的に対処しているので、介護の関係者もこうあってほしい。

【サービス水準と介護保険について】

- ・ 所得に応じて負担割合が変わるが、所得があっても事情があって経済的に苦しいこともある。高額な保険料を支払っていても、必要な時に利用すればする程、利用金額も増えるのでは、家族の負担も大きすぎる。
- ・ サービス水準を下げないで、保険料を上げすぎないようにお願いします。
- ・ これから介護サービスが使いにくくなるのですか。毎日ヘルパーが入っているが、今後ヘルパー利用が制限されるのではないかと不安。これからのサービス水準と保険料の関係については、払うお金は少なく、サービスの質は落とさないようにしてほしい。
- ・ 過度な保険料負担にならずに安心してサービスが受けられるよう仕組みを見直すべきだと思います。
- ・ 家族の力で介護保険利用量を抑えているので、そういう家族に対しては、利用料金を安くしてほしい。
- ・ 介護保険でなくても週1回程度掃除を手伝ってくれるサービスがあると助かります。
- ・ 個人に合ったサービスを個別に考えてもらえるようなサービス内容ならばいいが、関係ないものに対してお金を払うのは疑問。
- ・ 介護保険料を安くしてほしい。

【市の高齢者施策について】

- ・ 要介護の人がタクシー券を使えるようにしてほしい。
- ・ 去年友愛訪問でお菓子がこなかった。
- ・ 夜間の団地などで、見守りパトロールがあるといい。先月夜、団地の敷地内に座り込んでいる高齢者がいて居合わせた人達が困ってしまった。
- ・ 武蔵野の福祉は日本一と聞いていた。介護保険後はサービスの質が統一されたと感じる。市内のサービスでも、今の質をおとさないようにしてほしい。
- ・ 地区の身近な場所に、小規模の集まれる場が増え、多世代が利用できる場が欲しい。今の場では老人が歩いて気軽に行ける場がないことが残念。ひとり暮らしになった後、自宅を開放できるような試みがあれば検討したい。
- ・ 相談窓口がありすぎて、どうすればいいのかわからないことがあった。
(訪問歯科の相談。在宅介護・地域包括支援センターから歯科医師会を通じて訪問歯科を紹介されたが、遠くからの訪問で短時間の治療で相談しにくかった。結局、近所の歯科医院でも訪問歯科を頼めることが院内の掲示でわかり、直接頼んで現在もよく診てもらっている。)
- ・ 仕事をせずに介護をしているが、用事ができてまとまった期間介護者が不在にする場合、要介護の母と高齢の父（認定なし）への家事支援が受けられるようなサービスを考えてほしい。
- ・ 災害時要援護者制度にも入っているが、ケアマネジャーや介護保険サービスも利用していて、どちらにも緊急連絡先を伝えてあるが、重複していると感じる。
- ・ 災害時に要支援者本人にどのようなサポートが受けられるのかがわからず、不安ばかりがあります。情報提供がほしいです。また家庭で準備しておくべきものは何かを指導して頂けると安心です。
- ・ 現状の福祉では在宅ケアに重点をおいているが、必要のある人には、施設入所のできる環境を整えてほしい。所得のある人が税金等の負担をするのはやむを得ない。
- ・ 敬老福祉の集いをなくして介護保険サービスの充実にあててほしい。

【その他】

- ・ 長男が介護の為に6年前に仕事をやめた。主な介護を担っている長男に万が一のことがあった時が心配である。
- ・ 昨年度まで難病手当をもらっていたが、今年度から条件が合わないと、もらえなくなったことが不満。（壊疽性膿皮症）
- ・ 専門的リハビリは医療保険での対応が多く、医療保険と介護保険が両立できないことから諦めている。社会復帰を目指し、HALやパワーアシストを利用したリハビリを受けることができればより麻痺の状況が改善し自立した生活となり医療費や介護保険料の削減に繋がるかもしれない。もう少し、医療保険と介護保険の利用を柔軟に対応してもらえたらもっと治療はかどり元気になると思う。
- ・ 市の施策として緊急時対応について検討してほしい（要介護5で日中独居のため）。
- ・ 災害時対応について検討してほしい。
- ・ 近所にスーパーがなくて不便。
- ・ 移動販売車などがあるといい。
- ・ 近所にちょっと座ることができるベンチがほしい。
- ・ 近所に美容院がなくて困る。
- ・ ムーバスが通ってほしい。
- ・ 緑町3丁目付近は近くにスーパーや美容院がなく不便である。高齢でも外出できる近場のスーパーや美容院などがあると助かります。

資料：使用した調査票

武蔵野市高齢者の介護予防・日常生活アンケート

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和2年度に「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）」の策定を予定しています。

この調査は、市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、日頃の生活状況や市の高齢者施策に対するご意見・ご要望等をお聞きするために実施するものです。

調査の対象者として、本年10月1日現在、市内にお住まいの65歳以上の方々から1,500人を無作為で選び、調査票を送付させていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年12月

武蔵野市長

松下 玲子

ご記入にあたってのお願い

1. この調査票は、できるだけ宛名のご本人がご記入ください。ご本人によるご記入が難しい場合は、ご家族の方が一緒に回答されたり、代理で回答いただいても構いません。
2. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。質問によっては選択肢に「○は1つ」だけのもの、「あてはまるものすべてに○」をするものがありますのでご注意ください。また、数字記入欄には数字をご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
令和元年12月23日（月）までにポストへ投函してください。返信用封筒に切手を貼る必要はありません。
4. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

相談支援係 塩島、船木

電話：0422-60-1846（直通）

1 あなたご自身のことについてお伺いします

問 1. あなたの性別と年齢、身長・体重等について教えてください。

(令和元年12月1日時点。それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	
(2) 年齢	1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
	4. 80～84歳	5. 85歳以上	
(3) 身長・ 体重	身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm		
	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg		
(4) お住まい の地域	1. 吉祥寺東町	2. 吉祥寺南町	3. 御殿山1丁目
	4. 御殿山2丁目	5. 吉祥寺本町	6. 吉祥寺北町
	7. 中町	8. 西久保	9. 緑町
	10. 八幡町	11. 関前	12. 境
	13. 境南町	14. 桜堤	
(5) 要支援 (介護) 認定	1. 要支援1	2. 要支援2	
	3. 総合事業対象者	4. 認定を受けていない(非該当を含む)	

2 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問 2. 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()	

問 3. 現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)	2. 持ち家(集合住宅)
3. 民間賃貸住宅(一戸建て)	4. 民間賃貸住宅(集合住宅)
5. 都営・市営・公団・シバ・ピア等の集合住宅	6. その他 ()

問 4. 現在のお住まいに住み続けたいですか。(○は1つ)

1. 住み続けたい	2. 住み替えたい
-----------	-----------

問 5. 現在のお住まいに住み続けるうえでの困りごとは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ひとりで住むのが不安	2. 玄関周りの段差
3. 住居内の部屋・廊下等の段差	4. 階段の昇降
5. 浴室・トイレに手すりがないこと	6. 耐震性
7. 住宅の老朽化	8. 広くて管理しきれない
9. 家賃(更新料)が高い	10. その他 ()
11. 特に困りごとはない	

問 6. 生活費等を何から支出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 年金 | 2. 賃金・給与（自営による収入含む） |
| 3. 不動産等資産からの収入 | 4. 家族等からの仕送り |
| 5. 預金・貯金 | 6. その他（ ） |

問 7. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問 8. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む） |

問 9. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 10. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 11. 65歳未満の家族の中に「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

**問 12. 日常生活の中で困っていること（支援が必要だと思っていること）はありますか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 買い物 | 2. 料理 |
| 3. ごみ出し | 4. 掃除・洗濯 |
| 5. 外出時の移動 | 6. 入浴 |
| 7. 金銭等の管理 | 8. その他（ ） |
| 9. 特に困っていることはない | |

3 からだを動かすことについてお伺いします

問 13. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 14. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 15. 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 16. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問 17. 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問 18. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 |
| 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |

問 19. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. タクシー |
| 7. 電車 | 8. 路線バス |
| 9. ムーバス | 10. レモンキャブ |
| 11. 車いす | 12. 電動車いす(カート) |
| 13. その他() | |

問 20. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

→問 20-1. 問 20 で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。外出が減っているのは何故ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) |
| 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他 () |

問 21. 普段から健康維持や介護予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 取り組んでいる | →問 22 へ |
| 2. 取り組んでいない | →問 21-1、問 21-2 へ |

→問 21-1. 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 特に必要と思わないから |
| 2. 面倒だから |
| 3. きっかけがないから (参加できる活動が近くで行われていないなど) |
| 4. 仕事や趣味の活動等で忙しいから |
| 5. その他 () |

→問 21-2. 問 21 で「2. 取り組んでいない」と回答した方にお伺いします。どのような内容のものがあれば取り組んでみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 専門の指導員による運動機能維持の活動 |
| 2. 身近な地域に集まって運動・体操する場 |
| 3. 食事や栄養バランスを学習できる講座 |
| 4. 歯や口腔のケアを学習できる講座 |
| 5. 認知症のことを学習できる講座 |
| 6. その他 () |
| 7. 取り組んでみたいとは思わない |

4 食べることについてお伺いします

問 22. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 23. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 24. どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

5 毎日の生活についてお伺いします

問 25. もの忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問 26. バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 27. 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 28. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 29. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 30. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

6 地域での活動やたすけあいについてお伺いします

問 31. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(それぞれについて○は1つ)

	週4回 以上	週2~3 回	週1回	月1~3 回	年に数回	参加して いない
①ボランティアの グループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係の グループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養 サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(地域健康クラブ、テンミリ オンハウス、不老体操、いき いきサロンなど)介護予防 のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦コミュニティ活動	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 32. 市では平成28年度から「シニア支え合いポイント制度」を始めましたが、この制度について知っていますか。(○は1つ)

【シニア支え合いポイント制度】高齢者の介護予防と、地域の互助を同時に推進するため、65歳以上の高齢者が特定の地域活動に参加した場合にポイントを付与する制度。概ね1時間の活動につき1ポイントの付与を原則とし、1ポイント100円相当で換算して市内産野菜等引換券、図書カード、Q U Oカード等に還元できます。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 知っており、すでに利用している | 2. 知っているが、まだ利用していない |
| 3. 知らない | |

問 33. 今後、「シニア支え合いポイント制度」を利用してボランティア活動を行いたいと思えますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 行いたいと思う | →問 34 へ |
| 2. 行いたいと思わない | →問 33-1 へ |

→問 33-1. 問 33 で「2. 行いたいと思わない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. ボランティア活動自体に興味がないから |
| 2. 仕事や趣味の活動等で忙しいから |
| 3. ポイントの還元の割合が低いから |
| 4. 体力や健康の面でボランティア活動が難しいから |
| 5. その他 () |

問 34. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者、企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（それぞれについて○は1つ）

	是非 参加したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している
①参加者として	1	2	3	4
②企画・運営（お世話役）として	1	2	3	4

問 35. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。

（①から④のそれぞれについてあてはまるものすべてに○）

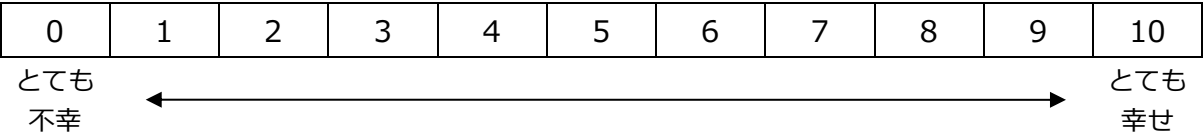
①あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	1. 配偶者 3. 別居の子ども 5. 近隣 7. その他（ ）	2. 同居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 6. 友人 8. そのような人はいない
②反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	1. 配偶者 3. 別居の子ども 5. 近隣 7. その他（ ）	2. 同居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 6. 友人 8. そのような人はいない
③あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1. 配偶者 3. 別居の子ども 5. 近隣 7. その他（ ）	2. 同居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 6. 友人 8. そのような人はいない
④反対に、看病や世話をしてあげる人	1. 配偶者 3. 別居の子ども 5. 近隣 7. その他（ ）	2. 同居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 6. 友人 8. そのような人はいない

7 健康についてお伺いします

問 36. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問 37. あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください）（いずれかの数字を1つ選んで○）



問 38. この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 39. この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 40. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

問 41. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない →問 42 へ | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 () | →問 41-1、問 41-2 へ |

問 41-1. 問 41 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。その病気の悪化、再発を予防するために取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 医師に決められた通院頻度を守る | 2. 医師の指示通りに薬を飲む |
| 3. 病気について理解する | 4. 血圧、体重、血糖値等を測定する |
| 5. 生活習慣を見直す | 6. その他 () |
| 7. 特に取り組んでいることはない | |

問 41-2. 問 41 で 1 つ以上に該当した方にお伺いします。(その病気の悪化、再発を予防するために) 取り組んでいることを継続するには、どのようなことが必要だと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 家族からの声掛け等の支援 | 2. 医師からの指示や情報提供 |
| 3. 薬剤師からの確認や情報提供 | 4. ケアマネジャーからの確認 |
| 5. ヘルパーからの声掛け | 6. その他 () |
| 7. 特に必要なことはない | |

8 今後の暮らしについてお伺いします

問 42. 今後、住み慣れた地域で暮らし続けるために、高齢者に対する施策や支援として、充実してほしいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症になった時の、見守りや生活の支援等
2. 認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場所
3. 判断能力が低下した時の、金銭管理や福祉サービスの利用援助等
4. 介護する家族の休息等のため、短期間施設に入所するサービス(ショートステイ)
5. 24 時間電話を受け付けて、悩みごとや相談を聞いてくれるサービス
6. 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助(掃除、洗濯、調理、買い物など)を行うサービス
7. 身体機能が低下しないための運動指導や健康体操教室
8. 健康を維持するための栄養指導等
9. 口腔機能の維持や食べること・飲み込むことへの支援
10. いきいきサロンやテンミリオンハウスのような身近な場所で集まり、交流できる通いの場
11. 食事を共にしながら交流できる身近な場所
12. 生きがいを持って生活するための生涯学習や仲間づくりへの支援
13. ムーバスやレモンキャブ等の外出支援
14. 自宅にいながら診療を受けられる医療体制
15. 病気・けが等で入院した後でも、安心して在宅に復帰できるよう、医療と福祉の連携
16. 見守りのある高齢者専用住宅
17. 住み替えのための支援や情報提供
18. 終末期医療や没後等に関する不安についての相談窓口や、終活(老いじたく)等に関する情報提供
19. その他 ()

問 43. 次のサービスについて知っていますか、また、利用したいと思いませんか。

(それぞれについて○は1つ) ※のついているサービスの詳細は同封のチラシをご覧ください。

	すでに 利用し ている	知っ てい る し、利 用し たい	知っ て い る が、利 用し た い と は 思 わ な い	知 ら な い が、 利 用 し たい	知 ら な い し、利 用 し たい と 思 わ な い	
①いきいきサロン ※ 個人宅や団地集会室等で定期的に健康体操等のプログラムを行う、地域住民等が運営する通いの場です。	1	2	3	4	5	
②テンミリオンハウス ※ 地域住民等が運営する、いつでも気軽に立ち寄れる施設で、ミニデイサービス、ショートステイ、世代間交流等様々なプログラムを行います。	1	2	3	4	5	
③高齢者安心コール ※ 専門職が毎週電話をし、身体や暮らしで変わったことや困ったこと等がないか確認します。	1	2	3	4	5	
④レスキューヘルパー事業 ※ 急病やけがの際にヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助（掃除、洗濯、調理、買い物など）を行います。	1	2	3	4	5	
要 支 援 ・ 要 介 護 状 態 に な っ た 場 合	⑤認知症高齢者見守り支援ヘルパー事業 ※ 認知症の高齢者に、専門のヘルパーが話し相手や散歩の付添等の支援を行います。	/	2	3	4	5
	⑥訪問介護 食事や排泄、通院介助等の「身体介護」や、掃除、洗濯、買い物等の「生活援助」を行います。	1	2	3	4	5
	⑦通所介護 デイサービスセンターや施設等に日帰りでの通い、入浴や食事等のサービス提供を行います。	1	2	3	4	5
	⑧看護小規模多機能型居宅介護 デイサービスを中心にショートステイや訪問介護、訪問看護を1つの事業所が一体的に提供します。	/	2	3	4	5
	⑨介護老人福祉施設 特別養護老人ホームで入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の支援を提供します。	/	2	3	4	5
	⑩認知症高齢者グループホーム 認知症の高齢者が少人数の家庭的な雰囲気の中で共同で生活する住居において、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練を行います。	/	2	3	4	5

問 44. あなたに介護が必要となった場合、どのような状態になったら施設入所を希望すると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ひとり暮らしで生活全般に介護が必要となった場合
2. 必要とする介護量が増え、家族の肉体的・精神的負担が大きくなった場合
3. 必要とする介護量が増え、経済的な負担が大きくなった場合
4. たん吸引等の医療行為の頻度が増え、家族の介護技術だけでは対応できなくなった場合
5. 認知症で徘徊をしたり火の始末ができなくなるなど、周囲に迷惑をかける状態になった場合
6. 希望しない
7. その他 ()
8. まだ分からない

問 45. 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか。(もっともお考えに近いもの1つに○)

1. サービス水準は高いほうが良いので、保険料は高くてもやむをえない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安いほうが良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにするべき

問 46. 最後に、武蔵野市の高齢者福祉施策や介護保険事業について、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

アンケート調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月23日(月)までにポストへ投函してください。

**『高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のための
要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）』
ご協力をお願い**

武蔵野市

日頃より、武蔵野市の介護保険行政につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、武蔵野市では、「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のための要介護高齢者実態調査（在宅介護実態調査）」を実施することとなりました。市の高齢者施策がより充実したものとなるよう、要介護認定を受けている方の日頃の生活状況やご家族からの介護の状況等をお聞きして把握した上で、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料にさせていただきます。

また、本調査の際に、同席されているご家族やご担当ケアマネジャー等の皆様にも、ご協力をいただければ幸いです。

なお、ご回答いただいた内容の取りまとめ作業は、武蔵野市から委託を受けた調査分析事業者（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株）が行います。調査結果は、統計的に処理され、ご回答内容につきましては個人が特定される形での公表や、本調査の目的以外での使用はいたしません。調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 本調査内容は、認定調査員が聞き取り、調査票へ記入します。ただし、一部の設問について、ご本人様やご家族様に調査票への記入をお願いさせていただく場合がございます。ご回答いただいた結果は、調査票とは別の回答票（マークシート方式）に調査員が転記いたします。

※ 本調査へのご意見やご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

■ 武蔵野市健康福祉部高齢者支援課介護認定係（担当：木村・内野）

TEL：0422-60-1866 FAX：0422-51-9218

<お預かりする情報の取扱いについて>

- ・本調査へのご協力は皆様の自由な意思に基づくもので、ご協力いただけない場合でも不利益を被ることはありません。
- ・お預かりする情報は、武蔵野市「個人情報保護条例」及び三菱UFJリサーチ&コンサルティング株の「個人情報保護方針」「個人情報の取扱いについて」に従って適切に取り扱います<<http://www.murc.jp/profile/privacy.html>>。ご不明な点は上記お問合せ先までご連絡ください。
- ・調査票には、介護保険の被保険者番号を記入します。これは回収後、要介護認定データと関連付けた分析を行うために利用します。
- ・分析結果は、個人が特定されないよう加工、集計・分析した上で、報告書として取りまとめ、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定に向けた基礎資料として活用する予定です。

在宅介護実態調査 調査票

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問9（裏面）へ

問3へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問6 主な介護者の方の心身の状況について、ご回答ください(複数選択可)

1. 要支援・要介護認定を受けている(申請中含む)
2. 障害者手帳を取得している(申請中含む)
3. 「1.」と「2.」のいずれにも該当しない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 | 3. 食事の介助(食べる時) |
| 4. 入浴・洗身 | 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 | 9. 服薬 |
| 10. 認知症状への対応 | 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問9 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | | | | |
|----------------------------|--------------------|---------------------------|------------------|------------|--------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) | 3. 悪性新生物(がん) | | | |
| 4. 呼吸器疾患 | 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) | 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 | 9. 認知症 |
| 10. パーキンソン病 | 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 | | | |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 | 15. なし | 16. わからない | | |

問 10 日中・夕方の時間帯(9～19 時頃まで)において、介護や見守りが必要にもかかわらず、4時間以上介護や見守りをしてくれる人(ヘルパー等も含む)がそばにいない日が、週に何日程度ありますか(1つを選択)

- | | | | |
|-------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ない | 2. 週に1～2日程度 | 3. 週に3～4日程度 | 4. 週に5日以上 |
|-------|-------------|-------------|-----------|

問 11 日中・夜間の排泄の方法・場所について、それぞれ最も多いものをご回答ください(1つを選択)

【日中】

- | | | | | |
|--------|-------------|-------|---------|---------------|
| 1. トイレ | 2. ポータブルトイレ | 3. 尿器 | 4. オムツ等 | 5. カテーテル・ストマ等 |
|--------|-------------|-------|---------|---------------|

【夜間】

- | | | | | |
|--------|-------------|-------|---------|---------------|
| 1. トイレ | 2. ポータブルトイレ | 3. 尿器 | 4. オムツ等 | 5. カテーテル・ストマ等 |
|--------|-------------|-------|---------|---------------|

※ 「4.オムツ等」には、リハビリパンツや尿取りパット等を含めますが、オムツ・リハビリパンツ・尿取りパット等をご使用の場合でも、主にトイレで排泄されていれば、「1.トイレ」、主にポータブルトイレで排泄されていれば「2.ポータブルトイレ」を選択してください

問 12 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11.利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11.特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 14 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------------------|---|------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | } | 問 18 (裏面)へ |
| 2. 入所・入居を検討している | | |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | } | 問 15 へ |

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 15 問 14 で「2.」「3.」と回答した方にお伺いします。入所・入居を検討された、一番大きなきっかけをご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------------------------------------|---|------------|
| 1. ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため | } | 問 16 へ |
| 2. 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えたため | | |
| 3. ケアマネジャーから、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため | } | 問 17 へ |
| 4. 医師、その他の専門職から、「施設等への入所・入居をすすめられた」ため | | |
| | } | 問 18 (裏面)へ |

問 16 問 15 で「1.」と回答した方にお伺いします。ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. 「生活全般において介護されることが必要となり、在宅での生活が不安になった」ため
2. 介護される量の増加により、「家族の負担が大きくなった」と考えたため
3. その他(※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入)

問 17 問 15 で「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由をご回答ください(1つを選択)

1. (食事や排泄、移乗・移動など)「身体介護の負担が大きくなった」ため
2. (徘徊や火の不始末、介護への抵抗など)「認知症状への対応にかかる負担が大きくなった」ため
3. (たん吸引や褥そうの処置など)「医療行為の頻度が増え、在宅では対応が難しくなった」ため
4. 主な介護者の方が在宅で介護をしながら、「仕事を続けていくことが難しくなった」ため
5. その他(※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入)

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 18 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している



問 20 へ

2. 利用していない



問 19 へ

問 19 問 18 で「2. 」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか
(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問 20 介護保険制度はサービスの供給量が増えるほど、また、要介護高齢者が増えるほど、保険料も高くなる仕組みになっています。

これからのサービス水準と保険料の関係は、どのようなものが望ましいとお考えですか(1つを選択)

1. サービス水準は高い方が良いので、保険料は高くてもやむを得ない
2. サービス水準は下がっても、保険料は安い方が良い
3. サービス内容を見直して、過度な保険料負担にならないようにすべき

問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービスはどのようなものですか。(複数選択可)

サービス内容		サービスの例
1	自宅での介護・家事の手助け	ホームヘルプ(訪問介護)・訪問入浴介護 ・夜間対応型・定期巡回・随時対応型の訪問介護看護 等
2	医療関係者の訪問支援・指導	訪問看護・訪問リハビリテーション 等
3	施設に通って受ける介護・機能訓練	デイサービス(通所介護)・デイケア(通所リハビリテーション) ・認知症対応型デイサービス(認知症対応型通所介護) 等
4	介護施設での短期間の宿泊	ショートステイ(短期入所生活介護・短期入所療養介護) 等
5	自宅への訪問・施設への通い・短期間の宿泊の複合サービス	小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護
6	介護環境の整備	福祉用具のレンタル・購入補助、住宅改修費支給 等
7	認知症の方に特化した施設への入居	認知症グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
8	特別養護老人ホーム等への入所	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 等
9	有料老人ホーム等への入居	特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム) 等
10	その他	※ その他の具体的な回答がある場合はP. 6に記入

問 22 同居のご家族の中に、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅に引きこもっている」状態の方はいますか。(1つを選択)

1. いる

2. いない

3. その他

◎ 介護保険制度及び本市の高齢者施策等について、ご意見等あればご記入ください。

※ 具体的なご意見等がある場合はP. 6に記入

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

■ 自由回答票

以下の設問について、具体的な回答・ご意見等があった場合は、被保険者番号をご記入頂いたうえで、「自由回答欄」に具体的な内容をご記入ください。

なお、このページに自由回答をご記入された場合は、本調査票からこのページのみを外していただき（左上のホチキス部分を破って外して頂いて結構です）、同意書・回答票と併せてご提出ください。

【被保険者番号：_____】

設問	自由回答欄
問 16 ご本人が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	【「3. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
問 17 主な介護者の方が、「在宅生活の継続は難しい」と考えるようになった、最も大きな理由	【「5. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
問 21 今後利用したいサービス、利用回数を増やしたい介護サービス	【「10. その他」を選択し、具体的な回答がある場合に記入】
介護保険制度及び本市の高齢者施策等についてのご意見等	【具体的なご意見等がある場合に記入】

在宅介護実態調査 調査票

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

ご協力ありがとうございました。

高齢者の介護予防・日常生活アンケート調査
要介護高齢者・家族等介護者実態調査
(武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定に係る調査)
報告書

令和2年3月発行

編集・発行

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市緑町 2-2-28

電話 0422-60-1845